

# 下田市地域防災計画

資料編

令和3年3月  
下田市防災会議



# 目 次

## 下田市における災害基礎資料等

基礎資料 .....	1
気象注意報・警報の発表区域 .....	5
気象等の予報及び警報の種類と発表基準 .....	6
降水量 .....	9
最大日降水量 .....	10
降水日数 .....	11
平均気温 .....	12
過去、下田市にあった大雨降水量対比表 .....	13
過去に伊豆に被害を及ぼした地震 .....	14

## 第4次地震被害想定

第4次地震被害想定 .....	16
気象庁震度階級関連解説表 .....	52

## 警戒宣言等

警戒宣言 .....	53
南海トラフ地震に関する情報について .....	55
南海トラフ地震臨時情報の情報発表までの流れ .....	56
避難の勧告・指示の種類 .....	57

## 急傾斜崩壊危険区域

急傾斜地崩壊危険区域一覧表 .....	58
---------------------	----

## 道路・河川等

市道主要道路一覧表 .....	60
市内河川名一覧表 .....	63
主要道路中のトンネル一覧表 .....	69

## 津波関係

過去の下田市を襲った津波 .....	70
津波注意報、警報、地震及び津波情報の種類 .....	71

## へりポート

下田市指定防災へりポート .....	74
へりポートの具備すべき条件 .....	75

## 無線情報等

静岡県防災行政無線回線系統図 .....	76
通信情報網図 .....	77

## 緊急時における配備体制等

配備基準 .....	78
令和2年度災害対策本部体制要員表 .....	80
災害対策本部編成図 .....	81
広報文例 .....	82
広域避難地一覧表 .....	84

## 同報無線及び行政無線

行政無線配置表 .....	85
同時通報用無線配置表 .....	85
下田市防災行政無線 .....	86
下田市デジタル通信システム（防災無線）配備一覧表 .....	87
下田市同時通報用無線・静岡県防災行政無線一覧表 .....	92
行政無線配備車一覧表 .....	93
緊急通行車両一覧表 .....	94
下田市同時通報用無線子局設置場所一覧表 .....	96

## 緊急時における給水関係

避難地応急給水計画 .....	99
上下水道課 災害等における応急対策(復旧準備)及び復旧活動 .....	100
応急給水活動フローチャート .....	101
水道施設一覧表 .....	102
下水道施設一覧表 .....	103

## 標章関係

本部の掲示板・標章・腕章 .....	105
水防信号及び標識 .....	106

## 災害救助法関係

災害救助法適用基準 .....	108
被害程度の認定基準 .....	109
災害救助法費用限度額・災害救助内容の早見表 .....	113
医療救護体制一覧表（要救護者の搬送体制） .....	117

## 災害時における避難所及び備蓄関係

指定緊急避難場所一覧 .....	118
指定避難所一覧 .....	121
広域避難場所等配備品一覧表 .....	123
津波避難ビル一覧表 .....	124
家庭で備える非常持出品 .....	125
災害時に援助可能な給食施設一覧表 .....	126
災害発生後7日間確保すべき1日あたりの水量 .....	127

消防関係	
消防組織編成図、消防の組織機構	128
下田消防本部職員及び車両配置状況	129
下田市消防団編成表	130
消防団詰所及び機械器具置場	131
下田市消防団火災発生地区別分団出動表	132
下田市消防団火災・災害動員表	133
下田市消防団車両一覧表	134
貯水槽一覧表	135
ガス事業者一覧表、類別危険物施設	137
消防法施行令	138
自主防災	
主要防災資機材整備状況一覧表	141
海拔表示	
海拔表示箇所数	153
緊急時における避難及び連絡先一覧表等	
一般・地震災害時における防災関係機関一覧表	155
突発的災害に係る応急対策連絡先	157
令和2年度下田市防災会議委員名簿	158
市内建設業者一覧表	159
下田市指定給水装置工事事業者一覧表	160
主たる広報内容と取材先、報道機関一覧表	161
観光客避難宿泊所一覧表（下田温泉旅館協同組合加盟）	162
下田海上保安部保有船舶一覧表	163
医療関係団体一覧表、医薬品等調達予定先一覧表	164
一般診療所等一覧表	165
病院一覧表、歯科診療所一覧表	167
学校・幼稚園一覧表	168
下田市内指定文化財一覧表	169
社会教育施設一覧表	172
広域受援計画（活動拠点）	173
協定・覚書等	
相互応援	174
医療・救護・遺体措置	204
物資（食料、生活必需品等）・燃料・資機材等	242
輸送・運搬	281
情報・通信	294

復旧・復興、被災者支援.....	314
避難場所・避難所等 .....	353
その他.....	379

# 基礎資料

## 1 自然環境

### (1) 地勢

下田市は、静岡県 of 東南部、伊豆半島の南部東側に位置し、東は相模灘、西は天城山系、南は太平洋と三方を自然に囲まれ、市域は東西13.00km、南北16.00km、面積は104.70km<sup>2</sup>の広がりを持ち、海拔2.5m（市役所）となっている。

市域は、総面積のうち約76%が山林・原野、約10%が田畑・宅地と市域のほとんどが森林で占められており、平坦な土地は極めて限られている。

### (2) 地形と地質

#### ア 地形の概要

下田市の地形は、大中小の起伏山地と河川沿岸流域に形成された谷底平野、須崎や白浜等の台地及び丘陵地に大きく区分される。

水系は、天城山系を源とする稲生沢川水系と大賀茂川水系に大別される。その他、丘陵地を源とする小河川が多数流れている。稲梓の山に源を発する稲生沢川（流路延長15.1km）は上流で二つに分かれているが、椎原で本流となり、当市の中心部を縦貫しながら南下し、下田湾に流出している。本流域の東側には、須崎半島とこれに連なる海岸線、西側には上流を大賀茂に発し吉佐美の浜に注ぐ小規模ながら格子状の流路をとっている大賀茂川（流路延長4.5km）と、更にその西側には田牛川（流路延長3.0km）及びこれに連なる海岸線によって占められている。

自然災害により負傷し、又は疾病にかかり、治ったとき（その症状が固定したときを含む。）に災害弔慰金の支給等に関する法律別表に掲げる程度の障がいがあるときの当該住民。

#### (ア) 主要な山

山名	位置	標高	備考
婆娑羅山	加増野地内	608m	松崎町との境界点をなす
大平山	箕作地内	428m	
高根山	河内地内	348m	長田、原田地区に接する
万蔵山	中地内	200m	柿崎、原田地区に接する
下田富士	本郷地内	192m	
相の山	広岡地内	252m	
三倉山	大賀茂地内	201m	
志戸山	吉佐美地内	201m	南伊豆町との境界点をなす

#### (イ) 主要な河川

河川の名称	流路延長	流域地名
稲生沢川	15.1km	加増野、横川、相玉、箕作、須原、宇土金、落合、河内、立野、蓮台寺、本郷
大賀茂川	4.5km	大賀茂、吉佐美
田牛川	3.0km	田牛

#### イ 地質（新南豆風土誌より）

大別すると、稲生沢を中心とする「湯ヶ島層群」と、大賀茂川流域を中心とする「南伊豆層群」及び、須崎半島から東海岸に連なる「白浜層群」の三層群に大別することができる。

(ア) 湯ヶ島層群

主に変朽安山岩、緑色凝灰岩等の緑色岩類で厚さ100m、須原、滑川、横川、椎原、相玉、箕作、大沢等の山地を形成し、稲生沢川に沿って河内、蓮台寺、本郷にまで露出している。須原の北の山を作っている同層群は河津町湯ヶ野、大鍋に続くものであり、滑川の西方では松崎町中川に通ずる峠付近では沸石、方解石を含む変朽安山岩の露出が見られ石切場付近は、緑色凝灰岩、緑色凝灰岩角礫岩である。稲生沢川の合流点、椎原付近では、安山岩あるいは変朽安山岩となり、火山性礫岩が横川に分布し、緑色凝灰岩と断層で接しており横川温泉の湧出場所にはこの断層が見られる。この西側には緑色凝灰岩、東側には火山性礫岩が分布している。この断層が横川谷を作り、温泉を湧出させている。稲生沢川に沿って箕作、落合から南に変朽安山岩の露頭が続く、蓮台寺、河内付近では著しく熱水溶澱の作用を受け、黄鉄鉱染が見られ大沢、本郷の石切場を見ると、この一帯は緑色凝灰岩で形成していることが窺われる。

(イ) 南伊豆層群

下部は安山岩の溶岩、上部は白色の凝灰岩より成る厚さ50m。大賀茂川の流域では白色の石英粗面岩質凝灰岩が広く分布し、多々戸、大浜、吉佐美、大賀茂入口を結ぶ線で、火山角礫岩（南伊豆層群下部層）が見られる。この層は、吉佐美から南へ田牛を経て南伊豆町湊付近まで続いている。多々戸浜の東側では、砂質凝灰岩と凝灰角礫岩の互層（南伊豆層群中部層）で形成され、下田から吉佐美を経て日野に至る道路では、白色の石英粗面岩質凝灰岩の露出が見られる。また、下田から大賀茂を経て南伊豆町上賀茂に至る道路にも同質の凝灰岩が分布し、大賀茂トンネル付近で安山岩の岩脈により貫かれている。下田富士は輝輝石安山岩でできているが、北麓は浮石質の凝灰岩、南麓では凝灰質砂岩が分布している。また、下田小学校裏には変朽安山岩の露出が見られ周囲には安山岩礫を含んだ凝灰岩が分布している。隣接する了仙寺の裏では偽層発達した砂質凝灰岩となり、が見られ、白浜層群原田層に覆われている。また、万蔵山北西麓（下田－原田間の旧道）にも同岩層が分布している。弁天島、柿崎神社付近には、凝灰質砂岩が分布しており、上の山部落には原田層の露頭が続いている。上の山から外浦までは変朽安山岩（湯ヶ島層群）が分布し、板見岬の西で板見層（白浜層群下部）に覆われている。板見岬では板見層基底部の緑色凝灰岩と石英粗面岩が同時に堆積し、これらが湯ヶ島層群を不整合に覆っている露頭が見られる。須崎半島全体を見ると、東側は湯ヶ島層群、西側が南伊豆層群に大別できるが、港周辺は安山岩地帯である。白浜海岸には板見層の上位にある原田層が分布し、西側の高根山麓で湯ヶ島層群を不整合に覆っている。また、下田から原田に通ずる旧道に沿っては、主に原田層が分布しているがこの間に4箇所も湯ヶ島層群が露出しているから、原田層堆積当時、湯ヶ島層群は北側に高地を作り、溺谷を形成していたと推定され、これを埋めるようにして原田層が堆積して行ったものと考えられる。また、板戸の海岸には、原田層の下位に安山岩質塊状溶岩が分布し、緑色凝灰角礫岩が露出して、浮石質凝灰岩で覆われているのが見られる。これの断層を見ることができる。

(ウ) 白浜層群

原田層	凝灰質岩石を主とし時に火山角礫岩をはさむ。一般に層理があり偽層著しく、化石を含む厚さ125m
板見層	変朽安山岩の溶岩をはさむ帯緑紫色の火山層岩を主とし貝化石を含む厚さ100m

下田市の東方地域は湯ヶ島層群、南伊豆層群、白浜層群が複雑に分布している。

赤間付近には柱状節理の斜長石英粗面岩が露出しているが、万蔵山の主部は加理石英粗面岩である。間戸ヶ浜には白色凝灰岩、凝灰角礫岩（南伊豆層群中部層）

ウ 気 候

下田市の気候は、近海を北上する黒潮の影響により年平均17℃程度と全般に温暖であり、降水量も年間1,900mmを超える。

このように植物の育成に適した気候条件を有するため温帯系の広葉樹や針葉樹、亜熱

帯系の植物も自生し、四季を通じて多様な草花や果実が成育しており自然の生産力に極めて恵まれた地域となっている。

過去の日最大風速は、1959年8月14日に観測された東の風48.8m/sが最も強く、最近10年間の日最大風速は、2018年7月28の33.0m/sで、これは東北東の風であった。

過去の最大瞬間風速で最も強かったのは、2004年10月9日に67.6m/sで、これも東北東の風であった。

降水量は、5～10月にかけて月間降水量が約200mm以上となることもあるが、冬期は少ない。

## 2 社会環境

### (1) 人口

下田市の令和2年の人口は、21,080人、10,729世帯（令和2年度下田市統計書）である。

### (2) 老年人口

老年人口は8,717人（42.0%）であり、高齢化が急速に進展している状況にある。また、老年人口の内、75歳以上は4,768人であり、高齢人口の約5割（全体の23.0%）を占めている。

### (3) 人口密度

本市の面積は104.38km<sup>2</sup>であり、人口密度は201.9人/km<sup>2</sup>（=2.0人/ha）である。本市の人口は近年減少傾向にあり、人口密度もそれに連動して減少している。また、人口集中地区（DID）における人口密度は46.4人/ha（平成27年国勢調査）であり、DID人口密度についても平成12年以降減少傾向となっている。

（人口：令和2年度下田市統計、面積：平成27年度国勢調査）

区 分	人 口	面 積	人口密度（1km <sup>2</sup> 当）
下 田	4,539人	2.70km <sup>2</sup>	1,681人
稲 生 沢	5,992人	16.02km <sup>2</sup>	374人
稲 梓	2,185人	54.80km <sup>2</sup>	40人
浜 崎	2,764人	6.83km <sup>2</sup>	405人
朝 日	3,772人	16.04km <sup>2</sup>	235人
白 浜	1,828人	8.31km <sup>2</sup>	220人
合 計	21,080人	104.38km <sup>2</sup>	202人（平均）

\*市による独自集計のため、国の公表する速報値と異なることがあります。

### (4) 土地利用面積

（令和2年度下田市統計書）

区 分	総 数	宅 地	農耕地	山 林	原 野	その他
面 積 (km <sup>2</sup> )	104.38	3.80	6.95	59.19	20.99	13.45
構 成 比 (%)	100.00	3.64	6.66	56.71	20.10	12.89

### (5) 建 物

令和3年1月1日時点の本市内の建物棟数は、課税家屋総数約1万6千棟（固定資産課税台帳データ）で、このうち約8割が木造家屋となっている。

特に稲梓地区については、木造家屋の割合が9割を超えている。また、朝日地区、白浜地区、稲生沢地区でも8割超と高い比率になっている。

朝日地区を除くすべての地区で6割超の木造家屋が老朽化しており、朝日地区でも5割を超える木造家屋が老朽化している。

### (6) 道 路

本市内の道路は、国道3路線（135号、136号、414号）約26.0km、県道5路線約21.1km、市道703路線約233.9kmより形成され、総延長約281.0kmとなっている。（令和2年度下田市統計書）

市内で交通量の多い道路は、国道135号（外ヶ岡5）12,374台/12h、国道414号（東中6-8）9,486台/12h、国道136号（吉佐美字白坂555-2）9,094台/12h（平成27年交通センサス）である。

(7) 橋 梁

本市域の道路にかけられている橋梁は、203橋、1,795m（令和2年度下田市統計書）となっている。

(8) 鉄 道

本市内には、伊豆急行線の伊豆急下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅の3駅が設置されており、都市計画区域内には伊豆急下田駅と蓮台寺駅の2駅が立地している。

令和2年における伊豆急下田駅の乗降人員（定期利用分を除く）は、総数が626.8千人、乗車人員が279.0千人、降車人員が347.8千人（令和2年版新南伊豆のすがた）となっている。

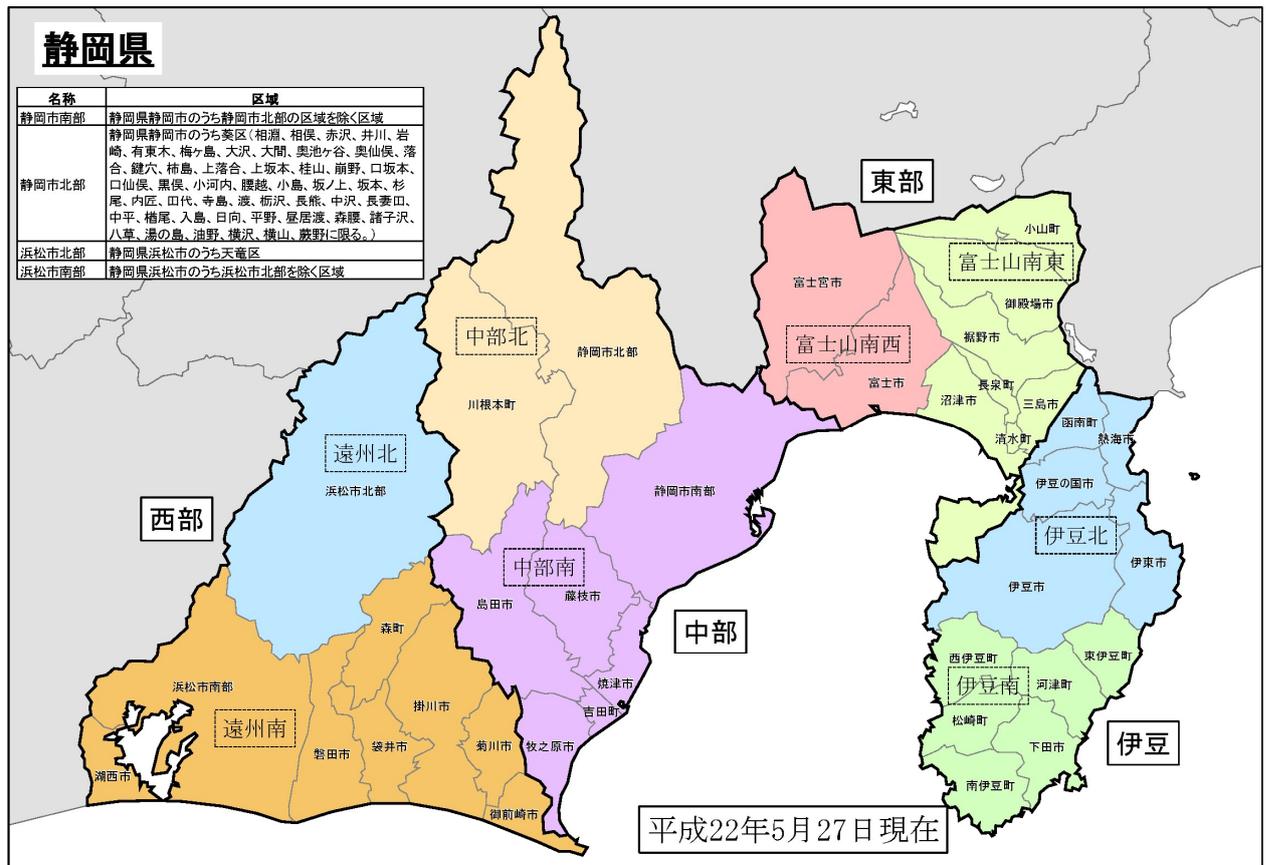
# 気象注意報・警報の発表区域

## 概要

静岡地方気象台で発表する気象に関する注意報及び警報の発表区域が、伊豆南、伊豆北、富士山南東、富士山南西、中部南、中部北、遠州南、遠州北の8区域にて発表していたが、より効果的な防災活動に役立てる為区域を個別の市町を対象として発表することとした。

実施年月日：平成22年5月27日

静岡県：35の市町を対象区域（静岡市、浜松市は2区分）



## 細分の効果

梅雨前線などによる集中豪雨や、雷雲による大雨の場合、狭い範囲に集中して降ることがある。また、大雨の区域は時間とともに移動する。このように局地性の高い現象や、時間を追って警戒を要する区域が変化する現象に対しては、地域を限定して発表することにより、対象となる地域が明確になり、段階的な防災対応と早めの体制解除ができることとなる。

# 気象等の予報及び警報の種類と発表基準

気象業務法に基づく、静岡県における気象等の予報（主な注意報のみ）及び警報の種類及び発表基準は次のとおりである。

## 1 注意報及び警報発表基準一覧 （静岡地方气象台）令和2年8月6日現在

下田市	府県予報区		静岡県		
	一次細分区域		伊豆		
	市町村等をまとめた地域		伊豆南		
警報	大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準	15	
		(土砂災害)	土壌雨量指数基準	111	
	洪水	流域雨量指数基準		大賀茂川流域=8.5 稲生沢川流域=21.2	
		複合基準 ※1		—	
		指定河川洪水予報による基準		—	
	暴風	平均風速		陸上 20m/s 海上 25m/s	
		暴風雪	平均風速		陸上 20m/s 雪を伴う 海上 25m/s 雪を伴う
	大雪		降雪の深さ		平地 12時間降雪の深さ10cm 山地 12時間降雪の深さ20cm
		波浪	有義波高		6.0m
	高潮	潮位		1.5m	
	注意報	大雨	表面雨量指数基準		10
			土壌雨量指数基準		74
		洪水	流域雨量指数基準		大賀茂川流域=6.8 稲生沢川流域=16.9
複合基準 ※1			大賀茂川流域=(10、5.4) 稲生沢川流域=(10、13.5)		
指定河川洪水予報による基準			—		
強風		平均風速		陸上 12m/s 海上 15m/s	
		風雪	平均風速		陸上 12m/s 雪を伴う 海上 15m/s 雪を伴う
大雪			降雪の深さ		平地 12時間降雪の深さ5cm 山地 12時間降雪の深さ10cm
		波浪	有義波高		3.0m
高潮		潮位		1.1m	
雷		落雷等により被害が予想される場合			
融雪					
濃霧		視程		陸上 100m 海上 500m	
		乾燥			最小湿度30%で、実効湿度50%
なだれ		1. 降雪の深さが30cm以上あった場合			
		2. 積雪が40cm以上あって最高気温が15℃以上の場合			
低温	冬期：最低気温-4℃以下				
霜	早霜・晩霜期に最低気温4℃以下				
着氷・着雪	著しい着氷（雪）が予想される場合				
記録的短時間大雨情報	1時間雨量		110mm		

※1（表面雨量指数、流域雨量指数）の組み合わせによる基準値を表しています。

## 2 特別警報発表基準一覧

現象の種類	発表基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)	
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)	
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)	

## 3 気象等の注意報並び警報の発表・切り替え・解除

### (1) 気象等の注意報・気象情報等の発表

静岡地方気象台が必要に応じて発表する。

### (2) 気象等の注意報・警報の切り替え・解除

ア 注意報及び警報は、その種類にかかわらず、これらの新たな注意報、または警報が行われたときに切り替えられる。

イ 注意または警報は、必要がなくなった場合には、当該注意報または警報を解除する。

## 4 水防活動用の気象等の注意報・警報

水防活動の利用に適合する注意報及び警報は、大雨・高潮・洪水の注意報及び大雨・高潮・洪水の警報をもってこれに代える。

## 5 特定河川に対する洪水注意報・警報

水防法第10条及び気象業務法第14条の2により、天竜川下流、菊川、安倍川、狩野川及び大井川については、それぞれ国土交通省中部地方整備局の各担当工事事務所と静岡地方気象台共同で河川名を付し、洪水注意報・洪水警報・洪水情報を発表する。また、富士川洪水予報については、国土交通省関東地方整備局甲府工事事務所と甲府地方気象台及び静岡地方気象台共同で河川名を付し、洪水注意報・洪水警報・洪水情報を発表する。

## 6 水防警報等

水防警報等は、次の水防関係等において発表する。

ア 水防情報は、県防災対策(水防)本部長(土木部河川班)。

イ 水防法第10条の4により国土交通大臣が指定した河川(第23節 水防計画)の水防警報は国土交通大臣(沼津・甲府・静岡河川工事事務所・浜松工事事務所長)が行う。

ウ 知事が指定した河川の水防警報は県災害対策(水防)本部長(土木部河川班)、またはその指定に基づいて土木事務所長が行う。

## 7 火災気象情報

消防法第22条により、静岡地方気象台長は、火災の危険が大きいと認められる気象状況となったときは、その状況を知事に通報する。この通報を受けた知事は、直ちに市町村長に通報する。

## 8 通信途絶時の注意報、警報等伝達経路

障害等により通常の通信経路が途絶した場合は、あらかじめ定めた各機関の障害用FAXへ伝達する。このFAXによる経路も途絶した場合は、状況により可能な範囲で県防災行政無線等の手段により伝達に努める。

# 降 水 量

(観測地点:石廊崎)

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和50年	104.5	122.0	91.5	168.0	204.5	250.5	264.5	175.0	145.0	256.5	181.0	66.5	2029.5
51	13.0	146.0	240.0	99.5	273.0	340.0	338.0	188.5	165.2	252.0	143.0	51.0	2249.2
52	35.5	56.5	250.0	152.5	147.5	155.0	186.5	348.5	299.5	39.0	196.0	70.5	1937.0
53	65.0	38.0	141.5	151.5	160.0	259.5	138.5	102.0	86.5	206.0	70.5	70.0	1489.0
54	68.5	139.5	83.5	165.0	169.5	156.5	260.5	207.0	134.4	300.5	193.5	105.5	1983.9
55	197.0	26.0	155.0	249.5	289.5	293.0	187.5	147.5	125.5	309.0	130.5	85.0	2195.0
56	38.5	60.0	207.0	232.5	66.0	134.0	203.0	134.5	168.0	314.0	183.0	25.0	1765.5
57	94.0	101.0	106.0	153.5	140.5	187.0	351.0	472.0	584.5	115.0	199.5	44.5	2548.5
58	68.0	43.5	208.0	338.5	124.0	352.5	141.0	421.0	347.0	207.0	98.0	41.0	2389.5
59	27.5	82.0	108.0	73.5	99.0	395.0	37.0	73.0	115.5	24.5	34.0	47.5	1116.5
60	30.5	97.0	190.0	135.0	117.0	344.0	113.0	124.0	116.5	43.0	93.5	28.5	1432.0
61	31.5	18.5	176.5	166.0	309.5	120.0	211.5	87.5	152.5	81.5	77.0	111.0	1543.0
62	161.5	46.5	201.0	66.6	211.0	180.5	266.0	160.5	203.0	195.0	92.5	52.0	1836.1
63	43.0	31.0	132.5	146.5	157.5	333.5	141.0	451.0	317.5	116.0	47.0	1.5	1918.0
平成元年	115.0	247.5	169.0	166.0	136.0	517.0	186.5	215.5	164.5	187.5	173.0	45.0	2322.5
2	113.0	157.0	118.0	152.5	151.5	157.5	104.5	119.0	257.0	117.5	196.5	44.0	1688.0
3	71.5	96.5	214.5	161.5	160.5	205.0	116.0	134.0	320.0	462.0	136.5	76.0	2154.0
4	39.0	48.0	181.0	209.0	267.0	320.0	91.5	95.0	117.0	344.5	113.5	72.5	1898.0
5	120.5	127.0	117.0	145.0	101.5	338.5	491.0	127.0	294.5	182.5	203.0	110.0	2357.5
6	30.0	137.5	133.0	79.5	171.0	107.5	19.5	36.5	226.5	69.0	109.0	17.5	1136.5
7	41.0	48.0	176.0	217.5	338.5	239.5	155.5	0.5	81.5	143.5	95.0	21.5	1558.0
8	欠測	30.0	199.0	31.5	86.5	181.5	303.5	167.0	164.0	101.0	111.0	89.0	1464.0
9	18.0	64.5	90.5	218.0	195.0	226.0	264.5	29.0	93.5	29.0	84.0	76.5	1388.5
10	110.5	164.0	108.0	224.5	179.0	335.5	110.5	168.0	346.5	140.0	40.5	45.0	1972.0
11	21.5	46.0	209.0	146.0	198.0	169.0	299.0	154.0	95.0	161.5	96.0	18.0	1613.0
12	71.0	29.0	208.5	107.5	142.5	350.0	185.5	49.5	245.0	182.0	101.5	30.5	1702.5
13	欠測	75.5	131.5	122.5	121.0	148.5	7.5	149.0	206.5	258.5	115.5	71.5	1407.5
14	100.0	40.5	146.0	50.5	104.5	253.0	245.0	197.0	123.0	204.0	33.5	70.5	1567.5
15	153.0	90.0	153.0	87.0	179.5	121.5	195.5	381.0	70.5	87.5	415.5	25.5	1959.5
16	21.5	83.0	119.0	67.5	欠測	170.0	76.0	77.5	159.5	440.5	139.0	124.5	1478.0
17	欠測	65.5	欠測	140.5	104.5	279.0	189.5	250.5	78.0	173.0	243.5	5.0	1529.0
18	134.0	128.5	77.5	234.5	欠測	142.5	241.5	405.5	86.0	123.5	99.5	92.0	1765.0
19	53.0	73.5	92.5	106.5	221.0	101.0	455.5	16.5	241.0	218.0	16.5	欠測	1595.0
20	55.0	64.5	148.0	283.5	213.0	373.0	13.0	169.5	248.5	99.0	62.0	64.0	1793.0
21	177.5	108.5	128.0	134.0	131.5	246.0	221.5	115.5	40.0	208.5	126.0	90.0	1727.0
22	45.5	192.5	152.5	245.0	154.5	229.5	151.0	104.0	188.5	177.5	105.0	134.0	1879.5
23	1.5	187.0	55.5	125.0	258.0	205.5	124.5	76.0	152.0	194.5	136.0	40.5	1556.0
24	15.0	200.5	189.0	208.5	274.5	181.0	48.0	41.0	193.0	172.5	245.0	160.0	1928.0
25	45.5	121.0	71.0	235.5	88.0	217.5	70.0	63.0	122.0	218.0	153.5	58.0	1463.0
26	58.5	79.0	179.0	137.5	256.0	135.5	128.5	61.0	119.0	255.5	78.0	126.0	1613.5
27	107.5	81.0	217.0	102.5	72.0	279.0	532.5	163.5	307.0	70.0	208.5	94.0	2234.5
28	46.5	97.0	180.5	180.0	164.0	236.0	110.5	218.0	291.5	169.0	138.5	116.5	1948.0
29	32.0	70.5	111.5	161.5	130.5	194.0	16.0	76.5	177.5	458.5	169.0	32.5	1630.0
30	93.5	9.0	165.0	92.0	253.5	296.0	75.5	81.5	420.5	96.0	66.5	103.0	1752.0
令和元年	24.5	93.5	114.5	206.5	271.5	564.0	347.0	88.5	230.0	387.5	119.5	75.0	2522.0
2	88.0	120.0	236.0	106.5	123.5	259.0	686.0	51.5	154.0	182.5	38.5	39.5	2085.0
平均	69.3	90.9	152.9	156.2	175.4	245.2	197.8	155.9	195.1	190.7	128.4	65.9	1807.0

※「欠測」がある年の合計は、「欠測」のある月を除いた合計

※各月の平均値は、欠測のある年を除いて求めた

(出典:気象庁 過去の気象データ検索)

# 最大日降水量

(観測地点:石廊崎)

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	最大日降水量
昭和50年	33.5	65.0	30.0	60.0	54.5	82.0	91.5	53.5	56.0	75.0	68.0	29.5	91.5
51	9.0	47.0	69.0	28.0	84.0	112.0	257.5	63.5	41.0	94.5	67.0	16.0	257.5
52	12.0	18.5	94.5	42.5	59.5	42.0	96.5	113.0	98.5	13.0	74.0	22.0	113.0
53	13.5	18.5	55.0	27.5	54.5	102.0	59.5	58.0	26.0	56.5	31.0	30.0	102.0
54	34.0	42.5	25.0	54.5	92.0	58.0	79.5	67.5	42.0	61.5	41.5	42.0	92.0
55	69.0	13.5	36.5	74.0	98.0	72.0	41.0	44.5	47.0	127.5	45.5	37.0	127.5
56	15.0	33.0	81.0	46.0	17.0	49.0	54.5	56.0	79.5	214.0	78.0	7.0	214.0
57	60.0	36.5	32.0	63.0	52.0	76.5	130.0	158.5	177.0	36.0	40.0	14.5	177.0
58	15.5	14.5	39.0	105.0	70.0	87.0	75.0	186.5	52.5	35.5	39.0	19.5	186.5
59	6.0	42.5	31.0	27.0	51.0	110.0	21.5	29.0	38.0	6.5	14.0	14.5	110.0
60	19.0	53.0	84.5	27.5	41.5	101.0	38.5	40.5	62.0	12.5	26.0	12.5	101.0
61	21.5	9.0	61.0	37.5	85.5	40.5	65.0	44.5	52.5	27.5	43.5	24.5	85.5
62	63.0	16.5	45.5	25.0	67.0	55.0	69.0	64.0	38.5	48.5	33.5	20.0	69.0
63	9.5	16.5	22.0	37.5	43.0	58.0	94.5	90.5	115.5	37.0	20.5	1.0	115.5
平成元年	33.5	128.5	30.0	64.0	29.0	173.5	46.0	137.5	36.5	33.5	96.5	23.0	173.5
2	42.0	30.5	49.5	40.0	39.5	42.5	43.0	52.5	94.5	36.0	81.5	27.5	94.5
3	36.5	67.0	44.5	57.0	35.5	48.0	53.5	77.5	111.5	134.5	76.0	15.5	134.5
4	15.0	19.0	46.0	84.5	77.0	76.0	38.5	43.0	51.0	152.0	23.0	17.0	152.0
5	72.0	57.0	27.0	41.5	22.5	81.5	235.5	57.5	99.0	42.5	124.0	35.5	235.5
6	14.0	50.0	65.5	22.5	30.5	54.0	5.5	21.0	45.0	25.5	66.5	5.0	66.5
7	22.5	11.5	40.5	38.0	158.0	113.0	59.5	0.5	34.0	103.5	45.5	20.0	158.0
8	10.5	13.5	48.5	11.5	28.0	90.0	128.5	124.0	77.5	32.0	19.0	55.0	128.5
9	9.0	37.0	38.0	92.0	39.5	62.5	105.0	24.0	68.5	12.0	29.0	53.0	105.0
10	44.5	79.0	33.0	79.5	51.0	80.0	37.5	69.0	97.0	55.0	18.0	18.0	97.0
11	13.0	15.0	50.0	39.5	79.5	30.0	127.0	48.0	38.5	142.0	38.5	10.5	142.0
12	22.0	15.0	57.5	52.5	44.5	47.5	55.5	40.5	66.0	60.5	43.5	10.5	66.0
13	51.0	25.5	36.5	42.5	31.0	55.5	6.0	92.5	61.5	60.5	39.0	51.5	92.5
14	39.5	13.5	43.5	22.5	25.5	59.5	110.0	63.5	40.0	75.5	17.5	18.0	110.0
15	70.0	30.5	52.0	21.5	47.0	24.0	45.0	198.5	42.5	29.5	145.0	12.0	198.5
16	12.0	57.5	46.5	36.5	36.5	41.5	30.0	47.5	69.0	90.0	39.0	62.0	90.0
17	33.5	16.5	26.0	64.5	25.0	130.0	69.0	164.5	52.5	53.0	198.0	4.5	198.0
18	125.0	48.5	27.5	110.0	40.5	37.5	71.5	267.0	49.0	50.5	17.0	65.5	267.0
19	19.0	21.5	31.5	34.0	118.5	47.5	141.0	11.0	91.0	139.5	5.0	55.0	141.0
20	14.5	34.0	42.5	94.5	52.5	140.0	8.5	105.0	78.5	34.0	19.0	28.5	140.0
21	97.5	36.0	38.5	36.0	30.0	72.5	40.5	33.0	22.5	44.5	45.0	60.0	97.5
22	11.0	64.5	47.5	41.5	60.0	62.5	44.5	59.0	56.0	63.0	45.0	29.0	64.5
23	1.5	78.0	19.5	37.0	55.5	46.5	58.5	24.0	50.0	61.0	68.5	13.5	78.0
24	6.0	64.0	40.5	70.0	108.5	61.0	19.0	15.5	39.0	64.5	66.0	47.5	108.5
25	20.0	25.5	35.0	72.0	48.5	87.0	33.5	21.5	44.5	77.5	57.5	18.5	87.0
26	23.0	20.0	64.0	38.5	55.0	37.5	62.5	32.0	64.5	76.0	13.5	44.5	76.0
27	35.0	16.0	62.5	18.0	25.5	83.5	143.5	81.0	50.0	23.5	56.5	30.5	143.5
28	34.5	67.0	58.5	52.0	48.5	74.5	89.0	124.0	60.0	49.5	31.5	39.0	124.0
29	16.0	30.0	31.0	47.0	57.5	87.0	10.5	47.0	69.5	178.0	36.0	19.0	178.0
30	45.5	4.0	50.0	32.5	82.0	85.0	52.5	40.0	66.5	32.0	24.5	32.0	85.0
令和元年	19.5	31.5	28.5	51.0	95.5	127.5	97.0	47.0	166.5	180.0	29.0	15.5	180.0
2	26.0	26.0	55.0	54.5	36.5	52.5	193.5	35.5	30.0	61.0	16.0	22.5	193.5
平均	30.8	36.1	45.1	49.0	56.2	73.0	74.7	71.2	64.1	67.8	48.9	27.2	131.5

(出典:気象庁 過去の気象データ検索)

# 降 水 日 数

(観測地点:石廊崎)

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和50年	7	8	7	13	11	14	10	14	10	17	8	7	126
51	3	10	11	13	16	18	11	10	13	12	7	6	130
52	4	4	13	10	8	16	7	13	10	7	12	7	111
53	11	5	9	11	10	12	5	13	8	12	5	7	111
54	4	7	10	12	6	10	11	13	11	11	14	7	116
55	11	4	11	12	11	12	12	9	9	11	7	5	114
56	5	7	14	11	9	9	11	10	12	10	12	5	115
57	5	8	12	11	8	13	14	14	13	11	12	6	127
58	6	6	13	14	10	13	7	4	19	14	8	5	119
59	6	5	9	8	6	17	6	4	10	9	6	7	93
60	3	5	13	11	10	13	5	9	7	8	8	4	96
61	3	3	10	10	11	9	13	7	10	8	5	11	100
62	9	9	10	7	10	10	10	7	15	11	6	7	111
63	8	6	16	8	11	16	8	13	14	8	4	1	113
平成元年	6	12	12	10	13	10	12	5	10	11	7	4	112
2	6	17	10	13	11	10	6	5	17	11	9	6	121
3	7	4	15	9	9	14	11	8	14	15	6	7	119
4	6	4	16	9	12	12	6	10	6	17	11	7	116
5	9	5	14	9	8	13	12	14	13	10	4	12	123
6	6	7	8	10	10	9	6	6	17	8	8	6	101
7	3	7	12	17	14	13	8	0	6	7	8	2	97
8	7	5	8	7	7	12	8	4	5	10	13	6	92
9	3	5	8	7	12	11	10	2	5	11	4	10	83
10	10	11	8	14	16	18	13	12	16	15	3	6	142
11	4	5	14	9	9	13	12	13	7	4	5	4	99
12	6	2	8	9	9	16	8	3	16	10	8	9	104
13	9	6	9	9	11	7	2	3	10	9	9	4	88
14	6	5	9	8	11	13	9	7	12	9	6	10	105
15	6	10	14	11	13	16	16	12	3	7	16	4	128
16	4	5	12	6	12	7	7	7	14	16	8	7	105
17	10	9	10	7	10	11	9	9	5	13	4	1	98
18	4	7	7	11	17	11	13	6	6	12	10	7	111
19	7	8	8	12	6	8	15	2	10	7	6	7	96
20	7	5	10	10	11	13	3	7	9	8	7	7	97
21	11	7	10	6	10	12	13	6	5	10	11	7	108
22	6	10	14	14	8	13	11	3	9	12	5	11	116
23	1	11	7	8	13	13	7	8	13	8	8	6	103
24	5	9	10	9	9	12	6	6	11	7	8	10	102
25	5	10	8	7	8	10	8	7	8	10	9	6	96
26	4	9	8	11	11	10	10	6	8	10	11	7	105
27	7	6	12	13	7	13	13	6	13	5	14	7	116
28	3	7	7	13	9	13	4	6	15	9	12	7	105
29	5	6	9	8	4	10	2	8	15	17	9	3	96
30	5	3	8	8	12	13	5	5	21	6	11	9	106
令和元年	2	8	11	14	12	16	19	8	8	12	9	12	131
2	9	12	10	6	10	14	17	4	19	10	6	5	122

※1.0mm以上の降水があった日数

(出典:気象庁 過去の気象データ検索)

# 平均気温

(観測地点:石廊崎)

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
昭和50年	7.3	7.1	9.4	14.3	18.1	20.8	24.2	25.7	24.7	18.9	15.0	9.6	16.3
51	7.6	9.4	10.6	13.8	17.7	21.0	23.4	24.8	22.6	18.6	13.7	9.7	16.1
52	6.2	6.8	10.9	14.9	17.7	20.7	24.5	24.7	24.0	19.8	16.9	12.4	16.6
53	7.9	6.4	10.0	14.1	17.9	22.0	25.9	27.1	23.5	18.9	14.7	11.5	16.7
54	9.6	10.3	10.9	14.1	17.7	22.1	23.7	25.9	24.0	20.4	15.8	12.3	17.2
55	7.8	6.4	10.2	13.8	18.1	21.9	23.5	23.5	22.8	19.2	15.4	9.2	16.0
56	5.9	7.1	10.2	14.6	17.7	20.7	24.6	25.3	22.1	18.4	13.0	10.3	15.8
57	8.0	7.3	11.0	14.2	19.6	20.6	21.8	25.2	22.1	18.7	15.8	11.3	16.3
58	8.3	7.2	9.8	15.2	18.6	20.2	23.5	26.0	23.1	18.8	13.8	9.0	16.1
59	6.1	5.0	7.4	12.3	16.6	20.8	25.0	26.5	22.7	18.5	14.7	10.1	15.5
60	6.3	8.1	10.2	14.5	18.3	20.1	24.8	26.2	23.3	19.0	14.9	9.4	16.3
61	6.3	6.2	9.9	14.3	17.1	20.2	23.4	25.4	23.5	17.9	14.5	11.7	15.9
62	8.6	8.5	10.7	14.5	18.6	21.0	25.1	26.4	23.4	19.7	15.1	11.4	16.9
63	9.8	6.8	9.9	14.7	17.7	21.0	22.4	25.6	23.5	18.6	13.0	9.9	16.1
平成元年	10.2	9.2	10.6	14.9	17.6	19.8	23.4	25.8	24.3	18.8	15.5	11.0	16.8
2	8.2	9.7	11.5	15.2	17.8	21.9	24.4	27.1	24.5	20.0	16.6	11.4	17.4
3	8.1	7.5	11.0	15.1	17.3	21.5	24.4	24.9	24.0	19.5	15.1	11.5	16.7
4	9.3	8.5	11.3	15.6	17.0	20.2	23.9	25.1	23.1	18.4	15.1	11.4	16.6
5	9.0	9.6	9.8	13.9	17.1	20.1	21.7	23.8	22.4	18.3	15.7	10.8	16.0
6	8.8	8.0	9.3	15.6	18.6	21.5	26.5	27.2	24.5	20.8	15.6	11.7	17.3
7	8.2	8.1	10.3	14.6	18.3	20.0	24.5	26.8	22.9	20.2	14.1	9.6	16.5
8	7.8	6.9	10.0	12.2	17.5	20.7	24.4	25.1	22.5	19.0	15.5	10.9	16.0
9	7.9	8.2	11.3	14.8	18.0	20.8	23.6	25.6	23.5	19.1	16.0	11.3	16.7
10	7.8	9.3	11.7	16.7	19.7	21.3	24.6	26.3	24.2	20.8	15.8	11.6	17.5
11	8.7	8.5	11.5	14.7	18.4	21.1	24.6	26.8	25.5	20.6	16.0	10.9	17.3
12	9.4	7.2	10.4	14.6	18.8	21.0	24.9	26.5	24.6	19.6	15.5	10.6	16.9
13	7.1	8.5	10.7	15.1	18.6	21.5	26.0	25.8	23.4	19.7	14.5	10.1	16.8
14	8.4	8.6	12.6	16.0	18.1	20.3	25.6	26.5	23.3	19.4	12.7	9.9	16.8
15	7.6	8.0	9.9	15.4	18.5	21.5	22.5	24.9	23.9	18.6	16.3	11.1	16.5
16	8.0	9.1	10.7	16.0	19.1	22.4	26.3	26.1	24.9	19.1	17.1	12.5	17.6
17	8.1	7.8	10.5	15.0	17.5	21.2	23.9	26.1	23.8	19.7	14.9	7.6	16.3
18	7.3	8.4	10.4	13.5	17.9	20.9	23.0	25.6	23.5	20.0	15.4	10.8	16.4
19	9.0	10.1	11.4	14.1	18.4	21.4	23.3	26.7	24.1	19.3	14.9	10.9	17.0
20	7.7	7.1	11.7	15.4	18.4	20.2	25.4	26.4	23.7	20.0	14.6	11.5	16.8
21	8.4	9.9	10.6	15.2	19.1	21.0	23.8	25.3	22.7	19.1	15.3	10.9	16.8
22	8.3	8.4	10.5	13.3	17.8	21.8	26.1	27.1	24.5	20.0	14.9	11.3	17.0
23	6.5	9.2	9.4	14.2	17.8	21.4	25.2	26.1	24.5	19.6	16.4	9.9	16.7
24	7.4	7.5	10.7	14.5	18.6	20.5	24.6	26.7	25.0	20.0	14.6	9.2	16.6
25	7.1	7.8	12.8	15.3	18.7	21.2	24.6	27.3	24.5	20.8	14.3	9.8	17.0
26	8.4	7.8	10.8	14.1	18.0	21.1	24.2	25.3	22.8	19.4	15.8	9.1	16.4
27	8.4	8.1	11.3	14.6	18.9	20.2	24.3	26.4	22.9	19.3	16.0	12.3	16.9
28	8.7	9.0	11.4	16.1	19.0	21.2	24.0	26.4	24.4	20.3	14.7	11.9	17.3
29	8.5	8.9	9.7	14.5	18.8	20.7	25.5	26.2	23.7	19.2	15.0	9.5	16.7
30	7.5	7.4	12.8	16.6	19.1	21.6	26.7	27.3	23.6	20.2	16.3	11.7	17.6
令和元年	9.0	10.0	12.0	14.4	19.1	21.6	23.9	27.2	25.4	21.2	15.9	12.3	17.7
2	10.4	10.4	12.4	14.4	19.1	22.5	24.0	27.7	24.8	19.1	16.7	11.0	17.7

(出典:気象庁 過去の気象データ検索)

### 過去、下田市にあった大雨降水量対比表

昭和50年10月8日集中豪雨			昭和51年7月11日集中豪雨			平成3年9月10日伊豆半島南部の集中豪雨						
時間	降水量(mm)		時間	降水量(mm)		時間	降水量(mm)		降水量(mm)		降水量(mm)	
	石廊崎 測候所	土木事務所 雨量計		石廊崎 測候所	土木事務所 雨量計		下田土木事務所		須原(静大)		落合浄水場	
							時間雨量	総雨量	時間雨量	総雨量	時間雨量	総雨量
16時～18時	0.0	0.5	降り始めより 3時まで	17.0	5.5	0～1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～19		0.0	3時～4時	0.5	0.0	1～2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19～20	0.5	0.0	4～5	2.0	1.5	2～3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～21	0.0	0.0	5～6	16.5	14.0	3～4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21～22	6.5	9.0	6～7	37.0	18.0	4～5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22～23	1.5	5.0	7～8	15.5	28.0	5～6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23～24	4.0	20.5	8～9	27.5	44.0	6～7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0～1	5.5	2.5	9～10	19.0	32.0	7～8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～2	1.5	2.0	10～11	20.0	37.0	8～9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2～3	27.5	17.5	11～12	39.0	58.0	9～10	4.0	4.0	9.0	9.0	0.0	0.0
3～4	21.0	47.5	12～13	0.0	15.5	10～11	0.0	4.0	16.0	25.0	5.0	5.0
4～5	6.5	31.5	13～14	0.0	0.0	11～12	11.0	15.0	14.0	39.0	10.0	15.0
5～6	5.0	2.0	14～15	19.0	36.0	12～13	17.0	32.0	17.0	56.0	9.0	24.0
6～7	1.0	4.0	15～16	2.5	9.0	13～14	39.0	71.0	23.0	79.0	23.0	47.0
7～8	0.0	1.0	16～17	6.0	17.5	14～15	3.0	74.0	45.0	124.0	80.0	127.0
8～9	0.0	0.0	17～18	0.0	5.5	15～16	1.0	75.0	52.0	176.0	90.0	217.0
9～10	3.5	6.5	18～19	6.5	0.0	16～17	0.0	75.0	50.0	226.0	60.0	277.0
10～11	3.5	2.0	19～20	28.0	14.0	17～18	0.0	75.0	49.0	275.0	20.0	297.0
11～12		0.5	20～21	18.0	25.0	18～19	0.0	75.0	27.0	302.0	11.0	308.0
12～13			21～22	0.5	16.0	19～20	0.0	75.0	24.0	326.0	2.0	310.0
			22～23	0.0	15.0	20～21	0.0	75.0	49.0	375.0	2.0	312.0
			23～24	0.0	0.0	21～22	0.0	75.0	16.0	391.0	0.0	312.0
			0～1	0.0	1.5	22～23	0.0	75.0	1.0	392.0	1.0	313.0
			1～5	1.5	5.0	23～24	0.0	75.0	0.0	392.0	0.0	313.0
合計	87.5	152.0	合計	276.0	398.0	合計	75.0	75.0	392.0	392.0	313.0	313.0

## 過去に伊豆に被害を及ぼした地震

西暦年月日 和暦年月日	東 経 北 緯 震央地名	M 深さ(h)	被害等級 津波規模 県内最大震度	
684.11.29 天武13.10.14	134.0 32.5 南海・西海道	8.4	[IV] 3 IV	津波による被害が多少あったと推定される。
818 弘仁 9. 7	139.3 35.2 関東諸国	7.9	[IV] 1	県東境で多少の被害があったか。
841 承和 8	138.9 35.1 伊豆	7.0	[II] VI+	伊豆:里落完たからず。人あるいは傷き、あるいは圧没された。
878.11.1 元慶 2.9.29	139.3 35.5 関東諸国	7.4	[II] V	相模・武蔵がとくに強かったという。県東境にも被害が推定される相模国分寺に被害。
887. 8.26 仁和 3. 7.30	135.3 33.0 五畿七道	8.6	[IV] 3 IV	津波による被害が多少あったと推定される。
1099. 2.22 康和 1. 1.24	135.5 33.0 南海道	8.4	[IV] IV	津波による被害が多少あったと推定される。
1293. 5.27 正応 6. 4.13	鎌倉	7.1	[II]	鎌倉で大被害。伊豆での被害の可能性あり。
1361. 8. 3 正平16. 6.24	135.0 33.0 畿内・土佐・阿波	8.4	[IV] 3 IV	津波による被害が多少あったか？
1498. 9.20 明応 7. 8.25	138.2 34.1 東海道	8.6	[IV] 3	伊豆・仁科郷海溢れて陸地に上ること18～19町。寺川以下の田園水没する。
1605. 2. 3 慶長 9.12.16	134.9 33.0 東海・南海・西海	7.9	[IV] 3 VI	仁科郷海溢れ陸を浸すこと12～13町。
1633. 3. 1 寛永10. 1.21	139.2 35.2 駿豆相	7.1	[II] 1 V	熱海に津波。家・田畑流失。箱根で岩くずれ道を塞ぐ。通行の人馬の死あり。
1648. 6.12 慶安 1. 4.22	139.2 35.2 小田原	7.1	[I] IV	県東境に微小被害推定される。
1703.12.31 元禄16.11.23	139.8 34.7 関東諸国	8.2	[IV] 3 IV～V	箱根山崩。町宿大分崩死あり。番所半分潰れ、石垣棚崩倒。箱根一三島間少し損じ、三島は別条なし 伊豆東海岸に津波、死は380余(宇佐美)・163(須玖美)・27(下田)下田で潰・流失 332軒・半潰 160軒、破船81、川奈・熱海・竹麻・仁科・片浦に津波。
1707.10.28 宝永 4.10. 4	135.9 33.2 五畿七道	8.4	[IV] 4 VI	震度はV以下。津波が各地を襲う下田で流失・皆潰 857軒、半潰55軒、死11人、破痛船53。
1729. 3. 8 享保14. 2. 9				伊豆で大地割れ、川筋に水涌く。余震20日すぎまで小津波か？
1782. 8.23 天明 2. 7.15	139.2 35.2 武相	7.3	[I] 1 IV～V	田方郡でつよく、箱根で石垣崩れ小田原に津波。甲分の猿橋くずれる伊豆北部に小被害の可能性あり。
1853. 3.11 嘉永 6. 2. 2	139.1 35.3 小田原	6.5	[I] IV	箱根で落石・山崩。関所破損。御殿場で潰家1、修善寺・三島その他で損所ありという。

西暦年月日 和暦年月日	東北経緯 震央地名	M 深さ(h)	被害等級 津波規模 県内最大震度	
1854.12.23 嘉永 7.11.4	137.8 34.0 東海・東山・南海	8.4	[IV] 3 VII	震度V。下田以西の沿岸に津波。 下田計 875軒のうち 840流失・皆潰。 30半潰水入、無事は4軒のみ 人口 3,851人のうち死 122。
1891.10.28 明治24	136.6 35.6 愛知・岐阜	7.9	V~VI	吉奈・湯ヶ島+15℃、湯ヶ野+5℃。 蓮台寺-x℃、3~4日で復旧。
1923. 9. 1 大正12	139.3 35.2 関東南部	7.9	V	熱海に津波 (12m)、網代で 7.2m被 害なし。下田で浸水
1923. 9.10 大正12	139.4 34.8 大島近海	5.8		稲取・下河津付近で道路破損等小被 害。
1926. 8. 3 大正15	139.8 35.4 東京湾中部	6.2 35km		熱海で壁落数戸
1930. 3.22 昭和 5	139.1 34.8 伊東付近	5.8 20km		伊東で屋根瓦の落下、壁の亀裂あり。
1930.11.26 昭和 5	139.0 35.1 北伊豆	7.0 0~5km	VI	死259、傷566、住家全壊2,077、半壊 5,424、焼失75。丹那断層を生じ、発光 現象がみられた。伊東・大場・長岡・ 函南村間宮で火災。
1934. 3.21 昭和 9	138.9 34.8 天城山	5.5 0~10km	V	湯ヶ島一天城峠間で崖崩れ10余、墓 石の転倒 (湯ヶ島・与市坂・白田・上 河津)。半島の温泉に異常。
1935. 7.11 昭和10	138.4 35.0 静岡付近	6.3 10km	VI	蓮台寺温泉の水位が5日前から70cm 上昇。震後急下降。8月5日までに 262cm下降する。
1944.12. 7 昭和19	136.2 33.7 東海沖	8.0 0~30km	VI	下田で津波高さ 2.1m
1946.12.21 昭和21	135.6 33.0 南海沖	8.1 30km		津波の高さ下田 2 m、須崎 1 m
1960. 5.23 昭和35	73.5W 38.0S チリ地震津波	8.5	0	下田で波高 1.8m
1974. 5. 9 昭和49	138° 48' 34° 34' 伊豆半島沖	6.9 10km	V	死・不明38、傷102、家屋全壊134、半壊 240、全焼5、山(がけ)くずれ101、中 木・入間・石廊崎で被害大。断層を生 ず。温泉の異常あり
1976. 8.18 昭和51	138° 57' 34° 47' 河津沖	5.4 0km	III	河津町付近で家屋半壊3戸、一部破 損61戸ここでの震度はVか。
1978. 1.14 昭和53	139° 15' 34° 46' 伊豆大島近海	7.0 0km	V	河津町・東伊豆町を中心として被害 あり。

# 第4次地震被害想定

## 1 第4次地震被害想定

- 地震によって、県下の各地でどのような現象が発生し、どの程度の被害を受けるかを定量的に試算した結果を示し、的確かつ効果的な防災対策の樹立に資するものである。
- 試算については、本県において、その発生の切迫性が指摘され、かつ、最大級の災害が想定される地震として、中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告」などを踏まえ、駿河トラフ・南海トラフ沿いと相模トラフ沿いで発生するレベル1・2の地震・津波を対象とした。

区 分	レベル1の地震・津波	レベル2の地震・津波
駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波	東 海 地 震 東 海 ・ 東 南 海 地 震 東 海 ・ 東 南 海 ・ 南 海 地 震	南 海 ト ラ フ 巨 大 地 震 (内閣府 (2012) ) (※ 1)
相 模 ト ラ フ 沿 い で 発 生 す る 地 震 ・ 津 波	大 正 型 関 東 地 震	元 禄 型 関 東 地 震 (※2)

- ※1 南海トラフ巨大地震(内閣府(2012))の断層モデルは、現時点での科学的知見に基づき検討されたものであり、今後の科学的知見の蓄積を踏まえて検証され、場合によっては修正される可能性があることに留意するものとする。
- ※2 相模トラフ沿いでは約200~400年間隔で海溝型(プレート境界型)の地震が発生しており、このうち元禄16年(1703年)元禄関東地震は大正12年(1923年)大正関東地震に比べ広い震源域を持つ既往最大の地震とされている。国から相模トラフ側でのあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波が提示されるまでの間、当該地震を相模トラフ側のレベル2の地震・津波と位置付ける。
- 注) 内閣府(2012): 南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域等(第二次報告)及び被害想定(第一次報告)について(以下同じ)

- なお、この試算値は、今後、適切かつ効果的な地震対策の推進、さらに県民の防災への自助・共助の努力を積み重ねることによって、大幅に減少させることができると考えられる。

## 2 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル1の地震・津波(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)の被害想定の結果

### (1) 概 説

- この試算は、駿河トラフから南海トラフの領域を震源域に、東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震が発生した場合を想定して行ったものである。
- 試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、過去の地震被害例等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化等の各種危険度の想定をしている。なお、強震断層モデルは、レベル1の地震とレベル2の地震との間で地震動の強さに本質的な差がないとの前提の下、暫定的にレベル2の地震と同じもの(内閣府(2012)の基本ケース)を使用している。津波断層モデルは、中央防災会議(2003)の東海・東南海・南海地震のモデルを使用している。  
注) 中央防災会議(2003): 「東南海、南海地震等に関する専門調査会」(第16回)報告書
- これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地、津波、山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。
- また、地震予知がなく地震が発生した場合と警戒宣言が発せられた後地震が発生した場合について、それぞれ試算をしている。

## (2) 建物等被害に係る想定結果

(単位：棟)

予知なく地震が発生した場合										
項目	被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約30			約200			約171,000		
	半壊	約400	約400	約400	約1,500	約1,500	約1,500	約165,000	約163,000	約156,000
液状化	全壊	約40			約200			約1,800		
	半壊	約100	約100	約100	約600	約600	約600	約6,400	約6,300	約6,100
人工造成地	全壊	—			—			約17,000		
	半壊	—	—	—	—	—	—	約51,000	約51,000	約51,000
津波	全壊	約100			約800			約2,400		
	半壊	約700	約700	約700	約2,300	約2,300	約2,300	約4,900	約4,900	約4,900
山・崖崩れ	全壊	約60			約300			約2,500		
	半壊	約100	約100	約100	約600	約600	約600	約5,800	約5,800	約5,800
火災	全焼	—	—	—	—	—	約10	約22,000	約28,000	約66,000
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約230	約230	約230	約1,500	約1,500	約1,510	約217,000	約223,000	約260,000
	半壊	約1,300	約1,300	約1,300	約5,000	約5,000	約5,000	約233,000	約232,000	約224,000
建物被害率	全壊及び焼失	約2%	約2%	約2%	約3%	約3%	約3%	約15%	約16%	約18%
	半壊	約9%	約9%	約9%	約11%	約11%	約11%	約16%	約16%	約16%

(単位：棟)

予知あり地震が発生した場合										
項目	被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
		地震動	全壊	約30			約200			約171,000
半壊	約400			約1,500			約169,000			
液状化	全壊	約40			約200			約1,800		
	半壊	約100			約600			約6,500		
人工造成地	全壊	—			—			約17,000		
	半壊	—			—			約51,000		
津波	全壊	約100			約800			約2,400		
	半壊	約700			約2,300			約5,000		
山・崖崩れ	全壊	約60			約300			約2,500		
	半壊	約100			約600			約5,800		
火災	全焼	—			—			約2,500		
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約230			約1,500			約197,000		
	半壊	約1,300			約5,000			約237,000		
建物被害率	全壊及び焼失	約2%			約3%			約14%		
	半壊	約9%			約11%			約17%		

ブロック塀等転倒数	約 23,000件
屋外落下物が発生する建物	約 47,000棟

「—」：被害わずか

注) ・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・全壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊

・半壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

## (3) 人的被害に係る想定結果

(単位：人)

予知なく地震が発生した場合											
項 目	被害区分	下 田 市			賀 茂 地 区			静 岡 県 全 体			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建 物 倒 壊 (うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物)	死者数	— (—)	— (—)	— (—)	約10 (—)	— (—)	— (—)	約5,500 (約700)	約2,700 (約500)	約4,300 (約500)	
	重傷者	— (—)	約30 (—)	約10 (—)	約30 (約10)	約90 (—)	約30 (—)	約19,000 (約2,600)	約30,000 (約2,100)	約19,000 (約1,600)	
	軽傷者	約70 (約10)	約200 (約10)	約80 (約10)	約300 (約30)	約400 (約20)	約260 (約10)	約49,000 (約9,700)	約52,000 (約7,800)	約42,000 (約7,600)	
津 波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約50	—	—	約3,600	約1,100	約1,300	約7,400	約2,500	約3,200
		重傷者	—	—	—	約200	約80	約200	約400	約100	約200
		軽傷者	—	—	—	約500	約200	約100	約800	約300	約400
	早期避難率低	死者数	約300	約100	約200	約4,000	約2,500	約3,200	約9,000	約5,700	約7,300
		重傷者	約40	約20	約20	約300	約200	約230	約500	約400	約400
		軽傷者	約70	約40	約50	約600	約400	約460	約1,000	約700	約900
山・崖崩れ	死者数	—	—	—	約20	約10	約20	約200	約90	約200	
	重傷者	—	—	—	約10	約10	—	約100	約60	約100	
	軽傷者	—	—	—	約10	約10	—	約100	約60	約100	
火 災	死者数	—	—	—	—	—	—	約800	約500	約2,100	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約600	約600	約1,400	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約1,200	約1,600	約3,700	
ブロック塀の転倒 屋外落下物	死者数	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約100	約200	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約200	約400	
死傷者数合計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約50	—	—	約3,630	約1,110	約1,320	約14,000	約5,900	約9,900
		重傷者	—	約30	約10	約240	約180	約140	約20,000	約31,000	約21,000
		軽傷者	約70	約200	約80	約810	約610	約450	約51,000	約54,000	約47,000
	早期避難率低	死者数	約300	約100	約200	約4,030	約2,510	約3,220	約16,000	約9,000	約14,000
		重傷者	約40	約50	約40	約340	約300	約250	約20,000	約31,000	約21,000
		軽傷者	約140	約240	約100	約910	約810	約780	約51,000	約54,000	約47,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	—	—	—	約10	約10	約10	約32,000	約27,000	約29,000	
	津 波	約200	約500	約300	約860	約1,700	約1,080	約1,800	約3,600	約2,400	

(単位：人)

予知あり地震が発生した場合											
項 目	被害区分	下 田 市			賀茂地区			静岡県全体			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建 物 倒 壊 (うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物)	死者数	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約1,600 (約100)	約800 (約100)	約1,200 (約100)	
	重傷者	— (—)	約10 (—)	— (—)	約10 (—)	約30 (—)	— (—)	約5,300 (約600)	約8,700 (約400)	約5,500 (約400)	
	軽傷者	約20 (—)	約50 (—)	約20 (—)	約80 (10)	約100 (—)	約70 (—)	約14,000 (約2,100)	約15,000 (約1,700)	約12,000 (約1,700)	
津 波	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約1,000	約700	約800
		重傷者	—	—	—	約40	約30	約20	約60	約40	約50
		軽傷者	約10	—	約10	約70	約50	約70	約100	約80	約100
	早期避難率低	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約1,000	約700	約800
		重傷者	—	—	—	約40	約30	約20	約60	約40	約50
		軽傷者	約10	—	約10	約70	約50	約70	約100	約80	約100
山・崖崩れ	死者数	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約10	約10	
	軽傷者	—	—	—	—	—	約10	約20	約10	約10	
火 災	死者数	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約50	約50	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約100	約100	約100	
ブロック塀の転倒 屋外落下物	死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約10	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20	
死傷者数合計	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約2,700	約1,500	約2,100
		重傷者	—	約10	約10	約50	約60	約50	約5,400	約8,800	約5,600
		軽傷者	約30	約50	約10	約150	約150	約140	約14,000	約15,000	約12,000
	早期避難率低	死者数	約30	約10	約20	約500	約300	約400	約2,700	約1,500	約2,100
		重傷者	—	約10	約30	約50	約60	約50	約5,400	約8,800	約5,600
		軽傷者	約30	約50	約30	約150	約150	約140	約14,000	約15,000	約12,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	—	—	—	—	—	—	約9,100	約7,900	約8,300	
	津 波	約20	約60	約30	約90	約190	約120	約200	約400	約300	

「—」：被害わずか

注) ・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・倒 壊：建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井（1999）による建物破壊パターンチャートのD 5以上相当。全壊に含まれる。

・重傷者：1ヶ月以上の治療を要する負傷者

・軽傷者：1ヶ月未満の治療を要する負傷者

※ 夏・昼発災（予知なし）の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約2,200人（早期避難率高+呼びかけ）～約9,200人（早期避難率低）

※ 予知あり時における発災時の津波からの避難行動は、早期避難率低と同じとした。

### 3 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）の被害想定の結果

#### (1) 概説

- この試算は、東側を駿河湾における南海トラフのトラフ軸（富士川河口断層帯を含む）とし、南西側（日向灘側）を九州・パラオ海嶺の北側でフィリピン海プレートが厚くなる領域までを震源域に、マグニチュード9程度の地震が発生した場合を想定して行ったものである。
- 試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、中央防災会議（2011）等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化等の各種危険度の想定をしている。  
注）中央防災会議（2011）：「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告」
- これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地及び山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。
- また、地震予知がなく地震が発生した場合と警戒宣言が発せられた後地震が発生した場合について、それぞれ試算をしている。
- ※ 地震動については、「基本ケース」、「陸側ケース」及び「東側ケース」で検討されているが、本資料編では、下田市において最も被害が大きくなる「東側ケース」を記載するものとする。

#### (2) 建物等被害に係る想定結果

【地震動：東側ケース、津波：ケース①】

（単位：棟）

予知なく地震が発生した場合										
項目	被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深	夏・昼	冬・夕	冬・深	夏・昼	冬・夕	冬・深	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約90			約700			約191,000		
	半壊	約600	約600	約600	約2,300	約2,300	約2,300	約178,000	約177,000	約168,000
液状化	全壊	約40			約200			約1,800		
	半壊	約90	約90	約90	約300	約300	約300	約5,900	約5,800	約5,600
人工造成地	全壊	—			—			約17,000		
	半壊	—	—	—	—	—	—	約50,000	約50,000	約50,000
津波	全壊	約3,400			約9,700			約26,000		
	半壊	約600	約600	約600	約1,700	約1,700	約1,700	約30,000	約29,000	約27,000
山・崖崩れ	全壊	約90			約400			約2,700		
	半壊	約200	約200	約200	約800	約800	約800	約6,300	約6,300	約6,300
火災	全焼	—	—	—	—	—	約10	約19,000	約24,000	約66,000
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約3,620	約3,620	約3,620	約11,000	約11,000	約11,010	約257,000	約262,000	約304,000
	半壊	約1,490	約1,490	約1,490	約5,100	約5,100	約5,100	約270,000	約268,000	約257,000
建物被害率	全壊及び焼失	約25%	約25%	約25%	約24%	約24%	約25%	約18%	約18%	約21%
	半壊	約10%	約10%	約10%	約11%	約11%	約11%	約19%	約19%	約18%

(単位：棟)

予知あり地震が発生した場合				
項目	被害区分	下田市	賀茂地区	静岡県全体
地震動	全焼	約90	約700	約191,000
	半壊	約600	約2,300	約181,000
液状化	全壊	約40	約200	約1,800
	半壊	約90	約300	約6,000
人造成地	全壊	—	—	約17,000
	半壊	—	—	約50,000
津波	全壊	約3,400	約9,700	約26,000
	半壊	約600	約1,700	約31,000
山・崖崩れ	全壊	約90	約400	約2,700
	半壊	約200	約800	約6,300
火災	全壊	—	—	約2,200
建物棟数		14,387	45,007	1,418,505
建物被害想定	全壊及び焼失	約3,620	約11,000	約240,000
	半壊	約1,490	約5,100	約274,000
建物被害率	全壊及び焼失	約25%	約24%	約17%
	半壊	約10%	約11%	約19%

ブロック塀等転倒数	約25,000件
屋外落下物が発生する建物数	約58,000棟

「—」：被害わずか

- 注) ・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。  
 ・全壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊  
 ・半壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

(3) 人的被害に係る想定結果

【地震動：東側ケース、津波：ケース①】

(単位：人)

予知なく地震が発生した場合											
項 目	被害区分	下 田 市			賀茂地区			静岡県全体			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建 物 倒 壊 (うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物)	死者数	約10 (一)	— (一)	— (一)	約30 (一)	約10 (一)	約20 (一)	約6,000 (約700)	約3,000 (約500)	約4,700 (約500)	
	重傷者	約10 (一)	約100 (一)	約30 (一)	約90 (約10)	約300 (約10)	約120 (一)	約21,000 (約2,700)	約34,000 (約2,200)	約21,000 (約1,700)	
	軽傷者	約200 (10)	約300 (10)	約200 (10)	約600 (約40)	約800 (約30)	約530 (約30)	約53,000 (約10,000)	約55,000 (約8,300)	約45,000 (約8,100)	
津 波	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約2,000	約500	約500	約12,000	約6,700	約7,800	約65,000	約31,000	約36,000
		重傷者	約10	—	—	約50	約20	約20	約2,300	約900	約1,100
		軽傷者	約10	—	—	約100	約30	約30	約4,500	約1,800	約2,100
	早期避難率低	死者数	約5,100	約2,900	約3,100	約17,000	約11,000	約13,000	約95,000	約62,000	約72,000
		重傷者	約40	約30	約30	約100	約70	約90	約4,000	約2,500	約2,900
		軽傷者	約70	約60	約60	約200	約100	約160	約7,700	約4,800	約5,500
山・崖崩れ	死者数	約10	—	約10	約30	約10	約20	約200	約100	約200	
	重傷者	—	—	—	約20	約10	—	約200	約60	約100	
	軽傷者	—	—	—	約20	約10	—	約200	約60	約100	
火 災	死者数	—	—	—	—	—	—	約600	約400	約1,600	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約400	約500	約1,300	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約900	約1,300	約3,400	
ブロック塀の転倒 屋外落下物	死者数	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約100	約200	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約200	約400	
死傷者数合計	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約2,020	約500	約510	約12,060	約6,720	約7,840	約72,000	約34,000	約42,000
		重傷者	約20	約100	約40	約160	約330	約170	約23,000	約35,000	約24,000
		軽傷者	約210	約300	約200	約720	約840	約30	約58,000	約59,000	約51,000
	早期避難率低	死者数	約5,120	約2,900	約3,110	約17,060	約11,020	約13,040	約102,000	約65,000	約78,000
		重傷者	約50	約130	約70	約210	約380	約250	約25,000	約37,000	約26,000
		軽傷者	約270	約360	約200	約820	約910	約160	約62,000	約62,000	約55,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	約10	約10	約10	約80	約50	約60	約33,000	約29,000	約30,000	
	津 波	約500	約2,800	約1,300	約2,600	約7,700	約4,300	約23,000	約33,000	約26,000	

(単位：人)

予知あり地震が発生した場合											
項 目	被害区分	下 田 市			賀茂地区			静岡県全体			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建 物 倒 壊 (うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物)	死者数	— (—)	— (—)	— (—)	約10 (—)	— (—)	約10 (—)	約1,700 (約200)	約900 (約100)	約1,400 (約100)	
	重傷者	— (—)	約30 (—)	約10 (—)	約20 (—)	約80 (—)	約30 (—)	約5,900 (約600)	約9,700 (約500)	約6,100 (約400)	
	軽傷者	約40 (—)	約100 (—)	約50 (—)	約200 (約10)	約200 (約10)	約160 (—)	約15,000 (約2,200)	約16,000 (約1,800)	約13,000 (約1,800)	
津 波	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約600	約300	約400	約1,900	約1,300	約1,500	約11,000	約7,200	約8,300
		重傷者	—	—	—	約10	約10	—	約500	約300	約300
		軽傷者	約10	約10	約10	約30	約20	約10	約900	約600	約600
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約1,900	約1,300	約1,500	約11,000	約7,200	約8,300
		重傷者	—	—	—	約10	約10	—	約500	約300	約300
		軽傷者	約10	約10	約10	約30	約20	約10	約900	約600	約600
山・崖崩れ	死者数	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約10	約10	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約10	約10	
火 災	死者数	—	—	—	—	—	—	約40	約20	約30	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約50	約50	約50	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約100	約100	約100	
ブロック塀の転倒 屋外落下物	死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約10	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約20	
死傷者数合計	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約600	約300	約400	約1,910	約1,300	約1,510	約13,000	約8,100	約9,700
		重傷者	—	約30	約10	約30	約90	約30	約6,400	約10,000	約6,500
		軽傷者	約50	約110	約60	約230	約220	約180	約16,000	約16,000	約14,000
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約1,910	約1,300	約1,510	約13,000	約8,100	約9,700
		重傷者	—	約30	約10	約30	約90	約30	約6,400	約10,000	約6,500
		軽傷者	約50	約110	約60	約230	約220	約180	約16,000	約16,000	約14,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	—	—	—	約20	約10	約10	約9,500	約8,400	約8,800	
	津 波	約60	約300	約200	約300	約870	510	約2,700	約3,800	約3,000	

「—」：被害わずか

注) ・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・倒 壊：建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井（1999）による建物破壊パターンチャートのD 5以上相当。全壊に含まれる。

・重傷者：1ヶ月以上の治療を要する負傷者

・軽傷者：1ヶ月未満の治療を要する負傷者

※ 夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約13,000人（早期避難率高+呼びかけ）～約30,000人（早期避難率低）

#### 4 相模トラフ沿いで発生するレベル1の地震・津波（大正型関東地震）の被害想定の結果

##### (1) 概説

- この試算は、南関東地域直下の地震のうち、本県に最も大きな影響が想定される元禄型関東地震が発生した場合を想定して行ったものである。
- 試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、過去の地震被害例等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化危険度及び津波高の想定をしている。
- これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地、津波、山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。

##### (2) 建物等被害に係る想定結果

(単位：棟)

予知なく地震が発生した場合										
項目	被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	—			—			約10,000		
	半壊	約10	約10	約10	約100	約100	約100	約27,000	約27,000	約26,000
液状化	全壊	約40			約100			約800		
	半壊	約90	約90	約90	約400	約400	約400	約3,100	約3,100	約3,100
人工造成地	全壊	—			—			約40		
	半壊	—	—	—	—	—	—	約100	約100	約100
津波	全壊	約40			約60			約900		
	半壊	約300	約300	約300	約400	約400	約400	約2,300	約2,300	約2,300
山・崖崩れ	全壊	約10			約30			約500		
	半壊	約30	約30	約30	約60	約60	約60	約1,100	約1,100	約1,100
火災	全焼	—	—	—	—	—	—	約200	約300	約1,600
建物棟数		14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約90	約90	約90	約190	約190	約190	約13,000	約13,000	約14,000
	半壊	約430	約430	約430	約960	約960	約960	約33,000	約33,000	約33,000
建物被害率	全壊及び焼失	約1%	約1%	約1%	約2%	約2%	約2%	約1%	約1%	約1%
	半壊	約3%	約3%	約3%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%	約2%
ブロック塀等転倒数		約 2,500件								
屋外落下物が発生する建物数		約 1,900棟								

「—」：被害わずか

- 注) ・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。  
 ・全壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊  
 ・半壊：災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

## (3) 人的被害に係る想定結果

(単位:人)

項 目		予知あり地震が発生した場合									
		被害区分	下 田 市			賀 茂 地 区			静 岡 県 全 体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建 物 倒 壊 (うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物)	死者数	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約100 (約40)	約50 (約20)	約90 (約30)
	重傷者	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約1,100 (約200)	約1,400 (約100)	約1,000 (約100)
	軽傷者	— (—)	約40	約10 (—)	約30 (約10)	約100 (約10)	約30 (—)	約5,100 (約800)	約4,600 (約700)	約4,200 (約600)	
津 波	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約10	—	—	約40	約10	約20	約2,300	約600	約900
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約100	約50	約70
		軽傷者	—	—	—	約10	—	—	約200	約50	約100
	早期避難率低	死者数	約80	約40	約60	約100	約70	約100	約2,900	約1,700	約2,400
		重傷者	約10	—	約10	約10	約10	約10	約200	約100	約200
		軽傷者	約20	約10	約10	約30	約10	約20	約400	約300	約400
山・崖崩れ	死者数	—	—	—	—	—	—	約40	約20	約30	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20	
火 災	死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	約10	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約30	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約10	約10	約70	
ブロック塀の転倒 屋外落下物	死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約20	約30	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約20	約50	
死傷者数合計	早期避難率高 + 呼びかけ	死者数	約10	—	—	約40	約10	約20	約2,500	約700	約1,000
		重傷者	—	—	—	—	—	—	約1,200	約1,500	約1,200
		軽傷者	—	約40	約10	約40	約100	約40	約5,400	約4,700	約4,500
	早期避難率低	死者数	約80	約40	約60	約100	約70	約100	約3,000	約1,800	約2,500
		重傷者	約10	—	約10	約10	約10	約10	約1,300	約1,600	約1,300
		軽傷者	約20	約50	約20	約60	約110	約50	約5,600	約4,900	約4,700
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	—	—	—	—	—	—	約600	約400	約500	
	津 波	約60	約200	約100	約80	約270	約140	約900	約1,800	約1,200	

「—」: 被害わずか

注) ・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

・倒 壊: 建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井(1999)による建物破壊パターンチャートのD5以上相当。全壊に含まれる。

・重傷者: 1ヶ月以上の治療を要する負傷者

・軽傷者: 1ヶ月未満の治療を要する負傷者

※ 夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約1,600人(早期避難率高+呼びかけ)～約4,600人(早期避難率低)

5 相模トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（元禄型関東地震）の被害想定の結果

(1) 概説

- この試算は、南関東地域直下の地震のうち、本県に最も大きな影響が想定される元禄型関東地震が発生した場合を想定して行ったものである。
- 試算に当たっては、地質や地盤、海岸現況等の基本データを利用し、過去の地震被害例等を参考に数値計算を行い、地震動・液状化危険度及び津波高の想定をしている。
- これらの結果を基に、地震動・液状化、人工造成地、津波、山・崖崩れ及び延焼火災に起因する建物被害とともに、ブロック塀・石塀及び屋外落下物等の物的被害や人的被害の試算をしている。

(2) 建物等被害に係る想定結果

(単位:棟)

予知なく地震が発生した場合										
項目	被害区分	下田市			賀茂地区			静岡県全体		
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	—			約10			約19,000		
	半壊	約20	約20	約20	約200	約200	約200	約40,000	約39,000	約39,000
液状化	全壊	約40			約200			約1,000		
	半壊	約100	約100	約100	約500	約500	約500	約3,700	約3,700	約3,700
人工造成地	全壊	—			—			約80		
	半壊	—	—	—	—	—	—	約300	約300	約300
津波	全壊	約300			約600			約2,400		
	半壊	約1,200	約1,200	約1,200	約1,900	約1,900	約1,900	約6,300	約6,300	約6,200
山・崖崩れ	全壊	—			約30			約600		
	半壊	約10	約10	約10	約80	約80	約80	約1,400	約1,400	約1,400
火災	全焼	—	—	—	—	—	—	約400	約600	約3,700
建物	棟数	14,387			45,007			1,418,505		
建物被害想定	全壊及び焼失	約340	約340	約340	約840	約840	約840	約23,000	約24,000	約27,000
	半壊	約1,330	約1,330	約1,330	約2,680	約2,680	約2,680	約51,000	約51,000	約50,000
建物被害率	全壊及び焼失	約2%	約2%	約2%						
	半壊	約9%	約9%	約9%	約6%	約6%	約6%	約4%	約4%	約4%

ブロック塀等転倒数	約 3,600件
屋外落下物が発生する建物数	約 4,000棟

「—」:被害わずか

- 注) ・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。  
 ・全壊:災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊  
 ・半壊:災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊

## (3) 人的被害に係る想定結果

(単位:人)

項 目		被害区分	予知なく地震が発生した場合								
			下 田 市			賀茂地区			静岡県全体		
			冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建 物 倒 壊 (うち屋外収容物移動・転倒、屋内落物)	死者数	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約200 (約70)	約100 (約40)	約200 (約50)
	重傷者	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	約10 (—)	— (—)	約1,900 (約300)	約2,300 (約100)	約1,800 (約200)	
	軽傷者	— (—)	約50 (—)	約10 (—)	約40 (約10)	約100 (約10)	約30 (—)	約7,900 (約1,300)	約6,600 (約1,000)	約4,900 (約1,000)	
津 波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約100	約10	約10	約200	約30	約40	約4,700	約1,400	約1,900
		重傷者	約10	—	—	約10	—	—	約100	約60	約70
		軽傷者	約10	—	—	約20	—	—	約300	約100	約100
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約900	約500	約600	約5,700	約3,500	約4,700
		重傷者	約60	約50	約10	約100	約60	約10	約300	約200	約300
		軽傷者	約100	約90	約10	約200	約100	約20	約500	約400	約500
山・崖崩れ	死者数	—	—	—	—	—	—	約50	約20	約40	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約30	約10	約20	
火 災	死者数	—	—	—	—	—	—	約10	—	約20	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約10	約60	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	約20	約30	約200	
ブロック塀の転倒 屋外落下物	死者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重傷者	—	—	—	—	—	—	—	約30	約40	
	軽傷者	—	—	—	—	—	—	—	約40	約90	
死傷者数合計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約100	約10	約10	約200	約30	約40	約5,000	約1,500	約2,100
		重傷者	約10	—	—	約10	約10	約10	約2,100	約2,400	約2,000
		軽傷者	約10	約50	約10	約60	約100	約50	約8,300	約6,800	約5,300
	早期避難率低	死者数	約600	約300	約400	約900	約500	約600	約6,000	約3,600	約4,900
		重傷者	約60	約50	約10	約100	約70	—	約2,200	約2,600	約2,200
		軽傷者	約100	約140	約20	約240	約200	約40	約8,500	約7,200	約5,700
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	—	—	—	—	—	—	約1,100	約800	約1,000	
	津 波	約300	約1,200	約600	約500	約1,700	約930	約2,300	約5,100	約3,200	

「—」:被害わずか

注)・端数処理のため合計値が各数値の和に一致しない場合がある。

- ・倒壊:建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田・高井(1999)による建物破壊パターンチャートのD5以上相当。全壊に含まれる。
- ・重傷者:1ヶ月以上の治療を要する負傷者
- ・軽傷者:1ヶ月未満の治療を要する負傷者

※ 夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約2,400人(早期避難率高+呼びかけ)~約6,500人(早期避難率低)

6 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）の被害想定の結果

(1) ライフラインの被害

① 上水道

区 分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約3,716	96	93	58	2	約3,584	約3,462	約2,144	約63
賀茂地区	約72	93	86	55	4	約67	約62	約40	約2.6
下田市	約24	98	97	56	0	約24	約24	約14	—

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 4週間程度
------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

② 下水道

区 分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,236	12	53	7	0	約257	約1,176	約153	約9.6
賀茂地区	約13	3	3	2	0	約0.4	約0.4	約0.3	—
下田市	約11	3	3	2	0	約0.3	約0.3	約0.3	—

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 2週間程度
------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③ 電 力

【停電率、停電軒数】

区 分	需要家数 (千軒)	停電率 (%)				停電軒数 (千軒)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,247	89	79	6	3	約1,996	約1,786	約129	約77
賀茂地区	約69	89	78	2	2	約61	約54	約1.7	約1.7
下田市	約23	89	78	3	3	約20	約18	約0.7	約0.7

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 1週間程度
------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④ 通 信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

区 分	回線数 (千回線)	不通回線率 (%)				不通回線数 (千回線)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約833	90	81	6	1	約748	約677	約54	約4.7
賀茂地区	約33	89	79	4	4	約30	約26	約1.4	約1.4
下田市	約10	89	79	4	4	約8.9	約7.9	約0.4	約0.4

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 1週間程度
------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

区 分	停波基地局率（％）				不通ランク			
	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	7	81	11	7	—	A	—	—
賀茂地区	2	79	4	4	—	A	—	—
下田市	1	79	4	4	—	A	—	—

※不通ランク 「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。  
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。  
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。  
「—」：上記ランクA、B、Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レベル 1	95%復旧 1週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤ ガス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

区 分	需要家数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（％）	復旧対象戸数（戸）
静岡県全体	約494,000	約380,000	77	約189,000
賀茂地区	約2,200	約2,200	100	約1,500
下田市	約2,200	約2,200	100	約1,500

【復旧予測】

レベル 1	95%復旧 4週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

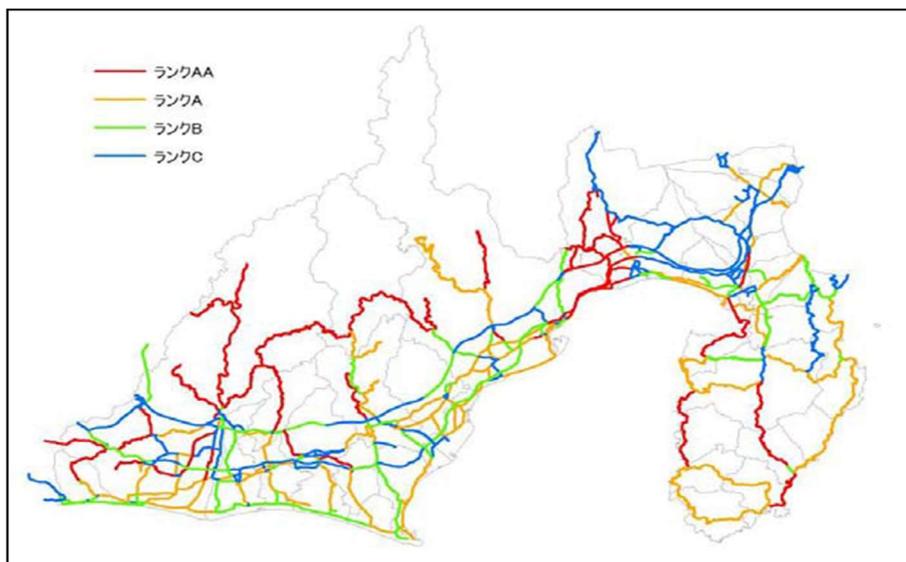
【LPガス（機能支障率、要点検需要家数）】

区 分	需要家数（戸）	機能支障率（％）	要点検需要家数（戸）
静岡県全体	約855,000	32	約271,000
賀茂地区	約33,000	14	約4,600
下田市	約11,000	11	約1,200

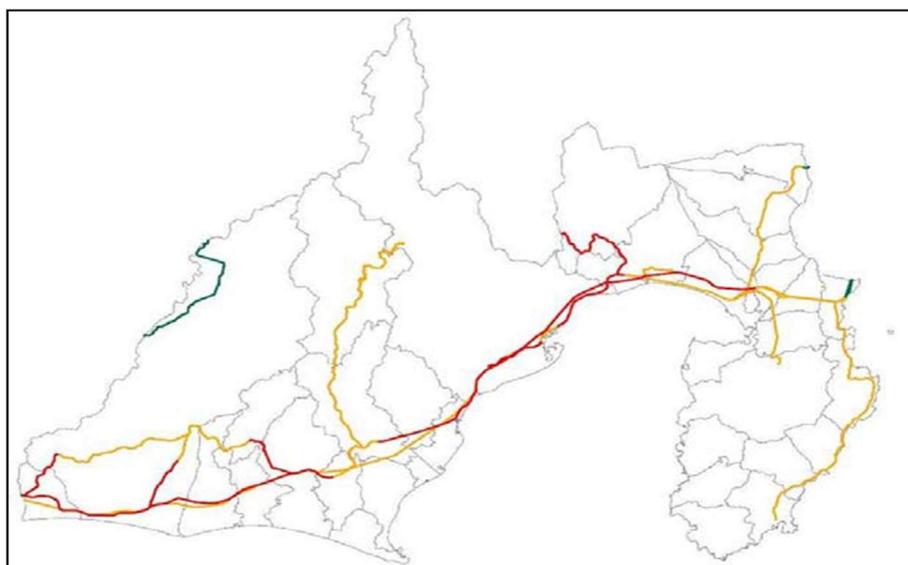
(2) 交通施設等の被害

① 道路施設

(緊急輸送路)



② 鉄道施設



影響度ランク (①・②共通)

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	1ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失 等
A	中	1週間～1ヶ月	線路上への異物侵入 (建物、道路上工作物、津波堆積物)／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～1週間	液状化／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

③ 港湾施設

【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力 (t /日)
レベル1	17	29	77,355 (県全体) 5,959 (賀茂地区) 1,240 (下田市)

(3) 生活支障等

① 避難者

【避難者数 (発災～1ヶ月後)】

(単位:人)

区分	1日後			1週間後			1ヶ月後		
	避難者数	避難者数		避難者数	避難者数		避難者数	避難者数	
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	833,766	502,134	331,632	1,221,752	613,963	607,789	836,665	250,999	585,665
賀茂地区	11,895	7,756	4,139	12,942	7,350	5,593	5,069	1,521	3,548
下田市	3,263	2,131	1,132	4,119	2,231	1,888	739	222	518

② 物資不足

【給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）】

（単位：人）

区 分	住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合 1～3日目の計	
	1～3日目の計	4～7日目の計		
静岡県全体	給水（トン）	3,052	164,171	3,581
	食料（食）	2,394,077	6,092,927	3,237,801
	毛布（枚）	565,248		808,654
賀茂地区	給水（トン）	12	2,011	20
	食料（食）	1,298	86,220	65,123
	毛布（枚）	0		10,439
下田市	給水（トン）	0	770	0
	食料（食）	623	29,822	33,323
	毛布（枚）	0		5,579

③ 医療機能支障

区 分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静岡県全体	約30,000	約21,000
賀茂地区	約600	約70
下田市	約70	—

④ 住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～2年間）】

（単位：世帯）

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	37,924 (59,212)	60,042 (60,044)	6,420 (6,420)
賀茂地区	127 (309)	214 (364)	33 (62)
下田市	24 (60)	33 (93)	14 (37)

※ アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約2年～数年以降）】

（単位：世帯）

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
うち年収400万円未満				
静岡県全体	85,386	61,725	38,105	23,662
賀茂地区	556	224	215	332
下田市	145	44	42	102

※ アンケート結果に基づく推計

⑤ し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】

(単位：基 (仮設トイレ基数換算))

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	3,123	2,710
賀茂地区	5	5
下田市	0	0

【災害廃棄物、津波堆積物】

(単位：千トン)

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	30,786～31,675	29,995	791～1,680
賀茂地区	255～394	131	124～263
下田市	61～104	23	38～80

(4) 被害経済

(単位：兆円)

区 分	直接的被害	間接的被害
予知なし	20.30	3.90
予知あり	17.39	2.93

(5) その他の被害

① エレベーター閉じ込め

区 分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約500	約1,900	約800	約800	約2,600
賀茂地区	約10	約30	約10	約30	約100
下田市	—	約10	—	約10	約30

② 災害時要援護者の被災・生活支障

【1週間後の避難所避難者に占める要援護者数】

区 分	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳 幼 児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約16,000	約27,000	約20,000	約4,200	約2,500	約19,000	約3,900	約11,000	約11,000
賀茂地区	約500	約200	約400	約60	約30	約400	約40	約90	約50
下田市	約100	約70	約80	約10	約10	約90	約10	約30	約20

※ 属性間で重複あり

③ 文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

区 分	総 数	要因別内訳		
		地 震 動	火 災	津 波
静岡県全体	262	259	44	11
賀茂地区	3	1	0	2
下田市	2	0	0	2

※ 国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。

※ 冬夕発災、風速5m/sの場合

※ 要因間の重複あり

④ 孤立集落の発生

【孤立可能性のある集落数】

区 分	孤立可能性のある集落数
静岡県全体	84
賀茂地区	1
下田市	0

7 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）  
の被害想定の結果

(1) ライフラインの被害

① 上水道

(東側ケース)

区 分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約3,716	97	93	59	8	約3,609	約3,474	約2,202	約296
賀茂地区	約72	96	90	60	11	約70	約65	約43	約8.2
下田市	約24	99	98	61	0	約24	約24	約15	—

【復旧予測】

東側ケース	95%復旧 6週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

② 下水道

(東側ケース)

区 分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,236	52	67	44	7	約1,152	約1,506	約979	約154
賀茂地区	約13	100	100	87	14	約13	約13	約12	約1.9
下田市	約11	100	100	87	14	約11	約11	約9.7	約1.6

【復旧予測】

東側ケース	95%復旧 5週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③ 電 力

【停電率、停電軒数】

(東側ケース)

区 分	需要家数 (千軒)	停電率 (%)				停電軒数 (千軒)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,247	89	80	8	6	約2,001	約1,795	約182	約142
賀茂地区	約69	91	83	23	23	約63	約57	約16	約16
下田市	約23	92	84	28	28	約21	約19	約6.4	約6.4

【復旧予測】

東側ケース	95%復旧 1週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④ 通 信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

（東側ケース）

区 分	回 線 数 (千回線)	不通回線率 (%)				不通回線数 (千回線)			
		直 後	1 日後	7 日後	1 ヶ月後	直 後	1 日後	7 日後	1 ヶ月後
静岡県全体	約833	90	82	13	6	約752	約683	約112	約51
賀茂地区	約33	93	86	39	39	約31	約29	約13	約13
下田市	約10	94	88	46	45	約9.4	約8.8	約4.6	約4.6

【復旧予測】

レベル 1	95%復旧 2週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

（東側ケース）

区 分	停波基地局率 (%)				不通ランク			
	直 後	1 日後	7 日後	1 ヶ月後	直 後	1 日後	7 日後	1 ヶ月後
静岡県全体	11	82	16	14	—	A	—	—
賀茂地区	23	86	39	39	—	A	—	—
下田市	24	88	46	46	—	A	—	—

※不通ランク 「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。  
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。  
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。  
「—」：上記ランク A, B, Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レベル 1	95%復旧 2週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤ ガス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

（東側ケース）

区 分	需要家数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (戸)
静岡県全体	約494,000	約394,000	80	約202,000
賀茂地区	約2,200	約2,200	100	約1,400
下田市	約2,200	約2,200	100	約1,400

【復旧予測】

レベル 1	95%復旧 5週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【LPガス（機能支障率、要点検）

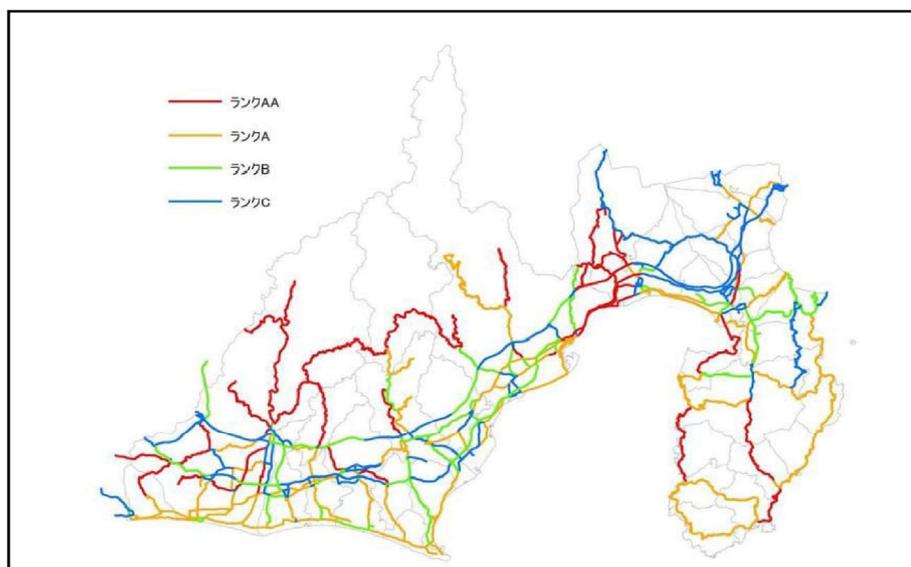
（東側ケース）

区 分	需要家数 (戸)	機能支障率 (%)	要点検需要家数 (戸)
静岡県全体	約855,000	38	約328,000
賀茂地区	約33,000	35	約12,000
下田市	約11,000	35	約3,800

(2) 交通施設等の被害

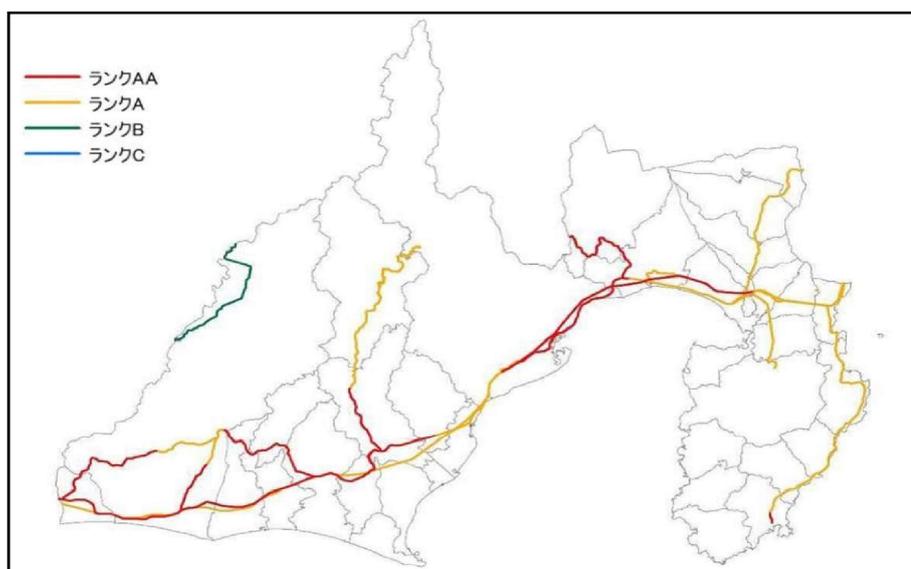
① 道路施設（緊急輸送路）

(東側ケース)



② 鉄道施設

(東側ケース)



影響度ランク (①・②共通)

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	1ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失 等
A	中	1週間～1ヶ月	線路上への異物侵入 (建物、道路上工作物、津波堆積物)／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～1週間	液状化／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

③ 港湾施設

【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区 分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力 (t /日)
東側ケース	17	29	70,269 (県全体) 5,959 (賀茂地区) 1,240 (下田市)

(3) 生活支障等

① 避難者

【避難者数(発災～1ヶ月後)】

(東側ケース)

(単位:人)

区 分	1日後			1週間後			1ヶ月後		
	避難者数	避難者数		避難者数	避難者数		避難者数	避難者数	
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	1,077,534	663,816	413,719	1,312,814	703,083	609,731	1,059,546	317,864	741,682
賀茂地区	34,446	22,171	12,276	26,503	17,079	9,424	23,117	6,935	16,182
下田市	12,213	7,840	4,373	9,039	5,630	3,409	6,541	1,962	4,579

② 物資不足

【給水、食料、毛布の不足量(市町の備蓄のみで対応した場合)】

(東側ケース)

区 分		住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合
		1～3日目の計	4～7日目の計	
静岡県全体	給水(トン)	3,233	167,411	3,805
	食料(食)	3,227	7,410,821	4,132,029
	毛布(枚)	640,406		917,121
賀茂地区	給水(トン)	26	2,041	34
	食料(食)	101,298	263,309	186,265
	毛布(枚)	12,826		28,931
下田市	給水(トン)	0	807	0
	食料(食)	46,035	91,757	78,735
	毛布(枚)	5,532		12,799

③ 医療機能支障

(東側ケース)

区 分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静岡県全体	約41,000	約29,000
賀茂地区	約1,500	約300
下田市	約400	約200

④ 住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～2年間）】

（東側ケース）

（単位：世帯）

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	46,520 (71,065)	60,044 (60,044)	6,420 (6,420)
賀茂地区	1,178 (1,559)	1,471 (1,388)	158 (139)
下田市	451 (511)	466 (533)	56 (49)

※ アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約2年～数年以降）】

（東側ケース）

（単位：世帯）

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
			うち年収400万円未満	
静岡県全体	94,996	68,226	42,120	26,770
賀茂地区	2,070	1,735	1,667	334
下田市	723	609	582	114

※ アンケート結果に基づく推計

⑤ し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】

（東側ケース）

（単位：基（仮設トイレ基数換算））

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	4,369	4,217
賀茂地区	119	119
下田市	53	53

【一般廃棄物（生活ごみ）】

（単位：トン／月）

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	家庭ごみ	約94,000	約94,000
	粗大ごみ	約20,000	約9,500
賀茂地区	家庭ごみ	約2,700	約2,700
	粗大ごみ	約300	約200
下田市	家庭ごみ	約900	約900
	粗大ごみ	約80	約60

【災害廃棄物、津波堆積物】

（東側ケース）

（単位：千トン）

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	38,872～43,756	34,525	4,347～9,231
賀茂地区	1,447～1,872	1,069	378～803
下田市	509～658	376	133～282

(4) 被害経済

(単位：兆円)

区 分		直接的被害	間接的被害
予知なし	東側ケース	23.76	5.46
予知あり		20.90	4.30

(5) その他の被害

① エレベーター閉じ込め

(東側ケース)

区 分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約600	約1,900	約800	約800	約2,600
賀茂地区	約10	約40	約10	約30	約100
下田市	—	約10	—	約20	約30

② 災害時要援護者の被災・生活支障

(東側ケース)

区 分	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約19,000	約30,000	約23,000	約4,900	約2,900	約22,000	約4,500	約12,000	約13,000
賀茂地区	約1,100	約500	約800	約100	約60	約800	約90	約200	約100
下田市	約400	約200	約200	約40	約20	約200	約30	約70	約40

※ 属性間で重複あり

③ 文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

(東側ケース)

区 分	総 数	要因別内訳		
		地震動	火 災	津 波
静岡県全体	293	288	44	30
賀茂地区	5	3	0	4
下田市	2	0	0	2

※ 国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。

※ 冬夕発災、風速5m/sの場合

※ 要因間の重複あり

④ 孤立集落の発生

【孤立可能性のある集落数】

区 分	孤立可能性のある集落数	
東側ケース	静岡県全体	96
	賀茂地区	85
	下田市	91

8 相模トラフ沿いで発生するレベル1の地震・津波（大正型関東地震）の被害想定の結果

(1) ライフラインの被害

① 上水道

【断水率、断水人口】

区 分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約3,716	21	9	6	0	約793	約337	約207	—
賀茂地区	約72	34	1	1	0	約24	約0.8	約0.5	—
下田市	約24	1	1	1	0	約0.1	約0.2	約0.1	—

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 1週間程度
------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

② 下水道

【機能支障率、機能支障人口】

区 分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,236	2	2	1	0	約53	約43	約26	約3.3
賀茂地区	約13	1	1	1	0	約0.1	約0.1	約0.07	—
下田市	約11	1	1	1	0	約0.1	約0.1	約0.07	—

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 数日程度
------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③ 電力

【停電率、停電軒数】

区 分	需要家数 (千軒)	停電率 (%)				停電軒数 (千軒)			
		直 後	1日後	4日後	1週間後	直 後	1日後	4日後	1週間後
静岡県全体	約2,247	33	5	0	0	約735	約117	約4.9	約4.9
賀茂地区	約69	89	14	1	1	約61	約9.7	約0.4	約0.4
下田市	約23	89	15	2	2	約20	約3.4	約0.3	約0.3

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 数日程度
------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④ 通信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

区 分	回線数 (千回線)	不通回線率 (%)				不通回線数 (千回線)			
		直 後	1日後	1週間	1ヶ月後	直 後	1日後	1週間	1ヶ月後
静岡県全体	約833	34	6	0	0	約279	約48	約3.5	約3.1
賀茂地区	約33	89	14	1	1	約29	約4.7	約0.2	約0.2
下田市	約10	89	15	2	2	約8.9	約1.5	約0.2	約0.2

【復旧予測】

レベル1	95%復旧 数日程度
------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

区 分	停波基地局率（％）				不通ランク			
	直 後	1 日後	4 日後	1 週間後	直 後	1 日後	4 日後	1 週間後
静岡県全体	0	6	0	0	—	—	—	—
賀茂地区	0	14	1	1	—	—	—	—
下田市	0	15	2	2	—	—	—	—

※不通ランク 「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。  
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。  
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。  
「—」：上記ランクA, B, Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レベル 1	95%復旧 数日程度
-------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤ ガ ス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

区 分	需要家数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（％）	復旧対象戸数（戸）
静岡県全体	約494,000	約19,000	4	約12,000
賀茂地区	約2,200	—	0	—
下田市	約2,200	—	0	—

【復旧予測】

レベル 1	95%復旧 数日程度
-------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

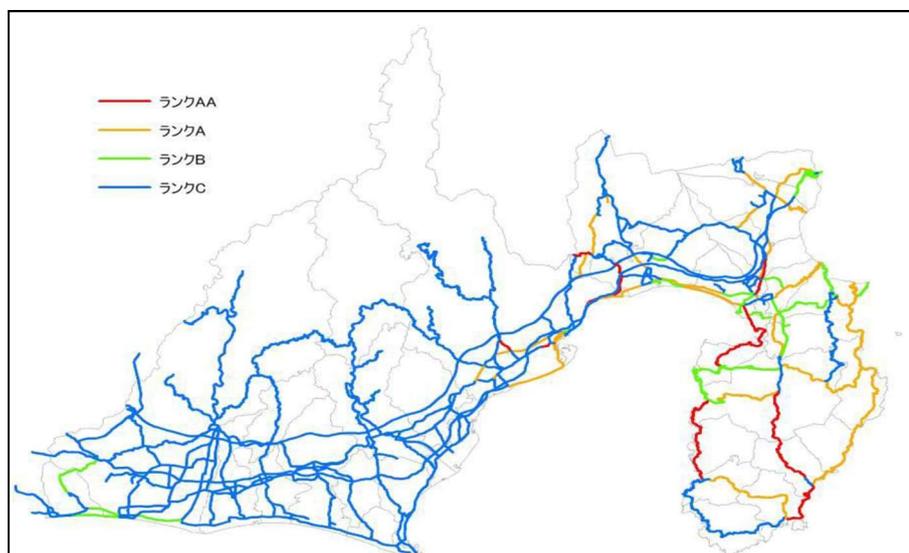
【LPガス（機能支障率、要点検需要家数）】

区 分	需要家数（戸）	機能支障率（％）	要点検需要家数（戸）
静岡県全体	約855,000	4	約32,000
賀茂地区	約33,000	3	約1,000
下田市	約11,000	4	約400

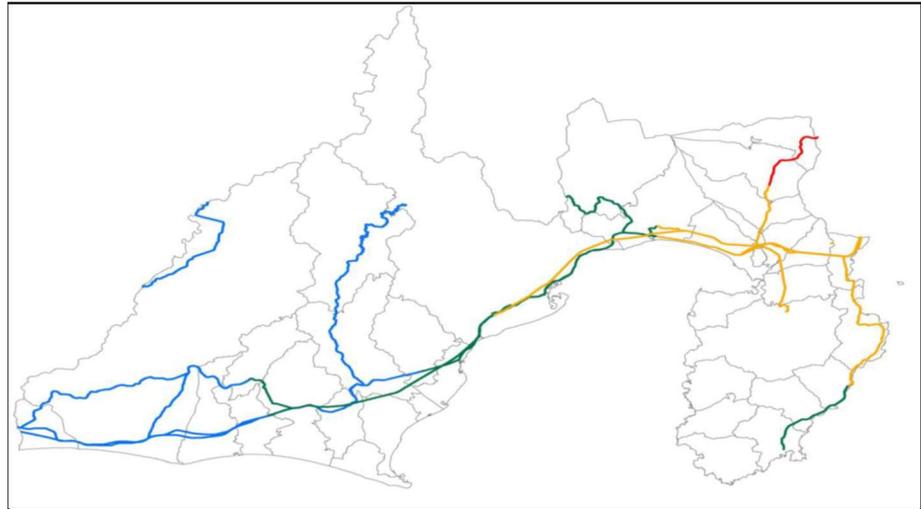
(2) 交通施設等の被害

① 道路施設

(緊急輸送路)



② 鉄道施設



影響度ランク (①・②共通)

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	1ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失 等
A	中	1週間～1ヶ月	線路上への異物侵入 (建物、道路上工作物、津波堆積物)／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～1週間	液状化／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

③ 港湾施設

【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力 (t /日)
レベル 1	18	30	80,553 (県全体) 5,959 (賀茂地区) 1,240 (下田市)

(3) 生活支障等の被害

① 避難者

【避難者数 (発災～1ヶ月後)】

(単位：人)

区分	1日後			1週間後			1ヶ月後		
	避難者数			避難者数			避難者数		
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	56,964	34,848	22,116	96,146	48,387	47,760	47,457	14,237	33,220
賀茂地区	2,079	1,349	730	688	350	338	568	170	398
下田市	1,409	924	485	272	141	131	241	72	168

② 物資不足

【給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）】

区 分		住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合	
		1～3日目の計	4～7日目の計	1～3日目の計	
静岡県全体	給水（トン）	262	12,611	391	
	食料（食）	63,327	341,168	540,359	
	毛布（枚）	24,663		99,261	
賀茂地区	給水（トン）	0	0	0	
	食料（食）	0	495	47,360	
	毛布（枚）	0		8,492	
下田市	給水（トン）	0	0	0	
	食料（食）	0	264	26,597	
	毛布（枚）	0		4,971	

③ 医療機能支障

区 分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静岡県全体	—	—
賀茂地区	—	—
下田市	—	—

④ 住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～2年間）】

（単位：世帯）

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	1,801 (2,938)	2,483 (4,413)	1,058 (1,812)
賀茂地区	18 (43)	24 (68)	10 (27)
下田市	8 (20)	10 (31)	4 (12)

※ アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約2年～数年以降）】

（単位：世帯）

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
			うち年収400万円未満	
静岡県全体	6,550	3,217	2,130	
賀茂地区	105	32	31	
下田市	49	14	13	

※ アンケート結果に基づく推計

⑤ し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】

(単位：基 (仮設トイレ基数換算))

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	17	0
賀茂地区	0	0
下田市	0	0

【災害廃棄物、津波堆積物】

(単位：千トン)

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	1,672～1,900	1,469	203～431
賀茂地区	56～97	19	37～78
下田市	25～45	7	18～38

(4) 経済被害

(単位：兆円)

区 分	直接的被害	間接的被害
大正型関東地震	1.65	0.145

(5) その他の被害

① エレベーター閉じ込め

区 分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約200	約600	約300	約300	約1,100
賀茂地区	約10	約30	約10	約30	約100
下田市	—	約10	—	約10	約30

② 災害時要援護者の被災・生活支障

【1週間後の避難所避難者に占める要援護者数】

区 分	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約1,800	約2,100	約1,600	約300	約100	約1,400	約300	約800	約600
賀茂地区	約20	約10	約20	—	—	約20	—	—	—
下田市	約10	—	約10	—	—	約10	—	—	—

③ 文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

区 分	総 数	要因別内訳		
		地震動	火 災	津 波
静岡県全体	18	17	0	1
賀茂地区	0	0	0	0
下田市	0	0	0	0

※ 国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。

※ 冬夕発災、風速5m/sの場合

※ 要因間の重複あり

④ 孤立集落の発生

区 分	孤立可能性のある集落数
静 岡 県 全 体	26
賀 茂 地 区	0
下 田 市	0

9 相模トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（元禄型関東地震）の被害想定の結果

(1) ライフラインの被害

① 上水道

【断水率、断水人口】

区 分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約3,716	25	13	8	0	約923	約477	約295	—
賀茂地区	約72	35	2	1	0	約25	約1.2	約0.7	—
下田市	約24	1	1	1	0	約0.2	約0.3	約0.2	—

【復旧予測】

レベル 2	95%復旧 2週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

② 下水道

【機能支障率、機能支障人口】

区 分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口 (千人)			
		直 後	1日後	7日後	1ヶ月後	直 後	1日後	7日後	1ヶ月後
静岡県全体	約2,236	12	12	10	1	約271	約262	約215	約32
賀茂地区	約13	83	83	72	11	約11	約11	約9.6	約1.5
下田市	約11	100	100	87	13	約11	約11	約9.6	約1.5

【復旧予測】

レベル 2	95%復旧 3週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

③ 電力

【停電率、停電軒数】

区 分	需要家数 (千軒)	停電率 (%)				停電軒数 (千軒)			
		直 後	1日後	4日後	1週間後	直 後	1日後	4日後	1週間後
静岡県全体	約2,247	33	5	0	0	約736	約122	約9.3	約9.3
賀茂地区	約69	89	16	2	2	約61	約11	約1.6	約1.6
下田市	約23	89	18	5	5	約20	約4.1	約1.2	約1.2

【復旧予測】

レベル 2	95%復旧 数日程度
-------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

④ 通信

【固定電話（不通回線率、不通回線数）】

区 分	回線数 (千回線)	不通回線率 (%)				不通回線数 (千回線)			
		直 後	1日後	1週間	1ヶ月後	直 後	1日後	1週間	1ヶ月後
静岡県全体	約833	34	6	1	1	約280	約53	約7.5	約6.6
賀茂地区	約33	89	17	4	4	約29	約5.5	約1.2	約1.2
下田市	約10	90	20	7	7	約9	約2	約0.7	約0.7

【復旧予測】

レベル 2	95%復旧 数日程度
-------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

【携帯電話（停波基地局率、不通ランク）】

区 分	停波基地局率（％）				不通ランク			
	直 後	1 日後	4 日後	1 週間後	直 後	1 日後	4 日後	1 週間後
静岡県全体	1	6	1	1	—	—	—	—
賀茂地区	1	17	4	4	—	—	—	—
下田市	2	20	7	7	—	—	—	—

※不通ランク 「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が50%を超える。  
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が40%を超える。  
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線の少なくとも一方が30%を超える。  
「—」：上記ランクA, B, Cのいずれも該当しない。

【復旧予測】

レベル 2	95%復旧 数日程度
-------	------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

⑤ ガ ス

【都市ガス（供給停止率、供給停止戸数）】

区 分	需要家数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（％）	復旧対象戸数（戸）
静岡県全体	約494,000	約61,000	12	約28,000
賀茂地区	約2,200	約2,200	100	約2,000
下田市	約2,200	約2,200	100	約2,000

【復旧予測】

レベル 2	95%復旧 1週間程度
-------	-------------

※ 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

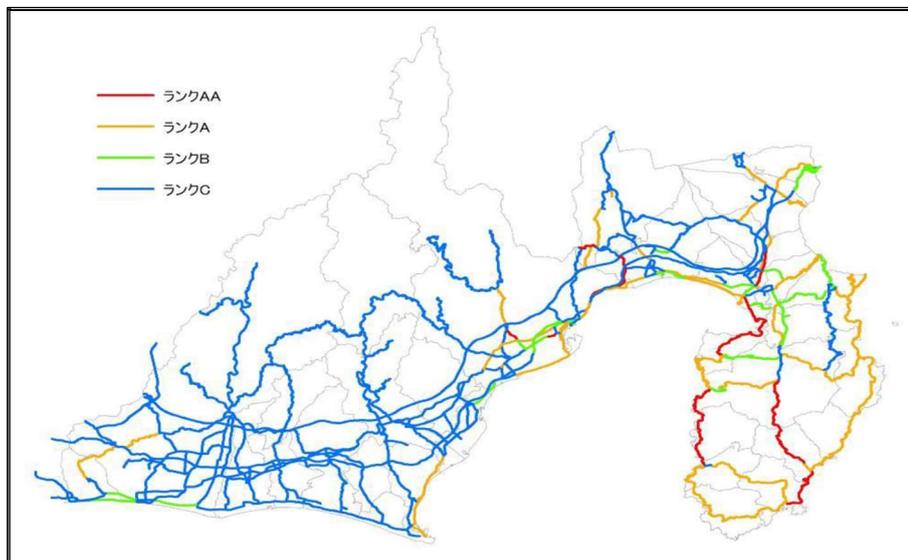
【LPガス（機能支障率、要点検需要家数）】

区 分	需要家数（戸）	機能支障率（％）	要点検需要家数（戸）
静岡県全体	約855,000	6	約52,000
賀茂地区	約33,000	8	約2,500
下田市	約11,000	11	約1,200

(2) 交通施設等の被害

① 道路施設

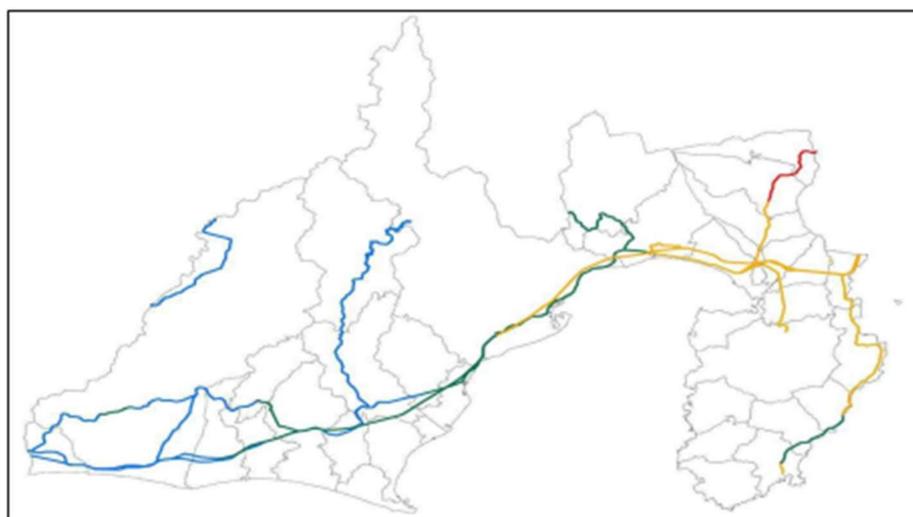
(緊急輸送路)



### 影響度ランク

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	1週間以上	橋梁の落橋、倒壊／地形の大変形 等
A	中	3日～1週間	道路閉塞（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害 等
B	小	当日～3日	液状化／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

### ② 鉄道施設



### 影響度ランク（①・②共通）

影響度ランク	被害規模	運行再開までの日数目安	被害のイメージ
AA	大	1ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失 等
A	中	1週間～1ヶ月	線路上への異物侵入（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～1週間	液状化／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

### ③ 港湾施設

#### 【地震後に使用可能な防災拠点港湾の取扱能力】

区分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力（t／日）
レベル2	18	30	80,553（県全体） 5,959（賀茂地区） 1,240（下田市）

※1：港湾・漁港の1日あたりの取扱能力の推定結果は「大正型関東地震」と同様。相模トラフ沿いの地震による地盤の注記は軽微であり水深は変化しないと想定。

(3) 生活支障等の被害

① 避難者

【避難者数（発災～1ヶ月後）】

（単位：人）

区 分	1日後			1週間後			1ヶ月後		
	避難者数			避難者数			避難者数		
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
静岡県全体	111,648	69,015	42,633	150,590	76,234	74,356	82,914	24,874	58,039
賀茂地区	7,948	5,192	2,756	1,973	1,069	904	1,797	539	1,258
下田市	4,367	2,864	1,503	871	486	384	831	249	581

② 物資不足

【給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）】

区 分		住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合 1～3日目の計
		1～3日目の計	4～7日目の計	
静岡県全体	給水（トン）	363	19,324	492
	食料（食）	182,754	632,651	686,164
	毛布（枚）	36,292		126,595
賀茂地区	給水（トン）	0	0	0
	食料（食）	3,230	25,822	61,689
	毛布（枚）	0		9,354
下田市	給水（トン）	0	0	0
	食料（食）	2,683	20,181	35,383
	毛布（枚）	0		5,694

③ 医療機能支障

区 分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
静岡県全体	—	—
賀茂地区	約60	—
下田市	約60	—

④ 住機能（応急仮設住宅等）

【中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～2年間）】

（単位：世帯）

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅一時使用
静岡県全体	3,328 (5,033)	4,588 (7,484)	1,956 (3,086)
賀茂地区	64 (128)	87 (197)	37 (79)
下田市	30 (64)	41 (99)	17 (40)

※ アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

【長期的住機能障害（発災後約2年～数年以降）】

（単位：世帯）

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
			うち年収400万円未満	
静岡県全体	10,940	5,946	4,046	
賀茂地区	298	115	110	
下田市	152	54	51	

※ アンケート結果に基づく推計

⑤ し尿・ごみ・瓦礫

【仮設トイレ不足量】

（単位：基（仮設トイレ基数換算））

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
静岡県全体	76	52
賀茂地区	0	0
下田市	0	0

【災害廃棄物、津波堆積物】

（単位：千トン）

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
静岡県全体	3,316～3,968	2,736	580～1,232
賀茂地区	175～292	70	104～221
下田市	76～129	28	47～100

(4) 経済被害

（単位：兆円）

区 分	直接的被害	間接的被害
元禄型関東地震	2.70	0.257

(5) その他の被害

① エレベーター閉じ込め

区 分	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベーター台数
静岡県全体	約200	約600	約300	約300	約1,100
賀茂地区	約10	約30	約10	約30	約100
下田市	—	約10	—	約10	約30

② 災害時要援護者の被災・生活支障

【1週間後の避難所避難者に占める要援護者数】

区 分	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
静岡県全体	約2,900	約3,200	約2,500	約500	約200	約2,200	約400	約1,300	約900
賀茂地区	約70	約30	約50	約10	—	約50	約10	約10	約10
下田市	約30	約20	約20	—	—	約20	—	約10	—

③ 文化財被害

【被災可能性のある重要文化財及び登録博物館】

区 分	総 数	要因別内訳		
		地震動	火 災	津 波
静岡県全体	28	23	0	5
賀茂地区	2	0	0	2
下田市	2	0	0	2

※ 国・県・市町指定の重要文化財（建造物）及び登録博物館を対象とする。

※ 冬夕発災、風速5m/sの場合

※ 要因間の重複あり

④ 孤立集落の発生

区 分	孤立可能性のある集落数
静岡県全体	35
賀茂地区	2
下田市	0

## 気象庁震度階級関連解説表

階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

### 使用にあたっての留意事項

- (1) 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- (2) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- (3) 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- (4) この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- (5) この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- (6) この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 わずか 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。 大半 半分以上。ほとんどよりは少ない。 ほとんど 全部ではないが、全部に近い。
が(も)ある、 が(も)いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

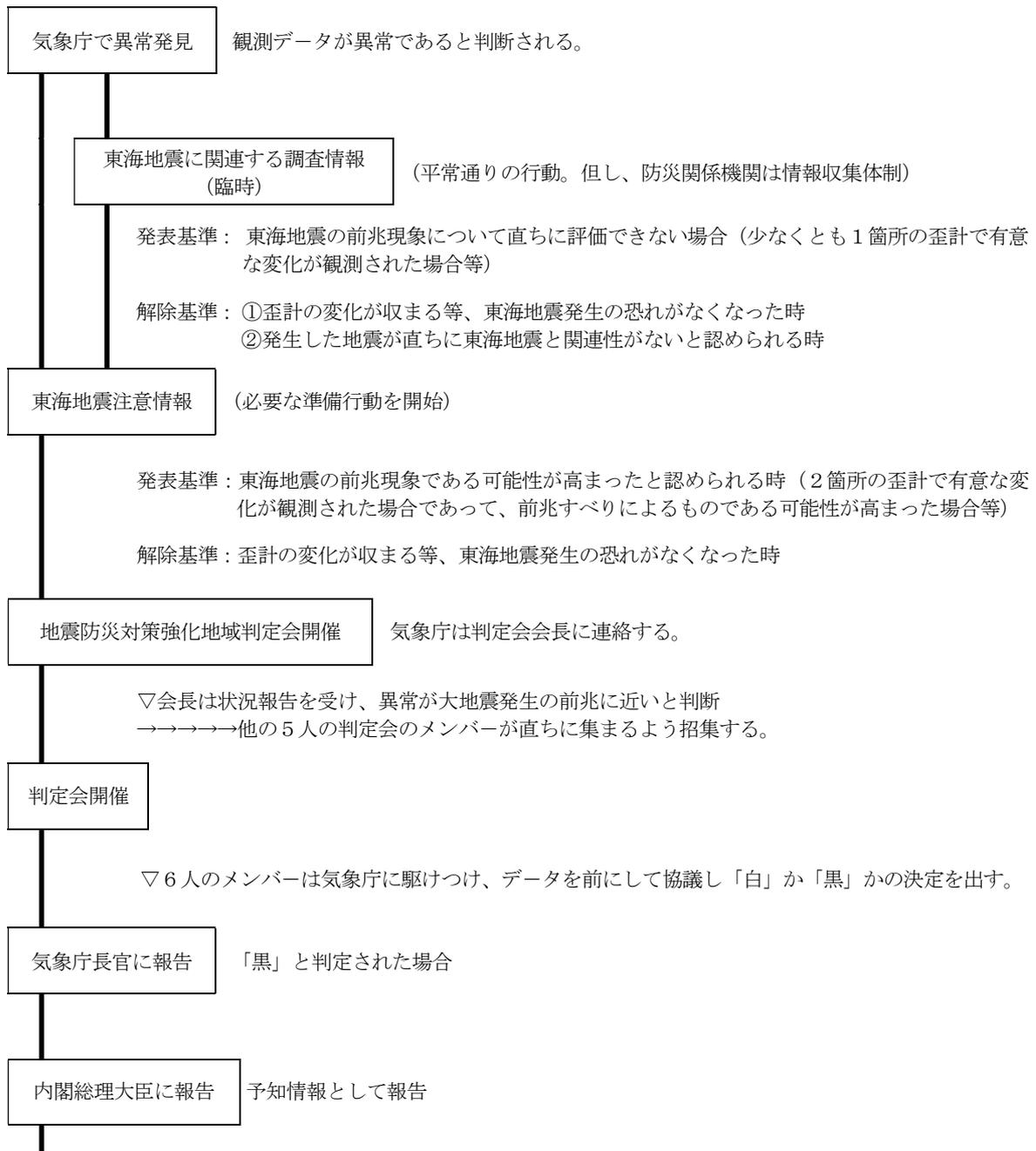
# 警戒宣言

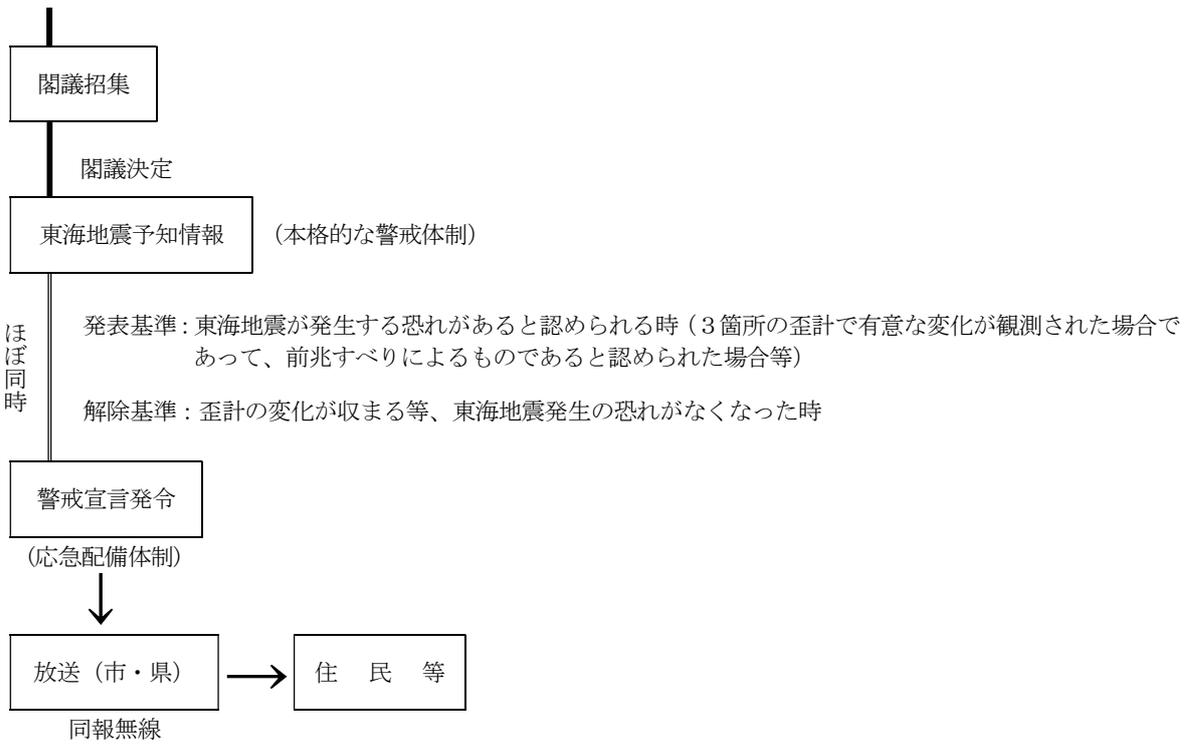
## ●地震予知

一般的に、「地震予知は非常に困難」とされているが、予想される東海地震のように、陸地を含む一定の地域で周期的に繰り返し起こっている大地震は、その観測変化が海域にのみ起きる場合を除いて予知が可能であるといわれている。

東海地震の予知は、気象庁などの国の機関が中心となり、歪計などの観測機器を使って24時間監視を行い、観測データの変化をとらえ、それが直ちに東海地震の発生に結びつくかどうかを判断しようとするものである。

## ●警戒宣言が出されるまで





## 南海トラフ地震に関する情報について

南海トラフの監視領域内（南海トラフの想定震源域及び想定震源域の海溝軸外側 50 km程度までの範囲）でマグニチュード 6.8 以上の地震が発生した場合等、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合、「南海トラフ地震に関連する情報」として、以下の 2 種類の情報が発表されます。

### ●南海トラフ地震臨時情報

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合のほか、観測された異常な現象の調査結果を発表する場合に発表されます。

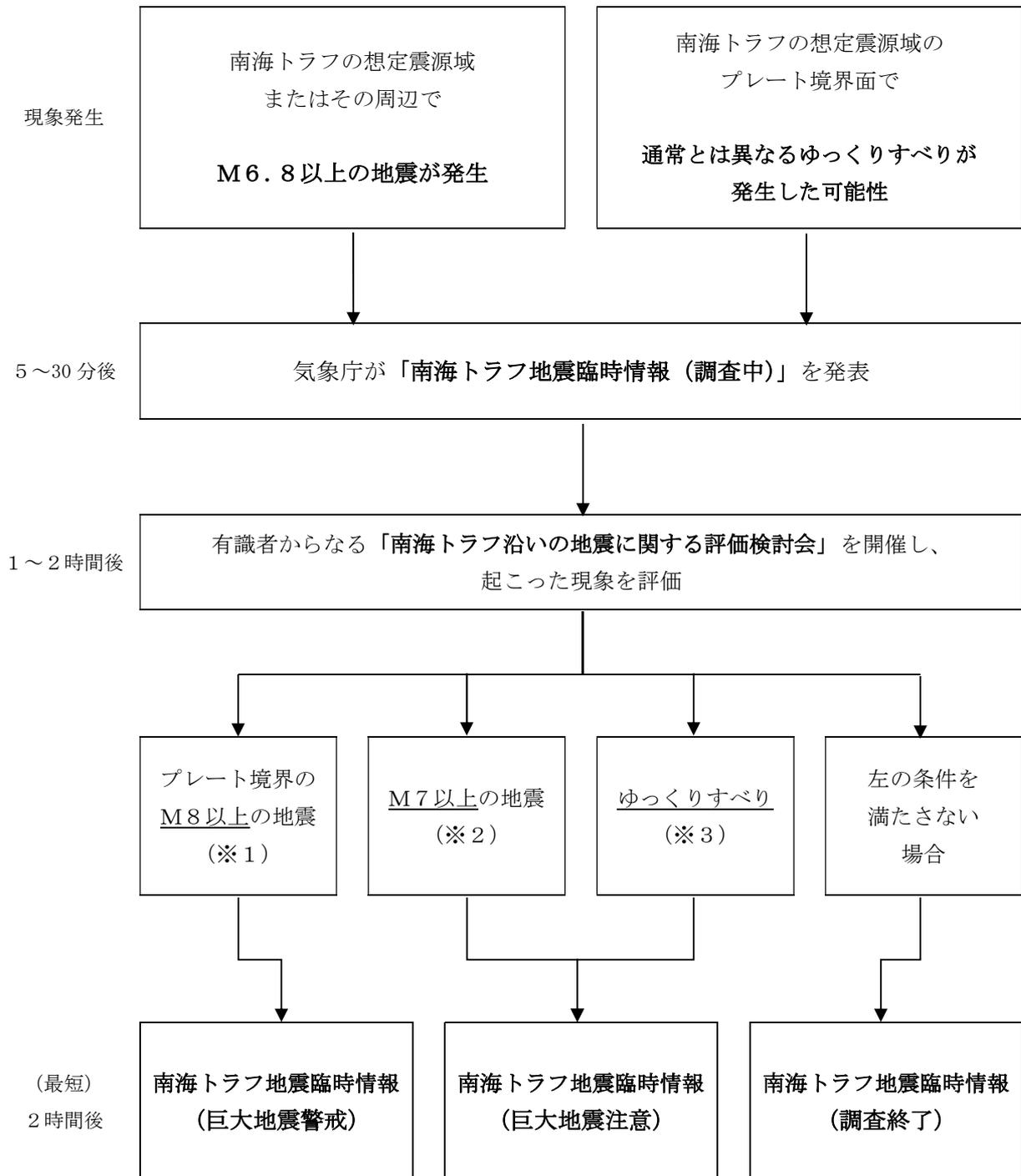
南海トラフ沿いで異常な現象を観測した場合、まず「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表され、その後、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において起こった現象の評価によって、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」「南海トラフ地震臨時情報（調査終了）」のいずれかが発表されます。

### ●南海トラフ地震関連解説情報

「南海トラフ地震関連解説情報」は、観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合や、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く）に発表されます。

※ すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります。

## 南海トラフ地震臨時情報の情報発表までの流れ



※1 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合（半割れケース）

※2 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生した場合、または南海トラフの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生した場合（一部割れケース）

※3 ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合（ゆっくりすべりケース）

## 避難の勧告・指示の種類

関係法令に基づいて、避難の勧告または指示を行う者は次のとおりである。

実施責任者	区分	災害の種類	根拠法令
市長	勧告・指示	災害全般	災害対策基本法第60条
警察官	指示	災害全般	災害対策基本法第61条 警察官職務執行法第4条
知事又はその命を受けた職員	指示	洪水・津波・高潮 地すべり	水防法第29条 地すべり等防止法第25条
水防管理者	指示	洪水・津波・高潮	水防法第29条
自衛官	指示	災害全般	自衛隊法第94条
海上保安官	指示	災害全般	災害対策基本法第61条

## 急傾斜地崩壊危険区域一覧表

備考中の※は、区域が接していることを表す。(令和3年3月31日)

区域名	地区名	指定年月日	告示番号	面積(m <sup>2</sup> )	保全人家	着工	概成	備考
岩下星谷	6丁目	H18. 2. 3	132	606	6	17県単		
白浜板戸	白 浜	S61. 7. 1	624	1,417	5	60公共	61公共	
外 浦	柿 崎	S62. 1.30	86	6,250	27	61公共	1	※
外浦No.2	〃	H 2. 9. 4	768	7,222	6	2	7公共	※
外浦No.3	〃	H 9. 2.18	138	1,951	8			※
外浦No.4	〃	H16.11.09	1078	173	9			
高 浜	須 崎	H 6. 3. 1	160	7,171	13	4公共	7公共	※※
高浜No.2	〃	H10. 1.16	51	6,674	27	9	15公共	※※
須崎小白浜	〃	S62. 6. 9	576	7,725	22	62公共	3	※※※
須崎小白浜No.2	〃	H4.10.16	904	7,620	16	4	7公共	※※※
須崎下条	〃	S50. 8.26	743	5,500	54	55公共	60公共	
須崎坂条	〃	S58. 8.16	734	3,480	32	58公共	62公共	
須崎坂条No.2	〃	S62. 6.30	644	10,784	29	63公共	5公共	
須崎坂条No.3	〃	H10. 1.16	52	5,059	17	9公共	12公共	
須 崎	〃	S47.12.05	939	7,884	62	49公共	60	※
須崎No.2	〃	S58.10.14	894	1,750	5	58県単	59県単	
須崎No.3	〃	H7. 3.31	306	176	5	5	5公共	※
柿 崎	柿 崎	S55.11.25	988	2,800	25	55公共	58	※※
柿崎No.2	〃	S58. 3. 8	200	2,750	11	59	60公共	※※
柿崎宮ノ瀬	〃	H18. 3.31	427	1,543	10	17公共		
河内片瀬	河 内	H15. 9.16	864	9,129	10	15公共		
志 戸	〃	H 4. 6.16	534	11,798	15	3公共	8公共	
蓮台寺山崎	蓮台寺	H14. 3. 8	184	2,366	7	13公共	14公共	
立野中之瀬	立 野	H14. 7. 2	596	3,356	19	12公共	13公共	
高 馬	高 馬	S61.12.23	1136	9,309	34	61公共	1 公共	※※※
高馬南	〃	H 5. 6. 1	543	1,926	11	5	8	※※※
中根石	中	H17. 8.23	1034	4,475	11	16公共	16	
西本郷1丁目南	西本郷	H15. 1. 7	6	11,304	30	14公共		※

区域名	地区名	指定年月日	告示番号	面積(m <sup>2</sup> )	保全人家	着工	概成	備考
西本郷1丁目南No.2	〃	H18.1.13	56	8,247	34			
西本郷1丁目	西本郷	H11.3.23	268	5,483	18	10公共	11公共	※
西本郷1丁目No.2	〃	H13.3.16	261	641	0	10	11	※
岩下	6丁目	S50.8.26	743	11,200	23	53公共	60	※※
岩下No.2	〃	S61.12.26	1152	3,607	3	61	61公共	※※
岩下西	〃	S63.3.31	351	1,771	11	62公共	3公共	
淡島山	〃	S55.3.28	268	2,100	17	54県費補助	56県費補助	
吉佐美里条	吉佐美	H16.12.10	1180	4,500	11	16公共		
田牛三太山	田牛	H18.9.26	917	3,427	11	17県単		
岩下小山田	6丁目	H19.8.28	803	654	4			
柿崎腰越	柿崎	H19.1.30	76	915	5			
神出山	大沢	H21.1.06	5	5,227	2			
河内諏訪	河内	H21.3.31	371	6,279	15			
吉佐美多々戸No.1	吉佐美	H23.8.19	627	4,336	7	23公共		
吉佐美多々戸No.2	〃	H23.8.19	628	4,127	4	26公共		
河内入沢	河内	H22.10.05	671	7,137	10	22公共		
河内松尾	〃	H26.9.9	702	2,780	5	27県単		
広岡理源山	5丁目	H29.1.6	4	4,891	15			
西本郷一丁目No.3	西本郷	R元.9.20	1028	3,572	22			※※
長田A	白浜	R3.3.2	143	210	5			

# 市道主要道路一覧表

(令和3年3月31日)

番号	路線名	起点 ～ 終点	等級	延長(m)
1	新町本通線	1丁目111～1丁目102	2	51.8
2	寺町通線	1丁目206-2～1丁目857-1	2	118.5
3	中横町通線	2丁目386～2丁目1183-1-7	2	144.9
4	弥治川町七軒町通線	3丁目782-1～3丁目770-1	2	184.2
5	坂下大浦線	3丁目664-1～3丁目1038-1	2	507.5
6	臨港第6号線	武ガ浜872-3～武ガ浜870-11	2	397.6
7	大浦鍋田通線	3丁目1038-1～5丁目280-1	1	998.2
8	連尺町武ガ浜通線	1丁目186-1～武ガ浜1275-7	2	409.7
9	連尺町中島通線	1丁目11～1丁目10-5	2	57.1
10	坂下和歌の浦線	3丁目736-1～3丁目1174-1	2	517.1
11	伊勢町脇ノ田通線	2丁目535-1～4丁目367-4	2	408.6
12	弥治川橋戸通線	3丁目786-1～1丁目673-13	2	889.8
13	平滑中島線	4丁目149-1～1丁目137-1	2	672.0
14	補助幹線街路3号線	西本郷1丁目8-1～東本郷2丁目2-16	2	188.4
15	上大沢線	蓮台寺字大方502-2～大沢字東裏山1578	1・その他	3,240.7
16	立野横川1号線	大沢字洗戸1071-2～大沢字石ヶ坪1440	1・その他	3,876.0
17	河内白浜2号線	河内字湯ヶ田834-1～河内字諏訪入1372	2・その他	1,358.3
18	高根3号線	河内字上湯原276-1～河内字中河内822-2	2	174.4
19	赤間丸山線	中字赤間567-5～中字横沢806-7	1・その他	1,311.4
20	蓮台寺停車場線	河内字下湯原147-1～河内字冷田895-3	2	167.2
21	赤間白浜線	中字赤間567-5～中字金久保842-1	1	1,621.9
22	西中45号線	西中23-1～土浜高馬線交差点	2	284.3
23	立野お吉ヶ淵線	立野字小立野154-6～河内字上湯原297-3	1	866.5
24	寝姿橋通線	東本郷2丁目3～中字横枕489-1	2	343.9
25	諏訪志戸線	河内字冷田895-3～河内字満昌532-1	2	1,720.4
26	中横枕1号線	中字池田469-7～中字池田459-1	2	191.0
27	中横枕2号線	中字潰石452-1～東中20-1	2	584.1
28	敷根線	敷根675-3～敷根750	1・3	967.7
29	敷根1号線	敷根606-4～旧岡方村字大山田526-1	1	1,991.7
30	土浜高馬線	西本郷1丁目671-1～本郷橋地先県道交差点	1	2,070.1

番号	路線名	起点 ～ 終点	等級	延長(m)
31	大山線	田牛字鈴野40-1～田牛字大山722-9	1	1,100.3
32	吉佐美大賀茂線	吉佐美字石田1009-1～吉佐美字井ノ木田1256-1	1	1,010.1
33	吉佐美田牛線	吉佐美字峰小路590-1～田牛字垣内328	1	4,787.1
34	桂線	吉佐美字大賀茂川359-2～吉佐美字桂1322	2	1,027.7
35	奥条線	吉佐美字大川田1305-2～大賀茂字岑田297	2	653.6
36	入田2号線	吉佐美字広畑278-1～吉佐美広畑348-1	2	342.6
37	荒井壩原線	大賀茂字合歓木580-5～大賀茂字壩原811-6	2	978.3
38	多々戸1号線	吉佐美字一沢74-3～吉佐美字牛穴2048	2	344.2
39	堀切線	大賀茂字壩原808-1～大賀茂字兔田917-1	2・その他	765.3
40	田牛海岸線	吉佐美字浜条2618-1～吉佐美字垣内330	1	1,970.1
41	腰越本作線	柿崎字日和山713-2～柿崎字本作707-13	2	482.7
42	柿崎須崎1号線	柿崎字大坪408-4～柿崎字尾竹山1175	2	1,544.8
43	浜条田代線	柿崎字浜条150-4～柿崎字田代293-2	2	362.4
44	浜条境野線	柿崎字上の山364-2～柿崎字境野1290	2	930.4
45	浜田外浦線	柿崎字浜田651-1～柿崎字外浦807	1	841.1
46	須崎海岸線	須崎字小白浜513～須崎字越瀬1641-1	1	834.3
47	須崎外浦線	柿崎字外浦813～須崎字竹山1162	2	1,331.5
48	柿崎須崎2号線	須崎字原180-4～須崎字坂口649-1	2	866.4
49	須崎線	須崎字社の上725-1～須崎字坂口649-1	1	906.2
50	禅福寺線	白浜字浜412-2～白浜字チイノキ247-1	2	726.1
51	赤間白浜線	白浜字女郎山2786-1～白浜字宮ノ前1686-4	1	2,492.7
52	白浜縄地線	白浜字砥川207-1～白浜字峠3323-1	2	1,653.4
53	砥川1号線	白浜字チイノキ251-2～白浜字砥川149-1	2	303.6
54	板見境ノ久保線	白浜字先山2754-8～白浜字小ナデ2678-1	2	578.4
55	下ノ條線	白浜字下ノ條2215-1～白浜字下ノ條2296-2	2	335.5
56	小長田1号線	白浜字小長田1333-2～白浜字小長田1248-1	2	543.6
57	一色線	白浜字砥川149-1～白浜字一色82-1	2	404.2
58	学校道線	白浜字小長田1271-3～白浜字小長田1288-1	2・3	178.8
59	小長田4号線	白浜字小長田1272-1～白浜字小長田1273-1	2	108.9
60	小長田3号線	白浜字神明1536-3～白浜字ミタラシ2984	2・3	315.0

番号	路線名	起点 ～ 終点	等級	延長(m)
61	小長田 2 号線	白浜字小長田1319-1～白浜字林川1334	2	166.4
62	口村茅原野線	須原字原1364-1-3～須原字稲生路山62-1	2	460.5
63	箕作椎原線	箕作字宮ノ前314-4～椎原字宮ノ前266-1	1	345.1
64	須郷線	須原字筏場21-2～須原字土取戸2487	1	2,867.9
65	宇土金線	宇土金字鍛冶屋田61～椎原字諭手274-1	2	1,853.4
66	椎原 1 号線	相玉字荒井田570-1～椎原字芝30-1	1	1,842.2
67	北湯ヶ野 1 号線	北湯ヶ野字荒蒔274-2～北湯ヶ野字三反田原58-4	1	1,168.8
68	北湯ヶ野里線	椎原字滝ノ上64-1～北湯ヶ野字荒井蒔274-2	1	94.8
69	滑川線	椎原字滝ノ上28～北湯ヶ野字風早938-1	1	1,265.6
70	北湯ヶ野 2 号線	北湯ヶ野字三反田原58-4～横川字湯ヶ野田777-4	1	157.3
71	落合 1 号線	落合字落合口42-1-1～落合字居村287-1	1	355.1
72	落合谷津 1 号線	落合字宮ノ前282-1～落合字大碓173-1	2・その他	1,148.8
73	北の沢八木山線	須原字小河原1076-2～須原字八木山829-1	2	927
74	坂戸線	須原字山田244-1～須原字坂戸505	2	1,559.2
75	加増野 1 号線	加増野字平田196-1～加増野字大棟282-1	2	927.8
76	横一線	横川字湯ヶ野田777-16～横川字団栗原1092-1	1	2,559.5
77	北湯ヶ野 3 号線	北湯ヶ野字三反田原54-1～横川字山口15-6	2	500.7
78	落合縄地 1 号線	落合字宮ノ前287-1～落合字尾口461-1	1	314.1
79	落合縄地 3 号線	落合字奥野385～落合字流岩828	1	938.7
80	尾平 1 号線	北湯ヶ野字風早938-1～北湯ヶ野字津出959-1	2	1,228.3
81	数沢洞線	箕作字数沢765-2～箕作字石詰り942-1	2・その他	1,238.2
82	箕作宇土金線	箕作字橋詰10-5～宇土金字鍛冶屋田61	2	95.6
83	加増野 2 号線	加増野字富田原487-8～加増野字切立558-2	2・その他	575.7
84	八楠線	横川字山口15-6～横川字蕨原207-1	2	349.2
85	箕作谷戸洞線	箕作字谷戸口388～箕作字水呑橋1085	2	616.6
86	落合縄地線 2 号線	落合字尾口461-1～落合字奥野385	1	564.4
87	稲梓駅前通線	箕作字三森874-1～落合字道庭98-2	2	471.6
	合 計			79,626.8

# 市内河川名一覧表

(令和3年3月31日)

水系名	支派川		河川名	延長 (km)	起点～終点	摘要	
	第1	第2					
稲生沢川 (二級河川)	稲梓川 (二級河川)		坂戸川 (準用河川)	1.21	須原452～2級河川稲梓川への合流点		
		坂戸川 (準用河川)	平峯川	0.30			
			西山川	0.25			
			大山川	0.53			
			逆川 (準用河川)	0.75	八木山川合流点～2級河川稲梓川の起点		
		逆川 (準用河川)	小河原川	0.27			
			八木山川 (準用河川)	1.03	須原762～逆川への合流点		
			八木山川	0.60		第3支派川 (準)八木山川	
			引沢川	0.70			
			茅原野川	0.50			
		須郷川 (二級河川)	入谷川 (準用河川)	狩足川	1.46		
				庵ノ入川	0.50		第3支派川 (準)入谷川
				畑山川	1.25		第3支派川 (準)入谷川
				矢弦田川	1.18		第3支派川 (準)入谷川
				大登山川	0.78		
				林ノ峯川	0.53		
				滝ノ元川	0.80		
				鳴沢川	0.80		
				日陰山川	0.27		
				神田川	0.31		
			谷戸洞川 (準用河川)	0.97	箕作461-1～2級河川稲生沢川への合流点		
			数沢川 (準用河川)	1.19	箕作947～2級河川稲生沢川への合流点		
			大畑川	0.16			
			藪田川	0.21			
			北湯ヶ野川 (準用河川)	4.14	北湯ヶ野663～2級河川稲生沢川への合流点		

水系名	支派川		河川名	延長 (km)	起点～終点	摘要
	第1	第2				
	北湯ヶ野川 (準用河川)		滑 川 (準用河川)	0.87	北湯ヶ野536～北湯ヶ野 川への合流点	
			長 窪 川	1.32		
			満 金 川	1.35		
			滝 ノ 上 川	0.66		
			八 楠 川 (準用河川)	1.68	横川72～2級河川稲生 沢川への合流点	
稲 生 沢 川 (二級河川)			加 増 野 川 (準用河川)	1.99	加増野265-2～加増野川 への合流点	
	加 増 野 川 (準用河川)		日 影 平 川	0.58		
			婆 娑 羅 川	0.25		
			荒 田 川	0.67		
			久 保 ノ 沢 川	0.35		
			大 棟 川 (準用河川)	0.67	加増野282-1～加増野川 への合流点	
	大 棟 川 (準用河川)		梅 ノ 木 田 川	0.38		
			大 棟 川	0.35		
			大 塚 川 (準用河川)	0.41	加増野143-2～2級河川 稲生沢川への合流点	
	大 塚 川 (準用河川)		大 塚 川	0.56		
			下 夕 田 川	1.29		
			平 旨 川	0.25		
			横 川 川 (準用河川)	2.61	横川1134～2級河川稲 生沢川への合流点	
	横 川 川 (準用河川)		垣 ノ 内 川	0.88		
			梶 沢 川	1.00		
			上 藤 原 川	0.86		
			荒 増 川	0.75		
			谷 戸 川	0.40		
			長 福 寺 川	0.30		
			茶 々 丸 川	0.25		
		深 根 川	0.12			
			落 合 川 (準用河川)	1.66	落合181～2級河川稲生 沢川への合流点	

水系名	支派川		河川名	延長 (km)	起点～終点	摘要
	第1	第2				
	落合川 (準用河川)		中山川	0.57		
			椎木ヶ坪川	0.20		
			里川 (準用河川)	1.10	落合385～落合川への合流点	
		里川 (準用河川)	奥野川	0.40		
			片瀬川	0.35		
			入沢川	0.31		
			諏訪川	0.80		
			角栗川	0.48		
			檜田川	0.43		
	稲生沢川 (二級河川)	蓮台寺川 (二級河川)		下藤原川	0.84	
			於花越川	0.89		
			大方川	0.22		
			上大沢川 (準用河川)	1.71	大沢224-1～2級河川蓮台寺川の起点	
			下大沢川 (準用河川)	1.87	大沢583-2～2級河川蓮台寺川の起点	
上大沢川 (準用河川)			氏神沢川	0.23		
			桂岡川	0.25		
			一ノ坂川	0.24		
			砥石川	0.80		
			上大沢川	1.10		
		後田川	0.44		第3支派川 上大沢川	
		東谷川	0.47		第3支派川 上大沢川	
下大沢川 (準用河川)		松ノ木田川	0.39			
		間ノ峯川	0.20			
敷根川 (二級河川)			平田川 (準用河川)	0.60	敷根737-1～2級河川敷根川の起点	
			平田川 (準用河川)	0.47		
			赤間川 (準用河川)	0.36	中531～2級河川稲生沢川への合流点	

水系名	支派川		河川名	延長 (km)	起点～終点	摘要
	第1	第2				
			丸山川	0.77		
	平滑川 (二級河川)		広岡川 (準用河川)	1.09	旧岡方村510～2級河川 平滑川の起点	
			高馬川	0.50		
			一色川 (準用河川)	1.21	白浜6-1～海に至る	
			砥川 (準用河川)	0.25	白浜232～海に至る	
			御嶽川 (準用河川)	0.26	白浜536～海に至る	
御嶽川 (準用河川)			御嶽川	0.41		
			古根川 (準用河川)	1.14	白浜948～海に至る	
古根川 (準用河川)			広田川	1.25		
			長谷戸川	0.56		
			見合沢川	0.25		
			宮前川 (準用河川)	1.37	白浜1333-2～海に至る	
宮前川 (準用河川)			細入川	0.56		
			宮ノ前川	0.65		
宮前川 (準用河川)			神明川 (準用河川)	1.26	白浜1604～宮前川への 合流点	
	神明川 (準用河川)		大坪川	0.40		
			下條川 (準用河川)	0.77	白浜2493～海に至る	
下條川 (準用河川)			平川	0.45		
			山口川 (準用河川)	0.82	白浜2041-1～下條川への 合流点	
	山口川 (準用河川)		コイサワ川	0.25		
			峯田川	0.26		
			ヒヤリ川	0.58		
			上ノ山川 (準用河川)	1.39	柿崎1184-1～海に至る	
			外浦川 (準用河川)	0.55	柿崎1083～海に至る	
外浦川 (準用河川)			竹原川	0.18		
			尾竹川	0.23		
			梨ノ木川	0.22		

水系名	支派川		河川名	延長 (km)	起点～終点	摘要
	第1	第2				
			嵐 留 川	0.32		
			田 ノ 浦 川	0.20		
			神 原 川	0.42		
神 原 川			長 水 瀬 川	0.16		
			小 白 浜 川	0.30		
			須 崎 川 (準用河川)	0.99	須崎728-2～海に至る	
			西 越 川	0.12		
			福 浦 川	0.20		
			間 戸 浜 川	0.10		
			鍋 田 川 (準用河川)	0.51	5-254-4～海に至る	
鍋 田 川 (準用河川)			エノケ窪川	0.10		
			多々戸川 (準用河川)	0.90	吉佐美108～海に至る	
多々戸川 (準用河川)			長 久 保 川	0.28		
			入 田 川 (準用河川)	0.89	吉佐美179～海に至る	
入 田 川 (準用河川)			亀 石 川	0.45		
			傾 城 川	0.47		
			宮 井 戸 川	0.84		
			大 浜 川 (準用河川)	1.57	吉佐美2007～海に至る	
			田 牛 川 (準用河川)	1.80	田牛7-1～海に至る	
田 牛 川 (準用河川)			真 門 川	0.37		
			鈴 野 川	0.36		
			上 条 川	0.43		
			奥 ノ 入 川	0.22		
			碁 石 浜 川	0.27		
			長 谷 川	0.45		
			滝 ノ 浦 川	0.23		
大 賀 茂 川 (二級河川)			浜 条 川	0.88		

水系名	支派川		河川名	延長 (km)	起点～終点	摘要
	第1	第2				
			入 条 川	0.24		
			洗 田 川 (準用河川)	0.89	吉佐美2351-4～2級河川 大賀茂川への合流点	
			金 原 川	0.89		
			用 田 川	0.35		
			林 山 川 (準用河川)	1.56	大賀茂1231-1～2級河川 大賀茂川への合流点	
林 山 川 (準用河川)			笹 峯 川	0.28		
			芝 原 川	0.50		
			奥 条 川 (準用河川)	0.79	大賀茂1307～2級河川 大賀茂川への合流点	
奥 条 川 (準用河川)			笹 藪 川	0.74		
			桂 川 (準用河川)	1.17	大賀茂399～2級河川 大賀茂川への合流点	
桂 川 (準用河川)			山 畑 川	0.66		
			長 久 保 川	0.35		
			白 岩 川 (準用河川)	0.97	大賀茂1012～2級河川 大賀茂川への合流点	
白 岩 川 (準用河川)			柳 沢 川	0.55		
			堀 切 川 (準用河川)	0.88	大賀茂921～白岩山川への 合流点	
		堀 切 川 (準用河川)	堀 切 川	0.52		
			田 代 川	0.26		第3支派川 堀 切 川
			清 水 谷 戸 川	0.30		
			楠 木 田 川	0.30		

## 主要道路中のトンネル一覧表

(令和3年3月31日)

記号	所在地	トンネル名	形状			備考
			幅員(m)※	延長(m)	高さ(m)	
ア	4丁目(広岡)	乳峯トンネル	8.60	122.20	4.50	国道136号
イ	4丁目(広岡)	広岡トンネル	8.65	27.40	4.50	〃
ウ	5丁目(広岡)	下田第一トンネル	6.50	66.20	3.50	〃
エ	5丁目	下田第二トンネル	6.40	47.40	3.40	〃
オ	大賀茂	大賀茂トンネル	9.25	98.50	4.50	県道
カ	大賀茂	八声トンネル	9.40	102.00	4.50	〃
キ	加増野	婆娑羅トンネル	8.00	208.50	4.50	〃
ク	5丁目	鍋田隧道	4.00	33.00	4.00	市道
ケ	吉佐美	吉佐美隧道	3.80	106.80	3.80	〃
コ	田牛	田牛隧道	3.60	110.00	3.60	〃
サ	田牛	大山隧道	4.00	29.40	3.80	〃
シ	吉佐美	田牛第一トンネル	5.90	31.80	4.70	〃
ス	吉佐美	田牛第二トンネル	6.00	167.90	3.00	〃
セ	田牛	田牛第三トンネル	5.00	111.20	4.70	〃
ソ	田牛	田牛第四トンネル	5.00	141.60	3.50	〃
タ	立野	立野トンネル	9.25	203.00	4.50	国道414号
チ	3丁目	和歌浦隧道	4.50	140.00	4.00	市道

※幅員に関しては、市道：車道部、県道：車道＋路側

## 過去の下田市を襲った津波

日本歴	西 暦	震 源	規模	最高水位	死者	流出 全壊	半壊	浸水	沈没 破船
慶長 9.12.16	1605 2. 3	南海道沖① 房 総 沖②	M7.9						
元禄 16.11.23	1703 12.31	相模湾房総沖	M8.2		27	332	16		81
宝永 4.10. 4	1707 10.28	東 海 道 及 び 南 海 道	M8.4	下 田 5.6 岡 方 4.4 柿 崎 6.7	11	857	55		93
安政 1.11. 4 1.11. 5	1854 12.23 12.24	東 海 道 沖 南 海 道 沖	M8.4 M8.4	下 田 5.7 岡 方 4.8 柿 崎 6.7	122	841	30		30
大正12.	1923 9. 1	相 模 灘 小 田 原 沖	M7.9	柿 崎 4.6 外 浦 4.1		2	9	床上 14 床下 120	
昭和19.	1944 12. 7	熊 野 灘	M8.3	須崎町 2.1 大工町 1.9 柿 崎 2.5				186	86
昭和21.	1946 12.21	南 海 道 沖	M8.1					245	26
昭和27.	1952 11. 5	カムチャツカ 半 島 沖	M8.3	下 田 1.5				床下 120	
昭和35.	1960 5.24	チ リ 沖	M8.3 ～ M8.5	下 田 1.14				床下 38	
昭和49.	1974 5. 9	伊豆半島南端	M6.9			23	42		
昭和53.	1978 1.14	伊豆大島沖	M7.0			12	24		

(国立天文台理科年表による)

# 津波注意報、警報、地震及び津波情報の種類

(静岡地方気象台)

## (1) 津波予報

気象業務法に基づき、気象庁本庁は静岡県が属する津波予報区内に予想される津波の規模、範囲について津波予報を発表する。

また、予想される津波の到達時刻や高さ、実際に観測された津波の到達時刻や高さ等を津波情報として発表する。

津波予報の種類等は次のとおりである。

第1表 津波予報の種類、解説及び発表される津波の高さ

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

- (注) 1. 津波による災害のおそれがないと予想される場合には、「津波の心配はない」旨または、「若干の海面変動があるかもしれないが、被害の心配はない」旨について地震情報に含めて発表する。  
 2. 津波による災害のおそれがなくなったと認める場合、「津波警報解除」又は「津波注意報解除」として速やかに通知する。  
 3. 「津波の高さ」とは、津波によって潮位が高くなった時点におけるその潮位と、その時点で津波がなかった場合の潮位との差であり、津波によって潮位が上昇した高さをいう。

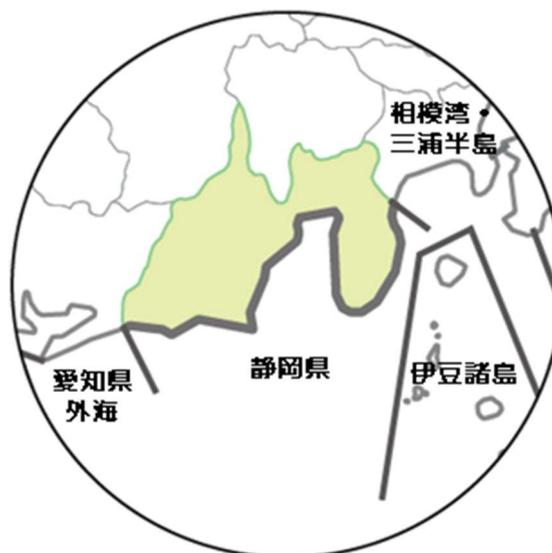
## (2) 津波予報区

日本の沿岸は66の津波予報区に分けられている。そのうち、下田市が属する津波予報区は、以下のとおりである。

第2表 下田市が属する津波予報区

府県予報区	一次細分区域
静岡県	伊豆
市町村等をまとめた地域	二次細分区域
伊豆南	下田市

第1図 静岡県及び周辺の県が属する津波予報区



### (3) 地震及び津波情報の種類

地震情報及び津波情報の種類は次のとおりである。

第3表 地震情報の種類

地震情報の種類	発表基準	内 容
震 度 速 報	・震度3以上	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名（全国を188地域に区分）と地震の揺れの発現時刻を速報。
震 源 に 関 す る 情 報	・震度3以上 （津波警報または注意報を発表した場合は発表しない）	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 「津波の心配ない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加。
震源・震度に関する情報	以下のいずれかを満たした場合 ・震度3以上 ・津波警報または注意報発表時 ・若干の海面変動が予想される場合 ・緊急地震速報（警報）を発表した場合	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度3以上の地域名と市町村名を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報	・震度1以上	震度1以上を観測した地点のほか、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。
遠地地震に関する情報	国外で発生した地震について以下のいずれかを満たした場合等 ・マグニチュード7.0以上 ・都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合	地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね30分以内に発表。 日本や国外への津波の影響についても記述して発表。
そ の 他 の 情 報	・顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。
推 計 震 度 分 布 図	・震度5弱以上	観測した各地の震度データをもとに、1km四方ごとに推計した震度（震度4以上）を図情報として発表。

第4表 津波情報の種類

種 類	内 容
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	各津波予報区の津波の到達予想時刻*や予想される津波の高さ（発表内容は津波警報・注意報の種類を表に記載）を発表する。 ※ この情報で発表される到達予想時刻は、各津波予報区でもっとも早く津波が到達する時刻である。場所によっては、この時刻よりも1時間以上遅れて津波が襲ってくることもある。
各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	主な地点の満潮時刻・津波の到達予想時刻を発表する。
津波観測に関する情報（*1）	沿岸で観測した津波の時刻や高さを発表する。
沖合の津波観測に関する情報（*2）	沖合で観測した津波の時刻や高さ、及び沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さを津波予報区単位で発表する。

( \* 1 ) 津波観測に関する情報の発表内容について

警報・注意報の発表状況	観測された津波の高さ	内 容
大津波警報を發表中	1 m超	数値で発表
	1 m以下	「観測中」と発表
津波警報を發表中	0.2m以上	数値で発表
	0.2m未満	「観測中」と発表
津波注意報を發表中	(すべての場合)	数値で発表(津波の高さがごく小さい場合は「微弱」と表現。)

( \* 2 ) 沖合の津波観測に関する情報の発表内容について

警報・注意報の発表状況	沿岸で推定される津波の高さ	内 容
大津波警報を發表中	3 m超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	3 m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波警報を發表中	1 m超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	1 m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波注意報を發表中	(すべての場合)	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表

※ 沿岸からの距離が100kmを超えるような沖合の観測点では、津波予報区との対応付けが難しいため、沿岸での推定値は発表しない。また、観測値についても、他の観測点で観測値や推定値が数値で発表されるまでは、「観測中」と発表する。

## 下田市指定防災ヘリポート

No.	ヘリポート名称 及び所在地	ヘリ サイズ	着陸面積 (m×m)	着陸帯 表面	離着陸時 散水要否	進入不可方向	津波浸水可能性 (最大クラス)
						①北②北東③東 ④南東⑤南⑥南西 ⑦西⑧北西	
1	敷根公園健康広場	大	100×75	砂質	要	なし	なし
	敷根757						
2	吉佐美運動公園	中	50×50	砂地	要	①②⑧	あり
	吉佐美1901						
3	下田市グリーンエリア ヘリポート	中	30×40	舗装	不要	①②③⑦⑧	なし
	須崎1235-1						
4	まどが浜海遊公園	中	45×45	芝生	不要	①②⑧	あり
	柿崎字間戸浜7-8、7-9						
5	福浦ヘリポート	中	30×30	舗装	不要	②③④	あり
	須崎1801						
6	原田区駐車場	中	30×50	採石・ 芝	不要	⑤⑥⑦	あり
	白浜2733-5						
7	下田セントラルホテル グラウンド	中	75×85	砂質	要	なし	なし
	北湯ヶ野256-1						
8	下大沢ヘリポート	中	25×25	砂質	要	なし	なし
	下大沢字松ノ窪1254						
9	白浜小学校グラウンド	中	70×70	砂質	要	①②③⑥⑦⑧	なし
	白浜1324-1						

# ヘリポートの具備すべき条件

1 解着機(発着)のため必要最小限度の地積

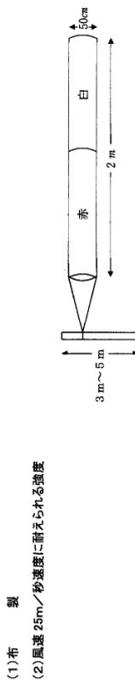
項目	区分	昼間使用	夜間使用
発着	OH-6J 小型 m (全長 9.30 全巾 8.05)		
	UH-1H 中型 m (全長 17.40 全巾 14.64)		
基準	CH-47J 大型 m (全長 30.18 全巾 16.26)		

(注)民間航空機を除く。  
 発着点とは、安全・容易に接地するため準備された地点。  
 無誘導地帯 無着陸に際しとならない地域。  
 民間航空機については、全長及び全巾の長さ以上の着陸帯、進入区域の長さ500m、進入表面の長さ8分の1(7°)を最低  
 確保する必要がある。  
 ただし、機首または機尾のための特例として、航空法の適用が除外される場合を除く。

- (2)地表面
- ア 舗装された場所が最も望ましい。
  - イ グラウンド等の場合、板、トタン、砂塵等が巻き上げられないよう処置すること(地表面が乾燥している場合は、砂塵の巻き上げ防止のため十分な散水を行う)。
  - ウ 草地の場合は硬質性草地であること。
- 2 着陸点  
 着陸点(直径30m)のほぼ中央に石段等で直径10mの正円を描き、中央にHと記す。

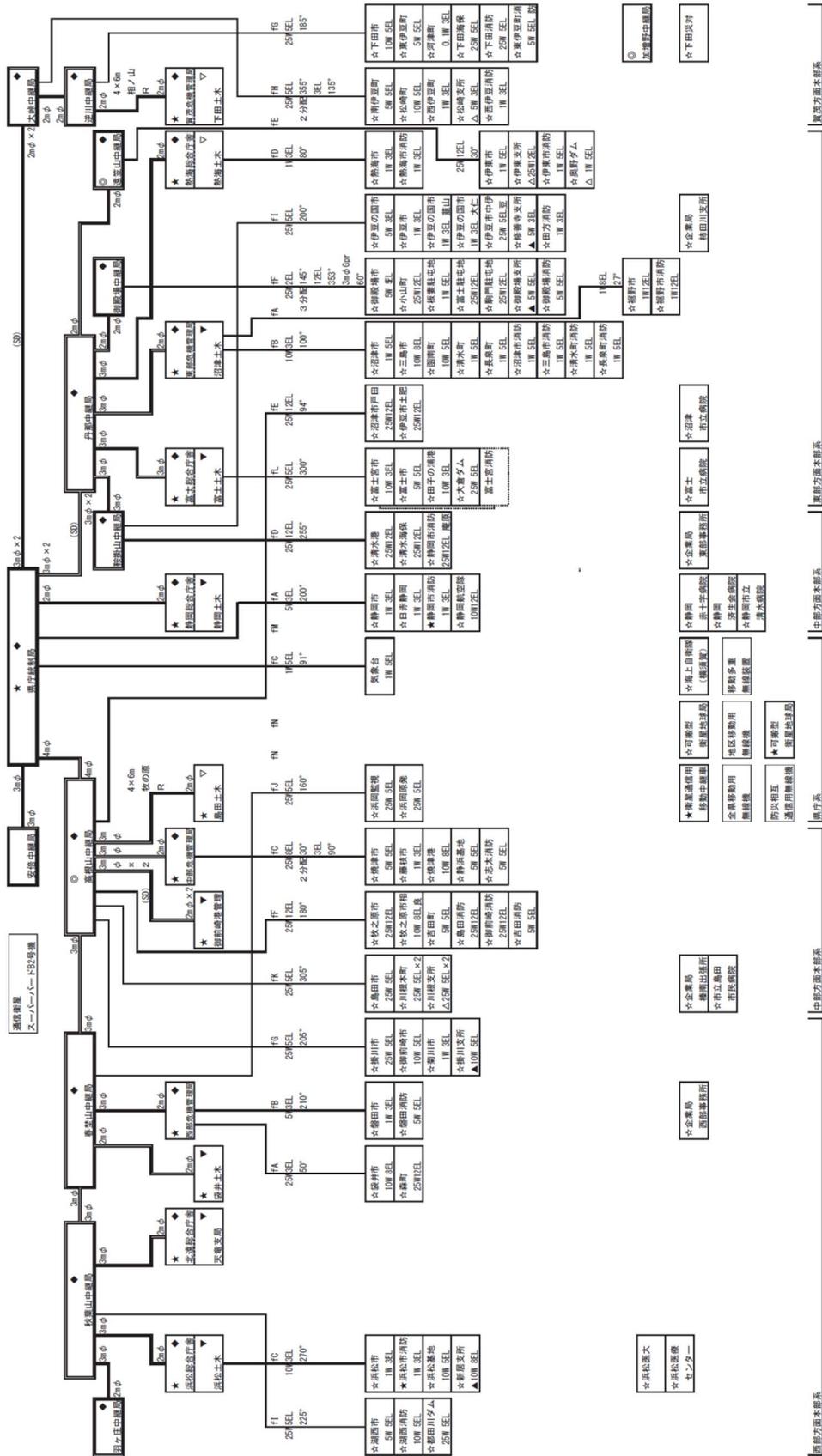


- 3 着陸帯付近(着陸点中央からなるべく離れた地点で地形、施設等による風の影響の少ない場所)に吹き流し、または旗を立てる。

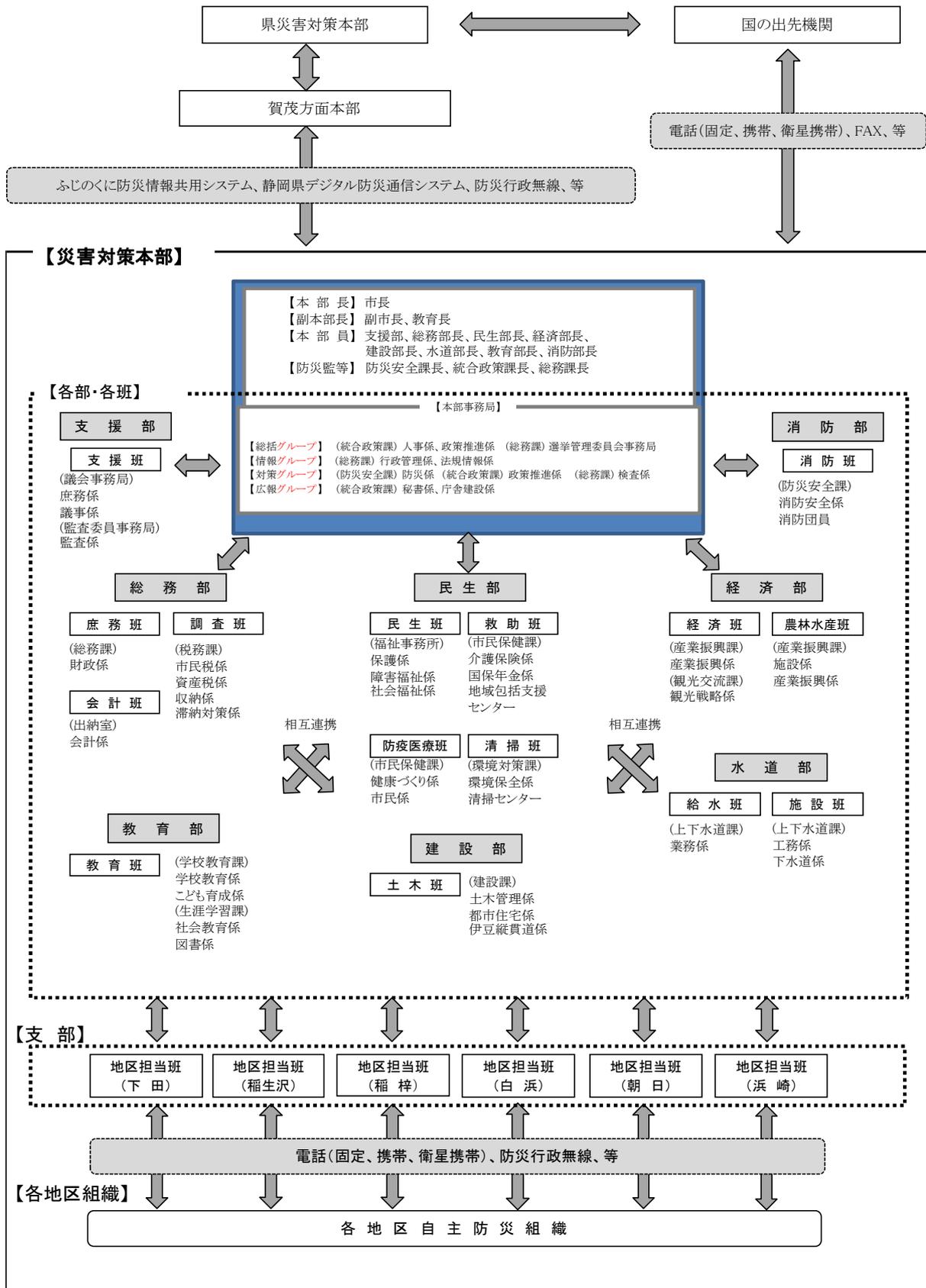


- 4 緊急車等、車両の出入の便がよい場所であること。  
 5 電話等、通信手段の利用が可能であること。  
 6 無着陸地帯にみだりに人が近づかないよう配慮すること。  
 特に、ヘリコプターのテールローターには、注意があるそかになる傾向があるので、機体の尾部には絶対に近づかないよう配慮する必要がある。

# 静岡県防災行政無線回線系統図



# 通信情報網図



## 配 備 基 準

### 【地震災害】

配備基準	体制	配備部局（自動参集）	配備内容
市内で震度4の地震を観測し気象庁が発表したとき	事前配備体制 (情報収集体制)	防災安全課の職員及び関係各課（産業振興課・建設課・上下水道課）の係長以上の職員	・各所属所要の人員による、情報収集及び連絡活動を主とした体制
市内で震度5弱の地震を観測し気象庁が発表したとき	事前配備体制 (警戒体制)	全職員	・災害対策本部設置準備 ・各所属で情報収集及び連絡活動を行い、事態の推移に伴い、速やかに警戒活動等を実施する体制
市内で震度5強以上を観測する地震を気象庁が発表したとき	災害対策本部 設置体制	全職員	・災害対策本部設置 ・災害対策（救助）に万全を期す体制

### 【津波災害】

配備基準	体制	配備部局（自動参集）	配備内容
津波注意報が市内に発表されたとき	事前配備体制 (情報収集体制)	防災安全課の職員及び関係各課（産業振興課・建設課・上下水道課）の係長以上の職員	・各所属所要の人員による、情報収集及び連絡活動を主とした体制
津波警報が市内に発表されたとき	事前配備体制 (警戒体制)	全職員	・災害対策本部設置準備 ・各所属で情報収集及び連絡活動を行い、事態の推移に伴い、速やかに警戒活動等を実施する体制
大津波警報（特別警報）が市内に発表されたとき	災害対策本部 設置体制	全職員	・災害対策本部設置 ・全庁的な情報共有体制を執るとともに、所要の指示に基づく災害応急対策を実施

### 【風水害】

配備基準	体制	配備部局	配備内容
大雨、洪水、高潮注意報が市内に発表され、警報への切替えが予測されるとき	事前配備体制 (情報収集体制)	事前配備要員（防災安全課の職員及び関係各課（産業振興課、建設課）の当番）	・自宅待機。担当課長の判断により、登庁し情報収集及び連絡活動を主とした体制
大雨、洪水、高潮、暴風警報が市内に発表されたとき	事前配備体制 (情報収集体制)	事前配備要員（防災安全課の職員及び関係各課（産業振興課、建設課）の当番）	・情報収集及び連絡活動を主とした体制

大雨、洪水、高潮、暴風警報が市内に発表され、危険な状態が予想されるとき	事前配備体制 (警戒体制)	事前配備要員(防災安全課の職員及び関係各課(産業振興課、建設課)の当番)、また状況判断により関係各課(産業振興課、建設課、上下水道課、総務課、市民保健課等)の職員を動員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部設置準備</li> <li>・各所属で情報収集及び連絡活動を行い、事態の推移に伴い、速やかに警戒活動等を実施する体制</li> </ul>
特別警報が市内に発表されたとき又は大規模な災害の発生したとき、もしくは発生するおそれがあるとき	災害対策本部 設置体制	全職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部設置</li> <li>・全庁的な情報共有体制を執るとともに、所要の指示に基づく災害応急対策を実施</li> </ul>

### 【原子力災害】

配備基準	体制	配備部局
県から警戒事象発生の通報を受けた場合	警戒本部の設置準備体制	防災安全課の職員
県から特定事象の通報を受けた場合	警戒本部体制	防災安全課及び各課の係長以上の職員
内閣総理大臣が原子力緊急事態宣言を発出した場合	災害対策本部設置体制	全職員

## 参集場所

災害	事象	参集場所(勤務時間内・外)	備考
地震	震度4	市庁舎西館大会議室	状況により下田市民スポーツセンターに変更
	東海地震注意情報及び警戒宣言又は震度5弱以上	下田市民スポーツセンター	
津波	津波注意報	市庁舎西館大会議室	状況により下田市民スポーツセンターに変更
	津波警報	下田市民スポーツセンター	
	大津波警報		

### ■地区担当班

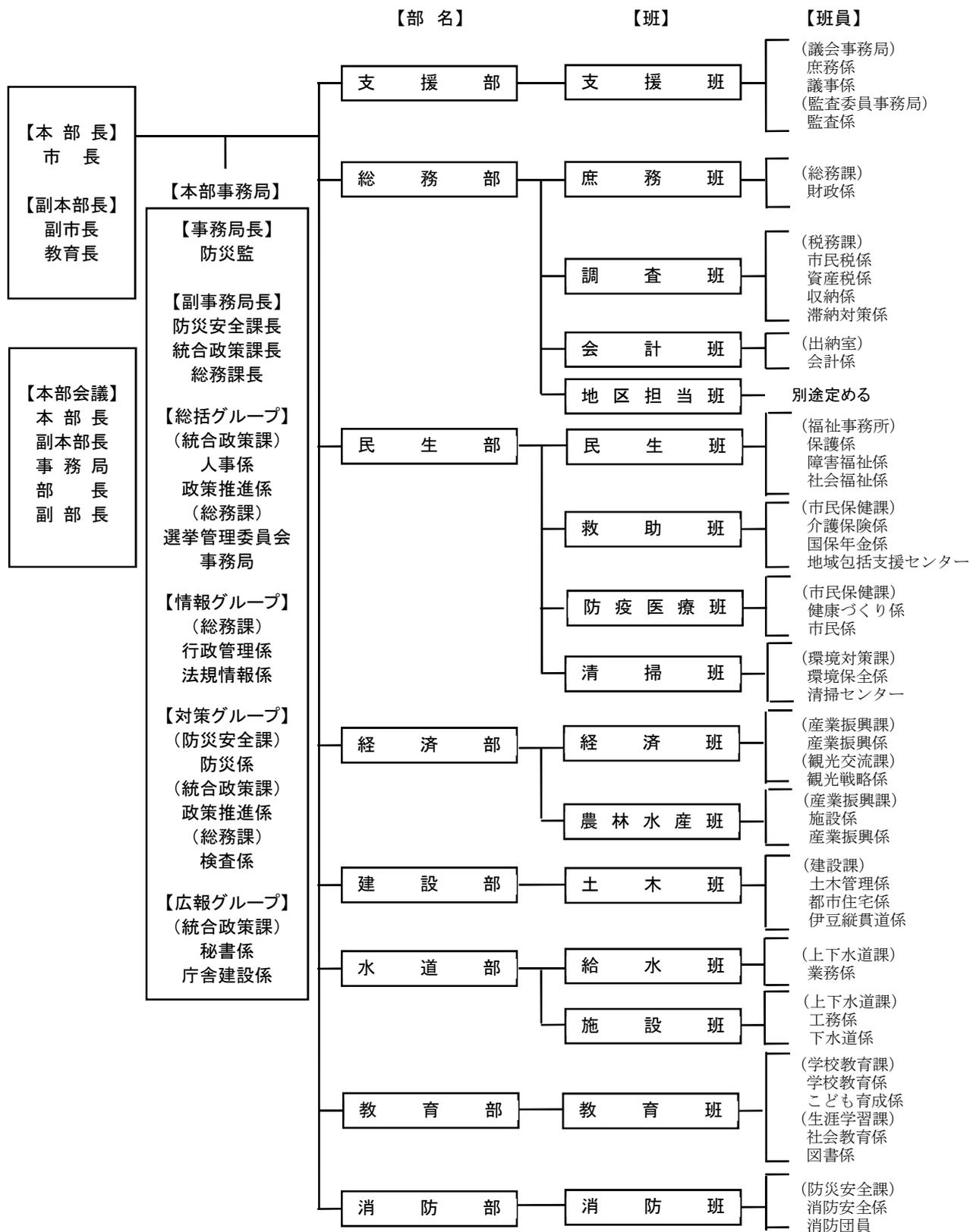
災害	事象	参集場所(勤務時間内・外)	備考
地震	東海地震注意情報及び警戒宣言又は震度5弱以上	指定された広域避難所	
津波	津波警報	指定された広域避難所	
	大津波警報		

※ 上下水道課及び環境対策課は、各々の参集場所として定める管理施設に参集する。

## 令和2年度 災害対策本部要員表

1. 災害対策本部体制要員表					
区 分		人 員			
本部長	市長				
副本部長	副市長・教育長				
本部事務局	各課長（室長・局長・参事）				
本部要員	動員計画によりあらかじめ定めた職員				
部	部長及び副部長	班	班長	班員	
本部事務局	防災監 （防災安全課長）	総括グループ	人事係長 政策推進係長	人事係 政策推進係 選挙管理委員会事務局	
		情報グループ	行政管理係長 法規情報係長	行政管理係 法規情報係	
	防災監代理 （統合政策課長） （総務課長）	対策グループ	防災係長 検査係長	防災係 政策推進係 検査係	
		広報グループ	秘書係長 庁舎建設係長	秘書係 庁舎建設係	
支援部	議会事務局長 監査委員会事務局長	支援班	庶務兼議事係長 監査係長	庶務係 議事係 監査係	
総務部	税務課長 出納室長	庶務班	財政係長	財政係	
		調査班	市民税係長 資産税係長 収納係長 滞納対策係長	市民税係 資産税係 収納係 滞納対策係	
			会計班	会計係長	会計係
			地区担当班	別に定める	
		民生部	福祉事務所長 市民保健課長 環境対策課長	民生班	保護係長 障害福祉係長 社会福祉係長
救助班	国保年金係長 介護保険係長 地域包括支援センター長			国保年金係 介護保険係 地域包括支援センター	
防疫医療班	健康づくり係長 市民係長			健康づくり係 市民係	
清掃班	清掃センター長 環境保全係長			清掃センター 環境保全係	
経済部	産業振興課長 観光交流課長	経済班	産業振興係長 観光戦略係長	産業振興係 観光戦略係	
		農林水産班	施設係長	施設係 産業振興係	
建設部	建設課長 技監（建設課）	土木班	土木管理係長 都市住宅係長 伊豆縦貫道係長	土木管理係 都市住宅 伊豆縦貫道係	
水道部	上下水道課長 工務係長	給水班	業務係長	業務係	
		施設班	下水道係長	工務係 下水道係	
教育部	学校教育課長 生涯学習課長 参事（学校教育課）	教育班	学校教育係長 こども育成係長 社会教育係長 図書係長	学校教育係 こども育成係 社会教育係 図書係	
消防部	消防団長 消防団副団長	消防班	消防安全係長 消防団分団長	消防安全係 消防団員	

# 【災害対策本部編成図】



# 広 報 文 例

## 【例文1】津波注意報

(サイレン10秒吹鳴、2秒休止、10秒吹鳴)

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
ただいま、津波注意報が発表されました。  
海岸や河川の近くの方は、注意してください。  
(予想される津波の到着予想時間は 時 分頃です。)  
繰り返します・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

## 【例文2】津波警報

(サイレン5秒吹鳴、6秒休止、5秒吹鳴)

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
ただいま、津波警報が発表されました。  
海岸や河川の近くの方は、高いところに避難してください。  
(予想される津波の到着予想時間は 時 分頃です。)  
繰り返します・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

## 【例文3】大津波警報

(サイレン3秒吹鳴、2秒休止、3秒吹鳴)

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
ただいま、大津波津波警報が発表されました。  
ただちに、海岸や河川から遠く離れ、高いところに避難してください。  
(予想される津波の到着予想時間は 時 分頃です。)  
繰り返します・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

## 【例文4】津波襲来時

(サイレン10秒吹鳴、2秒休止、10秒吹鳴)

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
ただいま、海岸に(メートル級の)津波が押し寄せています。  
津波は何回も押し寄せます。  
津波警報が解除されまで、引続き注意してください。  
繰り返します・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

## 【例文5】津波解除

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
発表されておりました、津波注意報(警報)は、午前・後 時 分、解除になりました。  
繰り返します・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

#### 【例文6】地震

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
ただいま、（大きな）地震がありました。  
身の安全を守り、火の始末をしてください。  
津波の恐れがあります。  
海岸や河川の近くにいる方は、高い場所に避難してください。  
テレビやラジオからの正しい情報に十分注意してください。  
繰り返します・・・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

#### 【例文7】東海地震に関連する調査情報

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
本日午前・後 時 分、東海地震に関連する調査情報が発表されました。  
東海地震がおきるかどうかは今のところわかりません。  
通常どおりの生活を続け、テレビ、ラジオをつけ、詳しい情報を聞いてください。  
繰り返します・・・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

#### 【例文8】東海地震注意情報

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
本日午前・後 時 分、東海地震注意情報が発表されました。  
東海地震がおきる危険性があります。  
テレビ、ラジオをつけ、詳しい情報を聞いてください。  
万一にそなえて家庭での対策を行ってください。  
繰り返します・・・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

#### 【例文9】東海地震予知情報

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
本日午前・後 時 分、東海地震予知情報が発表されました。  
東海地震がおきる可能性が高まっています。  
テレビ、ラジオをつけ、地震についての詳しい情報を聞いてください。  
津波や山崖崩れの危険のある地区の方は、防災対策をし、避難を開始してください。  
繰り返します・・・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

#### 【例文10】警戒宣言発令時

（サイレン45秒吹鳴、15秒休止を3回繰り返し）

こちらは広報しもだです。  
下田市役所からお知らせします。  
本日午前・後 時 分、内閣総理大臣から東海地震に係る警戒宣言が発令されました。  
東海地震がおきるおそれがあります。  
津波や山崖崩れの危険のある地区の方は、防災対策をし、避難を開始してください。  
テレビ、ラジオをつけ、地震についての詳しい情報を聞いてください。  
繰り返します・・・・・・・・。  
こちらは広報しもだでした。

## 広域避難地一覧表

名 称	避難地面積 (ha)		対象自治会	避難人口 (推定：人)	
	上段：建 物	下段：運動場		昼 間	夜 間
下 田 中 学 校	0.6	----- 1.3	旧 下 田	5,987	5,756
敷 根 公 園	9.0		本 郷	1,914	1,840
稲 生 沢 小 学 校	0.5	----- 0.8	稲 生 沢	2,114	2,033
稲 生 沢 中 学 校	0.4	----- 1.0	"	0,300	0,200
稲 梓 小 学 校	0.2	----- 0.4	稲 梓	0,100	0,200
大 賀 茂 小 学 校	0.1	----- 0.3	大賀茂、吉佐美 田 牛	4,371	4,201
浜 崎 小 学 校	0.3	----- 0.7	柿 崎	1,640	1,577
下 田 東 中 学 校	0.4	----- 0.9	外 浦	1,075	1,034
白 浜 小 学 校	0.2	----- 0.4	白 浜	2,345	2,255

## 行政無線配置表

無線局概要

(令和3年3月31日)

呼出名称	無線局の種別	周波数	空中線電力	車載・携帯	所在地
しもだぼうたい1	陸上移動局	158.35MHz	10W	携帯	下田市東本郷1丁目5-8
しもだぼうたい2	"	"	"	"	下田市敷根757

## 同時通報用無線配置表

無線局概要

呼出名称	無線局の種別	周波数	空中線電力	所在地
こうほうしもだ	固定局	57.26MHz 62.70125MHz	0.2W 0.1W	下田市敷根757
しもだぶざん	"	57.26MHz 62.70125MHz	0.1W 0.1W	下田市柿崎字武山1278
"	"	68.865MHz 55.17125MHz	5W 2W	下田市柿崎字武山1278
しもだたかね	"	57.26MHz	0.1W	下田市河内字高根山1373-2
"	"	69.765MHz	5W	下田市河内字高根山1373-2
子局(ながた さいそうしん)	"	55.17125MHz 59.46125MHz	0.1W 0.5W	下田市白浜小長田1305
子局(あいたま さいそうしん)	"	55.17125MHz 59.46125MHz	1W 1W	下田市相玉字藤麓282-3
子局(かぞうの さいそうしん)	"	59.46125MHz 64.29125MHz	0.5W 0.5W	下田市加増野字平田189-1
子局(きたゆがの さいそうしん)	"	55.17125MHz 59.46875MHz	2W 1W	下田市北湯ヶ野字立間口563-1
子局(すはら さいそうしん)	"	55.17125MHz 64.29125MHz	2W 0.5W	下田市須原字芽野原124-1
子局(おちあい さいそうしん)	"	55.17125MHz 59.40875MHz	1W 0.5W	下田市須原字芽野原124-1
子局(かみおおさわ さいそうしん)	"	55.17125MHz 59.40875MHz	2W 0.5W	下田市大沢27-2
子局No.-1~127 (内再送信子局7局)				
戸別受信機 (アナログ) 410局				
戸別受信機 (デジタル) 7,000局				

## 下田市防災行政無線

無線種類	防災行政無線（携帯型）
免許人	下田市
無線局の別	陸上移動局
無線局の目的	防災対策用
運用許容間	常時
免許番号	海移第66421～66422号
免許年月日	平成23年6月1日
有効許期間	令和3年5月31日
通相手	他の防災関係機関所属の無線局
通信事項	防災対策に関する事項
識別信号	しもだぼうたい1～2
電波の型式	F3E
周波数	158.35MHz
空中線電力	10W
常置場所	下田市役所内 下田市東本郷1丁目5-18 ※移動範囲 下田市、その周辺

# 下田市デジタル通信システム（防災無線）配備一覧表

#1～#4:遠隔制御、#5:FAX 1/5

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別	
無線統制台	200	敷根運動公園 屋内プール	敷根 757	無線統制台	
無線統制台 F A X	200#5			FAX	
危機管理課	201	防災安全課	東本郷 1 丁目 5-18	半固定	
危機管理課 F A X	201#5			FAX	
建設課	201#1	建設課		遠隔	
総務課	201#2	統合政策課		遠隔	
産業振興課	201#3	産業振興課		遠隔	
福祉事務所	201#4	福祉事務所		遠隔	
スポーツセンター	300	市民スポーツ センター		敷根 761	半固定
スポーツセンター 遠隔	300#1				遠隔
スポーツセンター F A X	300#5		FAX		
青少年海の家	301	青少年海の家	田牛 217	半固定	
白浜小学校	302	白浜小学校	白浜 1324-1	半固定	
大賀茂小学校	303	大賀茂小学校	大賀茂 1429	半固定	
朝日小学校	304	朝日小学校	吉佐美 544	半固定	
下田消防署	900	下田消防署	6 丁目 1-14	半固定	
下田消防署遠隔	900#1			遠隔	
下田消防署 F A X	900#5			FAX	

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
防災車載 4 0 1	401	防災安全課	東本郷 1 丁目 5-18	車載
司令車載 4 0 2	402	防災安全課		車載
建設車載 4 0 3	403	建設課		車載
建設車載 4 0 4	404	建設課		車載
総務車載 4 0 5	405	総務課		車載
総務車載 4 0 6	406	総務課		車載
総務車載 4 0 7	407	総務課		車載
産業車載 4 0 8	408	産業振興課		車載
産業車載 4 0 9	409	産業振興課		車載
水道車載 4 1 0	410	上下水道課		河内 576
水道車載 4 1 1	411	上下水道課	車載	
消防車載 4 1 2	412			車載
防災携帯 5 0 1	501	防災安全課	東本郷 1 丁目 5-18	携帯
防災携帯 5 0 2	502			携帯
防災携帯 5 0 3	503			携帯
防災携帯 5 0 4	504			携帯
防災携帯 5 0 5	505			携帯
建設携帯 5 0 6	506	建設課		携帯
建設携帯 5 0 7	507			携帯
総務携帯 5 0 8	508	総務課		携帯
総務携帯 5 0 9	509			携帯
総務携帯 5 1 0	510			携帯
産業携帯 5 1 1	511	産業振興課		携帯
産業携帯 5 1 2	512			携帯

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
学教携帯 5 1 3	513	認定こども園	敷根 765-19	携帯
学教携帯 5 1 4	514	下田保育所	4 丁目 5-26	携帯
学教携帯 5 1 5	515	下田幼稚園	1 丁目 17-2	携帯
学教携帯 5 1 6	516	子育て支援センター	敷根 761	携帯
学教携帯 5 1 7	517	学校教育課	4 丁目 6-16	携帯
生涯携帯 5 1 8	518	生涯学習課		携帯
生涯携帯 5 1 9	519			携帯
水道携帯 5 2 0	520	上下水道課	河内 576	携帯
水道携帯 5 2 1	521			携帯
水道携帯 5 2 2	522			携帯
環境携帯 5 2 3	523	環境対策課	敷根 13-11	携帯
環境携帯 5 2 4	524			携帯
すぼせん携帯 5 2 5	525	市民スポーツセンター	敷根 761	携帯
すぼせん携帯 5 2 6	526			携帯
すぼせん携帯 5 2 7	527			携帯
すぼせん携帯 5 2 8	528			携帯
すぼせん携帯 5 2 9	529			携帯

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
携帯530	530	防災安全課	東本郷1丁目5-18	携帯
携帯531	531			携帯
携帯532	532			携帯
携帯533	533			携帯
携帯534	534			携帯
携帯535	535			携帯
携帯536	536			携帯
携帯537	537			携帯
携帯538	538			携帯
携帯539	539			携帯
携帯540	540			携帯
携帯541	541			携帯
携帯542	542			携帯
携帯543	543			携帯
携帯544	544			携帯
携帯545	545			携帯
携帯546	546	携帯		
携帯547	547	携帯		
携帯548	548	市長車	東本郷1丁目5-18	携帯
携帯549	549	下田小	5丁目3-1	携帯
海の家携帯601	601	青少年海の家	田牛217	携帯

局名（常置場所）	呼出番号	配備先	所在地	局の区別
白浜小携帯602	602	白浜小	白浜 1324-1	携帯
大賀茂小携帯603	603	大賀茂小	大賀茂 1429	携帯
朝日小携帯604	604	朝日小	吉佐美 544	携帯
浜崎小携帯605	605	浜崎小	須崎 1785-1	携帯
稲生沢小携帯606	606	稲生沢小	立野 6-1	携帯
稲梓小携帯607	607	稲梓小	椎原 224	携帯
下田東中携帯608	608	下田東中	柿崎 1106	携帯
下田中携帯609	609	下田中	敷根 765-1	携帯
稲生沢中携帯610	610	稲生沢中	河内 101-1	携帯
稲梓中携帯611	611	稲梓中	箕作 350	携帯
基幹集落携帯612	612	基幹集落	椎原 290-1	携帯
山の家携帯613	613	あずさ山の家	須原 1322	携帯
メディカル携帯614	614	メディカルセンター	6丁目 4-10	携帯
消防署携帯615	615	下田消防署	6丁目 1-14	携帯
携帯616	616	防災安全課	東本郷 1丁目 5-18	携帯
携帯617	617			携帯
携帯618	618			携帯
携帯619	619			携帯
携帯620	620			携帯

## 下田市同時通報用無線・静岡県防災行政無線一覧表

無線種類	同時通報無線	同時通報無線	同時通報無線	静岡県防災行政無線
免許人	下田市	下田市	下田市	静岡県
無線局の別	固定局	固定局	固定局	固定局
無線局の目的	防災行政用	防災行政用	防災行政用	防災行政用
運用許容時	常時	常時	常時	常時
免許の番号	海第40701号	海第82259号	海第82726号	海第82186号
免許の番号年月日	H29.12.01	H29.12.01	H29.12.01	H29.12.01
免許の有効期間	R4.11.30	R4.11.30	R4.11.30	R4.11.30
通信の相手方	免許人所属の「しもだぶざん」及び「しもだたかね」固定局	免許人所属の「広報下田」「長田再送信」「相玉再送信」「北湯ヶ野再送信」須原再送信」「落合再送信」「上大沢再送信」固定局、同報系子局用固定局及び受信設備	免許人所属の「こうほうしもだ」「こうほうしもだしきね」固定局及び「同報系子局用」固定局並びに「受信設備」	免許人所属の防災相ノ山固定局
通信事項	防災行政事務に関する事項	防災行政事務に関する事項	防災行政事務に関する事項	防災行政事務に関する事項
識別信号	こうほうしもだ	しもだぶざん	しもだたかね	ぼうさいしもだし
電波の型式	16K0 F2D F3E 7K10 G1D G1E	F2D・周波数57.26MHz ・空中線電力0.1W「こうほうしもだ」向け 16K0 F2D F3E・周波数68.865MHz・空中線電力5W受信設備向け 7K10 G1D G1E・周波数62.70125MHz・空中線電力0.1W「こうほうしもだ」向け 7K10 G1D G1E・周波数55.17125MHz・空中線電力2W再送信局、同報系子局用固定局及び受信設備向け	F2D・周波数57.26MHz・空中線電力0.1W「こうほうしもだ」及び「こうほうしもだしきね」向け 16K0 F2D F3E・周波数69.765MHz・空中線電力5W「受信設備」及び「子局」向け	24K3 G1C G1D G1E  263.4625MHz 263.8625MHz
周波数	57.26MHz 62.70125MHz			
空中線電力	「しもだぶざん」方向0.1W 「しもだたかね」方向0.1W			0.1W
送受信所及び通信所	送受信所 敷根公園管理棟内 下田市敷根757 通信所 下田市役所内 下田市東本郷1-5-18	無線設備の設置場所 下田市武山無線中継所内 下田市柿崎字武山1278	無線設備の設置場所 下田市高根山中継所 下田市河内字高根山1373-2	下田市役所構内 下田市東本郷1-5-18

# 行政無線配備車一覧表

(令和3年3月31日)

No.	管理課	車名	所管	ナンバー	デジタル 呼出無線	定員
1	防災安全課	ニッサン ウイングロード		伊豆 500 そ 5439	401	5
2	防災安全課	マツダ タイタンダッシュ		伊豆 100 さ 929		5
3	上下水道課	ダイハツ ミラ	軽	伊豆 580 う 7966		4
4	福祉事務所	スズキ ワゴンR		伊豆 500 そ 932		5
5	総務課	マツダ ボンゴ		伊豆 400 さ 2903	405	5
6	上下水道課	スズキ アルト	軽	伊豆 580 す 2854		4
7	市民保健課	ダイハツ ハイゼットカーゴ	軽	伊豆 480 い 9828		4
8	上下水道課	ニッサン ウイングロード		伊豆 500 さ 1086	410	5
9	上下水道課	ニッサン アトラス		伊豆 400 す 13		3
10	総務課	ホンダ フィット		伊豆 500 そ 1492	406	5
11	観光交流課	マツダ ボンゴ		伊豆 400 さ 3678		6
12	市民保健課	ニッサン ADエキスパート		伊豆 400 さ 4457		5
13	産業振興課	ダイハツ ハイゼット	軽	伊豆 480 あ 505	409	4
14	生涯学習課 (市民文化会館)	トヨタ ライトエースバン		伊豆 400 さ 168		5
15	税務課	三菱 パジェロミニ	軽	伊豆 580 か 1812		4
16	上下水道課	ニッサン バネットトラック		伊豆 400 さ 3703	411	3
17	建設課	トヨタ RAV4		伊豆 300 せ 9361	404	5
18	産業振興課	トヨタ プロボックス		伊豆 400 さ 5176	408	5
19	建設課	ホンダ パートナー		伊豆 400 さ 3701	403	5
20	生涯学習課	ニッサン バネット		伊豆 400 さ 7137		5
21	上下水道課	ホンダ アクティトラック	軽	伊豆 480 あ 481		4
22	建設課	ダイハツ ハイゼットトラック	軽	伊豆 480 え 9998		2
23	防災安全課 (消防団)	ニッサン セレナ		伊豆 800 さ 1299	402	7
24	総務課	ホンダ アクティバン		伊豆 480 い 6671	407	4

## 緊急通行車両一覧表

所 属	車 名	ナンバー	乗車 定員	総重量 ( t )	免許区分 (法改正後)
総 務 課	トヨタ プリウス	伊豆 300 つ 2797	4人	1.750	普通
	ホンダ オデッセイ	伊豆 300 ち 7605	7人	2.265	普通
	ニッサン セレナ	伊豆 500 ち 8087	8人	2.100	普通
	トヨタ プリウス	伊豆 300 た 4763	5人	1.625	普通
	日野 リエッセ	伊豆 200 さ 336	28人	5.420	準中型
	ホンダ ライフ	伊豆 580 え 9873	4人	1.030	普通
	ホンダ フィット	伊豆 500 そ 1492	5人	1.345	普通
	ホンダ アクティバン	伊豆 480 い 6671	4人	1.400	普通
	ホンダ アクティトラック	沼津 040 ふ 5004	2人	1.190	普通
	マツダ ボンゴ	伊豆 400 さ 2903	6人	1.780	普通
総 務 課 (施設管理)	ニッサン クリッパートラック	伊豆 480 あ 8170	2人	1.240	普通
	スズキ キャリイ	伊豆 480 い 1698	2人	1.330	普通
	スバル サンバートラック	伊豆 480 い 1759	2人	1.260	普通
	ホンダ アクティトラック	伊豆 480 い 2566	2人	1.480	普通
	ホンダ デイオ	下田市 あ 1255			普通 (原付)
税 務 課	スズキ エブリイ	伊豆 480 え 6399	4人	1.310	普通
	三菱 バジェロミニ	伊豆 580 か 1812	4人	1.190	普通
	スズキ エブリイ	伊豆 480 え 9599	4人	1.330	普通
	ホンダ デイオ	下田市 あ 1253			普通 (原付)
	ホンダ デイオ	下田市 あ 4101			普通 (原付)
防 災 安 全 課	ニッサン ウイングロード	伊豆 500 そ 5439	5人	1.565	普通
	マツダ タイタンダッシュ	伊豆 100 さ 929	3人	3.195	普通
	ニッサン セレナ	伊豆 800 さ 1299	8人	2.200	普通
産 業 振 興 課	ダイハツ ハイゼット	伊豆 480 か 96	4人	1.410	普通
	トヨタ プロボックス	伊豆 400 さ 5176	5人	1.565	普通
観 光 交 流 課	マツダ ボンゴ	伊豆 400 さ 3678	6人	2.265	普通
建 設 課	スズキ キャリイ	伊豆 480 え 4474	2人	1.300	普通
	トヨタ RAV4	伊豆 300 せ 9361	5人	1.700	普通
	ホンダ パートナー	伊豆 400 さ 3701	5人	1.660	普通
	ホンダ パートナー	伊豆 400 さ 172	5人	1.620	普通
	スズキ キャリイ	伊豆 480 え 4151	2人	1.390	普通
	トヨタ プリウス	伊豆 300 せ 174	5人	1.635	普通
	ダイハツ ハイゼットトラック	伊豆 480 え 9998	2人	1.380	普通
市 民 保 健 課	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆 480 い 9828	4人	1.340	普通
	ニッサン ADエキスパート	伊豆 400 さ 4457	5人	1.545	普通
	ホンダ ライフ	伊豆 580 う 8824	4人	1.030	普通
	スバル プレオ	伊豆 480 あ 3041	4人	1.131	普通
	ホンダ アクティバン	伊豆 480 い 5929	4人	1.410	普通

所 属	車 名	ナンバー	乗車 定員	総重量 (t)	免許区分 (法改正後)
福 祉 事 務 所	ニッサン ウイングロード	伊豆 500 た 2730	5人	1.455	普通
	ダイハツ タント	伊豆 580 あ 7698	4人	1.150	普通
	スズキ ワゴンR	伊豆 500 そ 932	5人	1.245	普通
	スズキ アルト	伊豆 580 す 9824	4人	0.870	普通
	ホンダ トゥデイ	下田市 あ 4637			普通 (原付)
環 境 対 策 課	三菱 キャンター	伊豆 800 さ 997	3人	6.105	準中型
	三菱 キャンター	伊豆 800 さ 1074	3人	6.075	準中型
	三菱 キャンター	伊豆 800 さ 356	3人	5.765	準中型
	日野 デュトロ	伊豆 100 さ 2387	3人	5.225	準中型
	三菱 キャンター	沼津 044 ゆ 8434	3人	4.755	準中型 (5.0限定)
	コマツ ホイールローダ	下田市 の 425			普通
	キャタピラー ホイールローダ	伊豆 000 る 11	1人	6.435	大型特殊 (技能講習)
	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆 480 う 136	4人	1.350	普通
	スズキ キャリィ	沼津 040 ゆ 9963	2人	1.370	普通
上 下 水 道 課	ニッサン ウイングロード	伊豆 500 さ 1086	5人	1.455	普通
	ニッサン バネットトラック	伊豆 400 さ 3703	3人	2.535	普通
	ダイハツ ミラ	伊豆 580 う 7966	4人	1.020	普通
	スズキ キャリィ	伊豆 480 か 3384	2人	1.190	普通
	スズキ エブリィ	伊豆 480 か 3051	4人	1.400	普通
	ホンダ アクティトラック	伊豆 480 あ 481	2人	1.320	普通
	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆 480 い 9880	4人	1.330	普通
	スズキ エブリィ	伊豆 480 う 8392	4人	1.350	普通
	ホンダ アクティバン	伊豆 480 い 9874	4人	1.400	普通
	ニッサン バネットトラック	伊豆 400 さ 175	3人	2.495	普通
	スズキ アルト	伊豆 580 す 2854	4人	0.840	普通
学 校 教 育 課	マツダ プレマシー	伊豆 300 た 1914	7人	1.875	普通
	ダイハツ ハイゼットカーゴ	伊豆 480 う 9288	4人	1.350	普通
	トヨタ コースター	伊豆 200 さ 236	29人	4.745	準中型 (5.0限定)
	トヨタ コースター	伊豆 200 さ 235	29人	4.745	準中型 (5.0限定)
	いすゞ エルフ	伊豆 100 さ 2219	3人	5.255	準中型
	いすゞ エルフ	伊豆 100 さ 2220	3人	5.255	準中型
	いすゞ エルフ	伊豆 100 さ 2221	3人	5.255	準中型
	ダイハツ ハイゼット	伊豆 480 え 6209	2人	1.370	普通
生 涯 学 習 課	ニッサン バネット	伊豆 400 さ 7137	5人	1.250	普通
	トヨタ ライトエースバン	伊豆 400 さ 168	6人	2.155	普通
	ホンダ スーパーカブ	下田市 ろ 441			普通 (原付)

# 下田市同時通報用無線子局設置場所一覧表

(令和3年3月31日)

管理番号	地区名称	子局名称	設置場所 (地番)	備 考
1	白 浜 地 区	板戸1	白浜110-1	
2		板戸2	白浜字砥川199-2	
3		板戸3	白浜295-2地先	
4		長田1	白浜字長田1064-1	
5		長田2	白浜1290-1	
6		長田3	白浜1547-5	
7		原田1	白浜字神明1542-1	
8		原田2	白浜字宮前1779-1	
9		原田3	白浜字大浜2732-7	
10		原田4	白浜2760-1	
11		原田5	白浜2349-12地先	
12		原田6	白浜字山口2041-5	
13	柿 崎 地 区	外浦1	柿崎699-1地先	
14		柿崎1	柿崎字田代306-1	
15		柿崎2	柿崎字間戸ヶ浜1271-1	
16		柿崎3	柿崎164-3地先	
17		柿崎4	柿崎721-13	
18		須崎1	須崎字川上738-3	
19		須崎2	須崎字坂条1513-4	
20		須崎3	須崎1478-1	
21		須崎4	須崎1799-1	
22		須崎5	須崎字尾竹52-4	
23		須崎6	須崎字池ノ段1237-1	
24		須崎7	須崎1785-2	
25		須崎8	須崎字田之浦1247-9	
26		須崎9	須崎字椎ノ久保1075-1	
27	須崎10	須崎字原181-2		
28	稲 生 沢 地 区	東本郷1	中字和田542-2	
29		東本郷2	中字丸山809	
30		東本郷3	東本郷2丁目5番地	
31		西本郷1	西本郷2丁目8番地	
32		西本郷2	敷根840-1	
33		東中1	東中14番地	
34		高馬1	高馬77-1	
35		立野1	立野364番地	
36		蓮台寺1	蓮台寺152	
37		蓮台寺2	蓮台寺字堀之内525-9	
38		蓮台寺3	大沢字鶴居1-1	
39		上大沢1	大沢87-6地先	
40		上大沢2	大沢224-1地先	
41		上大沢3	大沢字石田340	
42		上大沢4	大沢27-6	
43		上大沢5	大沢297-2	
44		下大沢1	大沢字福入773-1	
45		下大沢2	大沢836-3	
46	河内1	河内755-2		

管理番号	地区名称	子局名称	設置場所 (地番)	備 考
47	稲生沢地区	河内2	河内524-2	
48		河内3	河内827-3	
49		河内4	河内549-4	
50	旧下田地区	武ノ浜1	武ノ浜1179-16	
51		二丁目2	四丁目22-2	
52		三丁目1	三丁目1174-7	
53		五丁目1	五丁目237-2	
54		五丁目2	五丁目182-1地先	
55		六丁目1	六丁目366-1	
56		六丁目2	六丁目394-5	
57		六丁目3	六丁目468-1	
58		六丁目4	六丁目748-9	
59		六丁目5	旧岡方村字白岩山696-142	
60		六丁目6	六丁目26-番20号	
61		敷根1	敷根758	
62	朝日地区	吉佐美1	吉佐美字多々戸58-6	
63		吉佐美2	吉佐美74-1	
64		吉佐美3	吉佐美2166-1	
65		吉佐美4	吉佐美527	
66		吉佐美5	吉佐美字浜条1731	
67		吉佐美6	吉佐美893-1	
68		吉佐美7	吉佐美1435地先	
69		吉佐美8	吉佐美字喜背谷1900-26	
70		吉佐美9	吉佐美字釜ノ脇348-75	
71		吉佐美10	吉佐美1900-30	
72		吉佐美11	吉佐美1530-2	
73		吉佐美12	吉佐美1908	
74		吉佐美13	吉佐美1494-1	
75		吉佐美14	吉佐美字水越428-1	
76		田牛1	田牛543-5地先	
77	田牛2	吉佐美字垂相2750-83		
78	稲生沢地区	河内5	河内103-1	
79		西本郷3	西本郷一丁目1-2	
80	朝日地区	大賀茂1	大賀茂字林山92-1	
81		大賀茂2	吉佐美2407-4	
82		大賀茂3	大賀茂字大川田1306-2	
83		大賀茂4	大賀茂389-2	
84		大賀茂5	大賀茂字歛木593	
85		大賀茂6	大賀茂字壩々原811-6	
86		大賀茂7	大賀茂字弁天1512-1	
87		大賀茂8	吉佐美字万千山2357-1	
88		大賀茂9	大賀茂字小豆山1227-2	
89		大賀茂10	吉佐美字平石谷2355-20	
90		大賀茂11	大賀茂字柳沢1090	
91	稲梓地区	落合1	落合65-1	
92		落合2	落合36-8	
93		落合3	落合字尾口455-2	
94		落合4	落合151地先	
95		箕作1	箕作字三森765-3	

管理番号	地区名称	子局名称	設置場所 (地番)	備 考
96	稲 梓 地 区	箕作2	箕作字横屋680-2	
97		椎原1	相玉569-4	
98		椎原2	椎原字上の山199-5	
99		相玉1	相玉字藤麓288-3	
100		相玉2	北湯ヶ野1240	
101		横川1	北湯ヶ野字野田777-25	
102		横川2	横川657地先	
103		横川3	横川字山口9	
104		横川4	横川字宮ノ前1067-5	
105		加増野1	加増野字平旨48-1	
106		加増野2	加増野189-6	
107		加増野3	加増野字細入251-3	
108		加増野4	加増野字後山408-4	
109		北湯ヶ野1	北湯ヶ野字立間口563-9	
110		北湯ヶ野2	北湯ヶ野字小文423-2	
111		北湯ヶ野3	北湯ヶ野字小橋1353	
112		北湯ヶ野4	北湯ヶ野718-1	
113		北湯ヶ野5	北湯ヶ野字尾イ平段737-2	
114		北湯ヶ野6	北湯ヶ野字尾イ平段737-12	
115		宇土金1	椎原字論手284-2	
116		宇土金2	宇土金236-3	
117		宇土金3	宇土金字城換64-1	
118		須原1	須原字茅原野3542	
119		須原2	須原字小河原1091-1	
120		須原3	須原字長通903-1	
121	須原4	須原349-5		
122	須原5	須原字原1364-1		
123	須原6	須原字須郷口1452-1		
124	須原7	須原字カイト1587-1		
125	須原8	須原字入谷1786-1		
126	旧 下 田 地 区	三丁目2	三丁目1174-18	
127		六丁目7	六丁目4-10	

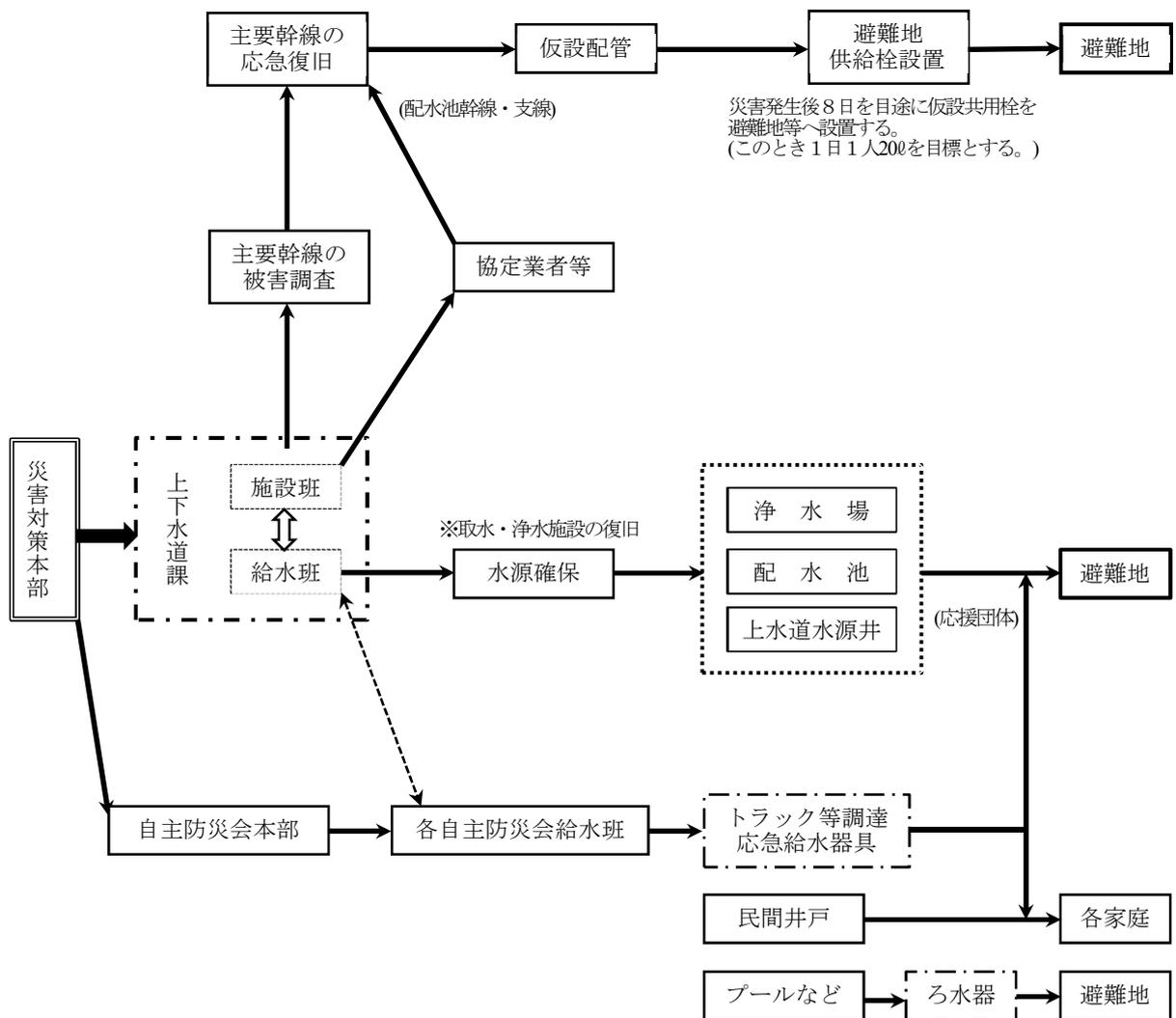
## 避難地応急給水計画

避難地	名 称	設置基数	対象自治会
下 田 小 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	旧下田
下 田 中 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	旧下田
稲 生 沢 小 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	稲生沢
稲 生 沢 中 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	稲生沢
稲 梓 小 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	稲 梓
稲 梓 中 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	稲 梓
朝 日 小 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	吉佐美
下 田 東 中 学 校	設置タンク 2 t 給水	2	柿崎・外浦
白 浜 小 学 校	設置タンク 2 t 給水	2	白 浜
大 賀 茂 小 学 校	設置タンク 2 t 給水	1	大賀茂
敷 根 公 園	プール 1,300 t ろ水機	6	本 郷
青 少 年 海 の 家	給 水	—	田 牛

## 上下水道課 災害等における応急対策(復旧準備)及び復旧活動

班 別	応急対策 (復旧準備)	応急復旧活動
施設班 (情報担当)	被害状況の把握及び情報の収集 本部との協議及び他班との調整	被害状況の整理及び記録 本部への随時報告及び連絡調整
施設班 (調査担当)	待機人員の確認及び応援要請 協定団体等の応援団体への要請 復旧計画の策定	待機人員の確保及び物資の調達 応援団体の調整 復旧活動に伴う広報
施設班 (上水復旧担当)	水源の確保及び水質の保全措置 配水池の貯水量の確認及び確保 滅菌装置等の点検 自家発電装置の点検試動 作業機器の点検 作業車両の配備、無線機点検 復旧資材・器材の確認 貯蔵品の出庫準備 復旧計画の確認	取水、導水、浄水施設の保全及び復旧 送水管の復旧 配水連絡管の布設 仮設配水管の布設 共同栓の設置 応援団体への指示 漏水対策と二次災害防止対策 配水管の修理 破損メーターの交換
施設班 (下水復旧担当)	管路施設 緊急点検 汚水溢水箇所調査 管路調査 処理施設 緊急点検 汚水溢水箇所調査 処理機能調査 復旧資機材の確認 復旧計画の確認	人的被害につながる二次災害防止対策 仮設ポンプ、仮設配管、汚泥吸引車の設置 仮設ポンプ、仮設配管、汚泥吸引車の設置  危険物(塩素ガス等)漏洩の二次災害防止対策 仮設ポンプ、仮設配管の設置 最低限の消毒機能等の確保 復旧資機材の調達 応急復旧工事の実施
給水班	応急給水計画の策定 応急給水班組織表の作成 飲料水供給リストの作成 浄水器・給水パック等の点検 給水用運搬車両の借上げ手配 自主防災会給水班等への応援要請	給水状況の把握、整理及び記録 給水場所(配水池等)の確保及び管理 被害地区(避難地等)への応急給水開設 応急給水の広報及び配給場所の管理 応急飲料水の調達及び配給 破損メーターの把握

# 応急給水活動フローチャート





# 下水道施設一覧表

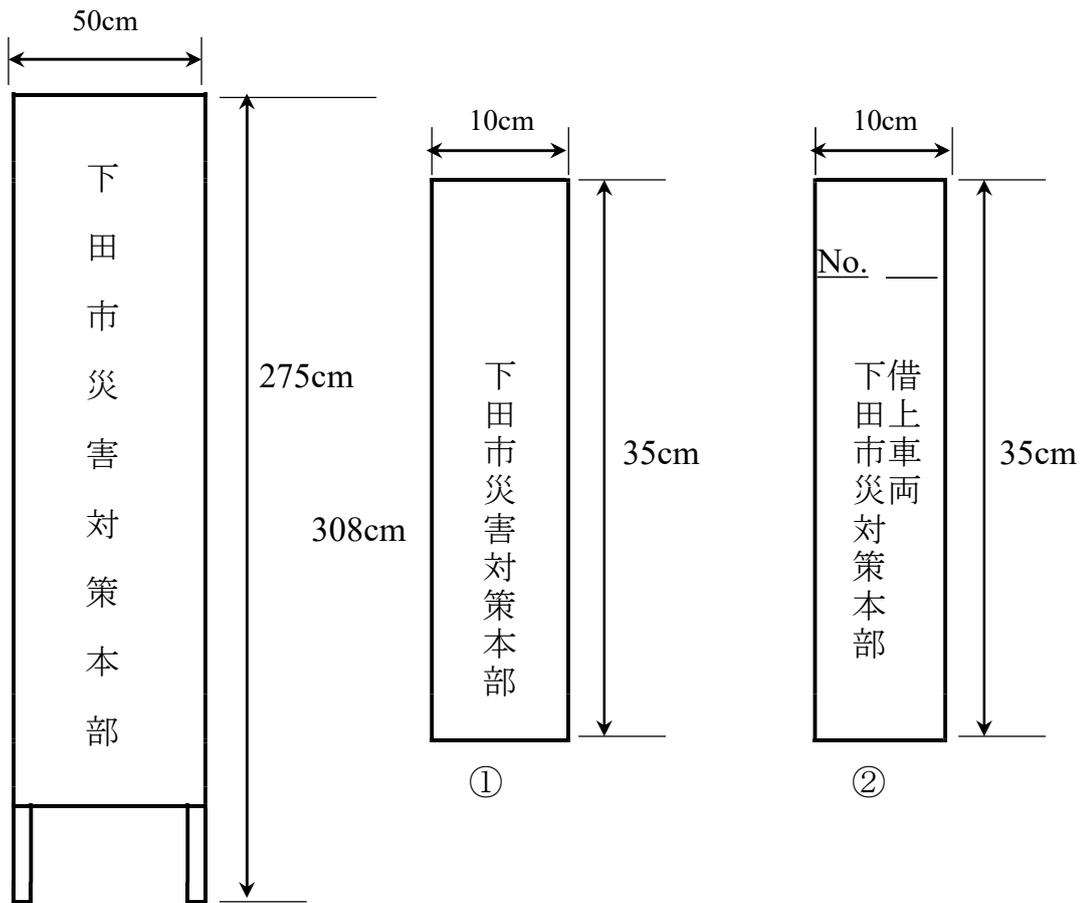
令和3年3月31日

種 別	施設種別	施設名称	現有能力	備 考
下田市公共下水道	処 理 施 設	下田浄化センター	処理能力 8,750m <sup>3</sup> /日	自家発電機設備 燃料：ディーゼル 容量：250kVA 電圧：420V 台数：1台 タンク容量：1,100L 推定運転可能時間： 約34時間
	ポンプ施設	武ガ浜ポンプ場	ポンプ能力 φ200mm×4.0m <sup>3</sup> /分 ×2台 φ300mm×8.0m <sup>3</sup> /分 ×1台	自家発電機設備 燃料：ディーゼル 容量：300kVA 電圧：420V 台数：1台 タンク容量：1,950L 推定運転可能時間： 約175時間
		柿崎ポンプ場	ポンプ能力 φ100mm×0.9m <sup>3</sup> /分 ×3台	自家発電機設備 燃料：ディーゼル 容量：55kVA 電圧：210V 台数：1台 タンク容量：200L 推定運転可能時間： 約20時間
		須崎ポンプ場	ポンプ能力 φ100mm×0.6m <sup>3</sup> /分 ×2段×2台	自家発電機設備 燃料：ディーゼル 容量：100kVA 電圧：420V 台数：1台 タンク容量：390L 推定運転可能時間： 約65時間
	管路施設 (マンホールポンプ)	高馬 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.24m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		大坂 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.24m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		大浦 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.92m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		上の山 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.47m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		赤間 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.66m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		東中 マンホールポンプ	ポンプ能力 1.72m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		外浦第1 マンホールポンプ	ポンプ能力 1.08m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		外浦第2 マンホールポンプ	ポンプ能力 1.22m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		外浦第3 マンホールポンプ	ポンプ能力 1.56m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
		外浦第4 マンホールポンプ	ポンプ能力 1.56m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備
広岡 マンホールポンプ		ポンプ能力 0.28m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備	
岩下 マンホールポンプ	ポンプ能力 0.30m <sup>3</sup> /分×2台	1台予備		

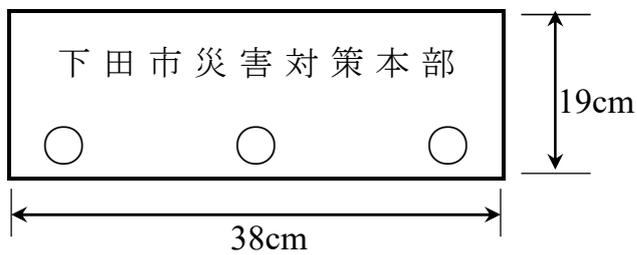
種 別	施設種別	施設名称	現有能力	備 考
下田市公共下水道	仮 設 ポ ン プ	下田浄化センター	ポンプ能力 φ 50 mm × 0.75 kW × 0.08m <sup>3</sup> /分 × 2 台	発電機 容量：4kVA以上 台数：1 台
		武ガ浜ポンプ場	ポンプ能力 φ 80 mm × 5.5 kW × 0.37m <sup>3</sup> /分 × 6 台	発電機 容量：34kVA以上 台数：1 台
		柿崎ポンプ場	ポンプ能力 φ 50 mm × 1.5 kW × 0.12m <sup>3</sup> /分 × 2 台	発電機 容量：7kVA以上 台数：1 台
		須崎ポンプ場	ポンプ能力 φ 50 mm × 2.2 kW × 0.07m <sup>3</sup> /分 × 4 台 (2段揚水)	発電機 容量：10kVA以上 台数：1 台

本部の掲示板

標章



腕章



区分

- ・腕章の色は黄色、字は黒色とする
- ・①は市が保有する車両に添付する。  
②は①以外の車両に添付する。

# 水防信号及び標識

## 1 水防信号

法第20条の規定による水防信号（昭和31年静岡県規則第75号）は、次のとおりである。

種類	説明	警鐘信号	サイレン信号		
第1信号	はん濫注意水位（警戒水位）に達したことを知らせるもの	○	約5秒 ○— 約15秒 休止	約15秒 休止 約5秒 ○—	約5秒 ○— 約15秒 休止
第2信号	水防団員及び消防機関に属する者の全員が出動すべきことを知らせるもの	○—○—○	約5秒 ○— 約6秒 休止	約6秒 休止 約5秒 ○—	約5秒 ○— 約6秒 休止
第3信号	当該水防管理団体の区域内に居住するものが出動すべきことを知らせるもの	○—○—○—○	約10秒 ○— 約5秒 休止	約5秒 休止 約10秒 ○—	約10秒 ○— 約5秒 休止
第4信号	当該水防管理団体の区域内居住者の避難のため立退くべきことを知らせるもの	乱 打	約1分 ○— 約5秒 休止	約5秒 休止	約1分 ○—

- 注意 1. 信号は適当な時間継続すること。  
 2. 必要があるときは、警鐘、サイレン信号を併用する。  
 3. 危険が去ったときは、口答伝達により周知させるものとする。

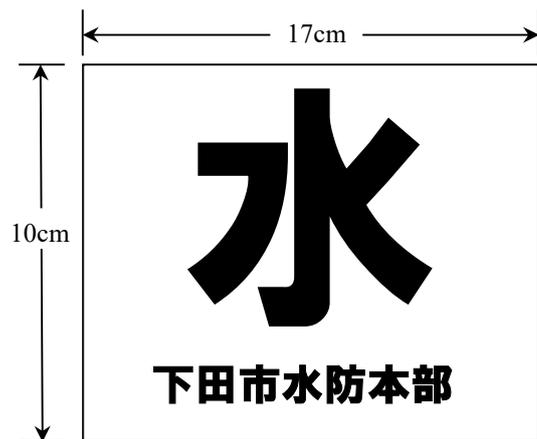
## 2 水防優先標識

法第18条による水防優先通行車馬標識（昭和31年静岡県告示第939号）は、次のとおりである。

### (1) 車馬標識



(2) 腕章



水は赤色

生地は白色

(3) 標燈形状適宜



水は赤色

生地は白色

# 災害救助法適用基準

(災害救助法施行令抜萃)

- ① 当該市町村（特別区を含む。以下同じ。）の区域（地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市にあっては、当該市の区域又は当該市の区若しくは総合区の区域とする。以下同じ。）内の人口に応じ、それぞれ別表第1に定める数以上の世帯の住家が滅失したこと。（注：50世帯）
  - ② 当該市町村の区域を包括する都道府県の区域内において、当該都道府県の区域内の人口に応じ、それぞれ別表第2に定める数以上の世帯（注：2,500世帯）の住家が滅失した場合であって、当該市町村の区域内の人口に応じ、それぞれ別表第3に定める数以上の世帯（注：25世帯）の住家が滅失したこと。
  - ③ 当該市町村の区域を包括する都道府県の区域内において、当該都道府県の区域内の人口に応じ、それぞれ別表第4に定める数以上の世帯（注：12,000世帯）の住家が滅失したこと又は当該災害が隔絶した地域に発生したものである等被災者の救護を著しく困難とする内閣府令で定める特別の事情がある場合であって、多数の世帯の住家が滅失したこと。
  - ④ 多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じた場合であって、内閣府令で定める基準に該当すること。
- 2 前項第1号から第3号までに規定する住家が滅失した世帯の数の算定に当っては、住家が半壊し又は半焼する等著しく損傷した世帯は2世帯をもって、住家が床上浸水、土砂のたい積等により一時的に居住することができない状態となった世帯は3世帯をもって、それぞれ住家が滅失した1の世帯とみなす。

(令別表第1)

市町村の区域内の人口				住家が滅失した世帯の数	
5,000	人未満			30	世帯
5,000	人以上	15,000	人未満	40	〃
15,000	〃	30,000	〃	50	〃
30,000	〃	50,000	〃	60	〃
50,000	〃	100,000	〃	80	〃
100,000	〃	300,000	〃	100	〃
300,000	〃			150	〃

(令別表第2)

都道府県の区域内の人口				住家が滅失した世帯の数	
1,000,000	人未満			1,000	世帯
1,000,000	人以上	2,000,000	人未満	1,500	〃
2,000,000	〃	3,000,000	〃	2,000	〃
3,000,000	〃			2,500	〃

(令別表第3)

市町村の区域内の人口				住家が滅失した世帯の数	
5,000	人未満			15	世帯
5,000	人以上	15,000	人未満	20	〃
15,000	〃	30,000	〃	25	〃
30,000	〃	50,000	〃	30	〃
50,000	〃	100,000	〃	40	〃
100,000	〃	300,000	〃	50	〃
300,000	〃			75	〃

(令別表第4)

都道府県の区域内の人口				住家が滅失した世帯の数	
1,000,000	人未満			5,000	世帯
1,000,000	人以上	2,000,000	人未満	7,000	〃
2,000,000	〃	3,000,000	〃	9,000	〃
3,000,000	〃			12,000	〃

# 被害程度の認定基準

## 1 人的被害

- ① 「死者」とは、当該災害が原因で死亡し、死体を確認したものまたは死体は確認できないが、死亡したことが確実な者とする。
- ② 「行方不明者」とは、当該災害が原因で所在不明となり、かつ、死亡の疑いのある者とする。
- ③ 「重症者」とは、当該災害により負傷し、医師の治療を受け、または受ける必要のある者のうち1月以上の治療を要する見込みのものとする。
- ④ 「軽傷者」とは、当該災害により負傷し、医師の治療を受け、または受ける必要のある者のうち1月未満で治療できる見込みのものとする。

## 2 住家被害

- ① 「住家」とは、現実に居住のため使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかどうかを問わない。
- ② 「全壊」とは、住家が滅失したもので、具体的には住家の損壊、もしくは流失した部分の床面積が、その住家の延べ面積の70%以上に達したものの、または住家の主要構造部の被害額が、その住家の時価の50%以上に達した程度のものとする。
- ③ 「半壊」とは、住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに使用できるもので、具体的には損壊部分が、その住家の延べ面積の20%以上70%未満のもの、または住家の主要構造部の被害額がその住家の時価の20%以上50%未満のものとする。
- ④ 「一部破損」とは、全壊および半壊にいたらない程度の住家の破損で、補修を必要とする程度のものとする。ただし、ガラスが数枚破損した程度のごく小さなものは除く。
- ⑤ 「床上浸水」とは、住家の床より上に浸水したものと及び全壊・半壊には該当しないが、土砂竹木のたい積により一時的に居住することができないものとする。
- ⑥ 「床下浸水」とは、床上浸水に至らない程度に浸水したものとする。

## 3 非住家被害

- ① 「非住家」とは、住家以外の建物でこの報告中他の被害箇所項目に属さないものとする。これらの施設に人が居住しているときは、当該部分は住家とする。
- ② 「公共建物」とは、例えば役場庁舎、公民館、公立保育所等の公用または公共の用に供する建物とする。
- ③ 「その他」とは、公共建物以外の倉庫、土蔵、車庫等の建物とする。
- ④ 非住家被害は、全壊または半壊の被害を受けたもののみを記入するものとする。

## 4 その他

- ① 「田の流失、埋没」とは、田の耕土が流失し、または砂利等のたい積のため、耕作が不能になったものとする。
- ② 「田の冠水」とは、稲の先端が見えなくなる程度に水につかったものとする。
- ③ 「畑の流失、埋没」及び「畑の冠水」については、田の例に準じて取り扱うものとする。
- ④ 「文教施設」とは、小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校及び幼稚園における教育の用に供する施設とする。
- ⑤ 「道路」とは、道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路のうち、橋りょうを除いたものとする。
- ⑥ 「橋りょう」とは、道路を連結するために河川、運河等の上に架設された橋とする。
- ⑦ 「河川」とは、河川法が適用（昭和39年法律第167号）され、もしくは準用される河川もしくはその他の河川、またはこれらのものの維持管理上必要な堤防、護岸、水利、床止その他の施設もしくは沿岸を保全するために防護することを必要とする河岸とする。
- ⑧ 「港湾」とは、港湾法（昭和25年法律第218号）第2条第5項に規定する水域施設、外かく施設、けい留施設、または港湾の利用および管理上重要な臨港交通施設とする。

- ⑨ 「砂防」とは、砂防法（明治30年法律第29号）第1条に規定する砂防施設、同法第3条の規定によって同法が準用される砂防のための施設または同法第3条の2の規定によって同法が準用される天然の河岸とする。
- ⑩ 「清掃施設」とは、ごみ処理およびし尿処理施設とする。
- ⑪ 「鉄道不通」とは、汽車、電車等の運行が不能となった程度の被害とする。
- ⑫ 「被害船舶」とは、ろかいのみをもって運転する舟以外の舟で、船体が没し、航行不能になったもの及び流失し、所在が不明になったもの並びに修理しなければ航行できない程度の被害を受けたものとする。
- ⑬ 「電話」とは、災害により通信不能となった電話の回線数とする。
- ⑭ 「電気」とは、災害により停電した戸数のうち最も多く停電した時点における戸数とする。
- ⑮ 「水道」とは、上水道又は簡易水道で断水している戸数のうち最も多く断水した時点における戸数とする。
- ⑯ 「ガス」とは、一般ガス事業又は簡易ガス事業で供給停止となっている戸数のうち最も多く供給停止となった時点における戸数とする。
- ⑰ 「ブロック塀」とは、倒壊したブロック塀又は石塀の箇所数とする。
- ⑱ 「り災世帯」とは、災害により全壊、半壊及び床上浸水の被害を受け通常の生活を維持できなくなった生計を一にしている世帯とする。  
例えば寄宿舎、下宿その他これに類する施設に宿泊するもので共同生活を営んでいるものについては、これを一世帯として扱い、また同一家屋の親子、夫婦であっても、生活が別であれば分けて扱うものとする。
- ⑲ 「り災者」とは、り災世帯の構成員とする。

## 5 火災発生

火災発生件数については、地震又は火山噴火の場合のみ報告するものであること。

## 6 被害金額

被害金額について、県行政センターは、県庁内各課が報告する次の施設等被害以外のものを計上する。

- ① 「公立文教施設」とは、公立の文教施設とする。
- ② 「農林水産業施設」とは、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（昭和25年法律第169号）による補助対象とする施設をいい、具体的には、農地、農業用施設、林業用施設、漁港施設及び共同利用施設とする。
- ③ 「公共土木施設」とは、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）による国庫負担の対象となる施設をいい、具体的には、河川、海岸、砂防施設、林地荒廃防止施設、道路、港湾及び漁港とする。
- ④ 「その他の公共施設」とは、公立文教施設、農林水産業施設及び公共土木施設以外の公共施設をいい、例えば庁舎、公民館、児童館、都市施設等の公用または公共の用に供する施設とする。
- ⑤ 公立文教施設、農林水産業施設、公共土木施設及びその他の公共施設については査定済額を記入し、未査定額（被害見込額）はカッコ外書きするものとする。
- ⑥ 「公共施設被害市町村」とは、公立文教施設、農林水産業施設、公共土木施設及びその他の公共施設の被害を受けた市町村とする。
- ⑦ 「農産被害」とは、農林水産業施設以外の農産被害をいい、例えばビニールハウス、農作物等の被害とする。
- ⑧ 「林産被害」とは、農林水産業施設以外の林産被害をいい、例えば立木、苗木等の被害とする。
- ⑨ 「畜産被害」とは、農林水産業施設以外の畜産被害をいい、例えば家畜、畜舎等の被害とする。
- ⑩ 「水産被害」とは、農林水産業施設以外の水産被害をいい、例えば、のり、漁具、漁船等の被害とする。

- ⑩ 「商工被害」とは、建物以外の商工被害で、例えば工業原材料、商品、生産機械器具等とする。

## 7 その他

消防機関の活動状況の報告に当たっては、被害が発生し防災活動に従事した者で、待機は含まない。

報告は、消防職員・消防団員別とし、使用した機材と主な活動内容を報告する。

なお、正確な員数が早急には握ることが困難な場合は、当初は概算でも差し支えない。

(消防庁「災害報告取扱要領」から抜粋)

## 被害程度の認定基準

被害区分	認定基準
死者	1 当該災害が原因で死亡、死体を確認したもの 2 死体を確認することができないが、死亡したことが確実なもの
行方不明	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるもの
重傷	1ヶ月以上の治療を要する見込みの負傷
軽傷	1ヶ月未満で治癒できる見込みの負傷
滅失 全壊 全焼 流失	住家その居住のための基本的機能を喪失したもの ・住家全部が倒壊、流出、埋没、焼失したもの ・住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもの  {被害面積方式} → 損失部分の床面積がその住家の延床面積の70%以上に達した程度のもの  {損害割合による方式} → 主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上のもの
半壊 半焼	・住家その居住のための基本的機能の一部を喪失したもの（住家の損壊が甚だしいが補修すれば元通りに再使用できる程度のもの） ・損失部分がその住家の延床面積の20%以上70%未満のもの ・住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が20%以上50%未満のもの
床上浸水	浸水がその住家の床上以上に達したか、土砂・竹木の堆積により一時的に居住することができない状態となったもの
床下浸水	浸水がその住家の床上以上に達しない程度のもの
一部破損	住家の被害が半壊程度には達しないが、相当の復旧費を要する被害を受けたもの（窓ガラスが数枚破損した程度の軽微なものは含めない）

## 用語の定義

住家	現実にその建物を直接居住の用に供しているもの。一般に非住家とする土蔵、小屋等であっても現に住家として居住しているときは、住家。
非住家	住家以外の建築物（原則、官公署、学校、病院、公民館、神社等は非住家）
棟	・一つの独立した建物 ・2つ以上の建物が渡り廊下等で接続している場合は2棟とする ・母屋に付属する風呂、便所等は母屋に含めて1棟とする
戸	・住家として居住するのに必要な一群の建物単位 ・炊事場、便所、浴場等が別である場合には、合して1戸とする
世帯	・生計を一にしている実際の生活単位 ・同一家屋内の親子夫婦であっても、生活の実態が別々であれば2世帯 ・マンションのように1棟の建物内に、複数の世帯が独立した生計を営んでいる場合、それぞれの世帯をひとつの世帯とする ・寄宿舎、下宿、社会福祉施設等で共同生活を営んでいるものについては、その寄宿舎等を1世帯として取り扱う

## 災害救助法費用限度額・災害救助内容の早見表

静岡県「災害救助の手引き（令和2年4月）」より

※令和元年度災害救助基準 令和元年10月23日現在

救助の種類	対 象	費用の限度額	期 間	備 考
避難所の設置	災害により現に被害を受け、又は受けるおそれのある者に供与する。	(基本額) 避難所設置費 1人1日当たり 330円以内 高齢者等の要配慮者等を収容する「福祉避難所」を設置した場合、当該地域における通常の実費を支出でき、上記を超える額を加算できる。	災害発生から7日以内	1 費用は、避難所の設置、維持及び管理のための賃金職員雇上費、消耗器材費、建物等の使用謝金、器物の使用謝金、借上費又は購入費、光熱水費並びに仮設便所等の設置費を含む。 2 避難に当たったの輸送費・人件費は別途計上 3 避難所での避難生活が長期にわたる場合等においては、避難所で避難生活している者への健康上の配慮等により、ホテル・旅館など宿泊施設を借上げて実施することが可能。
応急仮設住宅の供与 応急仮設住宅の供与（借上型仮設住宅）	住宅が全壊、全焼又は流失し、居住する住家がない者であって、自らの資力では住宅を得ることができない者	○ 建設型応急住宅 1 規模 応急救助の趣旨を踏まえ、実施主体が地域の実情、世帯構成等に依じて設定 2 基本額 1戸当たり 5,714,000円以内 3 建設型応急住宅の供与終了に伴う解体撤去及び土地の原状回復のために支出できる費用は、当該地域における実費。	災害発生の日から20日以内着工	1 費用は設置にかかる原材料費、労務費、付帯設備工事費、輸送費及び建築事務費等の一切の経費として5,714,000円以内であればよい。 2 同一敷地内等に概ね50戸以上設置した場合は、集会等に利用するための施設を設置できる。(50戸未満であっても小規模な施設を設置できる) 3 高齢者等の要援護者等を数人以上収容する「福祉仮設住宅」を設置できる。 4 供与期間は2年以内
		○ 賃貸型応急住宅 1 規模 建設型仮設住宅に準じる 2 基本額 地域の実情に応じた額		災害発生の日から速やかに借上げ、提供 1 費用は、家賃、共益費、敷金、礼金、仲介手数料、火災保険等、民間賃貸住宅の貸主、仲介業者との契約に不可欠なものとして、地域の実情に応じた額とすること。 2 供与期間は建設型仮設住宅と同様。
炊出しその他による食品の供与	1 避難所に収容された者 2 住家に被害を受け、若しくは災害により現に炊事のできない者	1人1日当たり 1,160円以内	災害発生の日から7日以内	食品給与のための総経費を延給食日数で除した金額が限度額以内であればよい。 (1食は1/3日)
飲料水の供給	現に飲料水を得ることができない者(飲料水及び炊事のための水であること。)	当該地域における通常の実費	災害発生の日から7日以内	輸送費、人件費は別途計上

救助の種類	対 象	費用の限度額			期 間		備 考	
被服、寝具その他生活必需品の給与又は貸与	全半壊(焼)、流失、床上浸水等により、生活上必要な被服、寝具、その他生活必需品を喪失、若しくは毀損等により使用することができず、直ちに日常生活を営むことが困難な者	1 夏季(4月～9月)冬季(10月～3月)の季別は災害発生の日をもって決定する。 2 下記金額の範囲内			災害発生の日から10日以内		1 備蓄物資の価格は年度当初の評価額 2 現物給付に限ること	
	区 分	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人以上1人増すごとに加算	
	全壊	夏	18,800	24,200	35,800	42,800	54,200	7,900
	全流	冬	31,200	40,400	56,200	65,700	82,700	11,400
	半壊	夏	6,100	8,300	12,400	15,100	19,000	2,600
半床上浸水	冬	10,000	13,000	18,400	21,900	27,600	3,600	
医 療	医療の途を失った者(応急的処置)	1 救護班…使用した薬剤、治療材料、医療器具破損等の実費 2 病院又は診療所…国民健康保険診療報酬の額以内 3 施術者協定料金の額以内			災害発生の日から14日以内		患者等の移送費は、別途計上	
助 産	災害発生の日以前又は以後7日以内に分べんした者であって災害のため助産の途を失った者(出産のみならず、死産及び流産を含み現に助産を要する状態にある者)	1 救護班等による場合は、使用した衛生材料等の実費 2 助産師による場合は、慣行料金の100分の80以内の額			分べんした日から7日以内		妊婦等の移送費は、別途計上	
被災者の救出	1 現に生命、身体が危険な状態にある者 2 生死不明な状態にある者	当該地域における通常の実費			災害発生の日から3日以内		1 期間内に生死が明らかにならない場合は、以後「死体の捜索」として取り扱う。 2 輸送費、人件費は、別途計上	
被災した住宅の応急修理	1 住家が半壊(焼)若しくはこれらに準ずる程度の損傷を受け、自らの資力により応急修理をすることができない者 2 大規模な補修を行わなければ居住することが困難である程度に住家が半壊(焼)した者	居室、炊事場及び便所等日常生活に必要最小限度の部分1世帯当たり ①大規模半壊又は半壊若しくは半焼の被害を受けた世帯 595,000円以内 ②半壊又は半焼に準ずる程度の損傷により被害を受けた世帯 300,000円以内			災害発生の日から1か月以内			

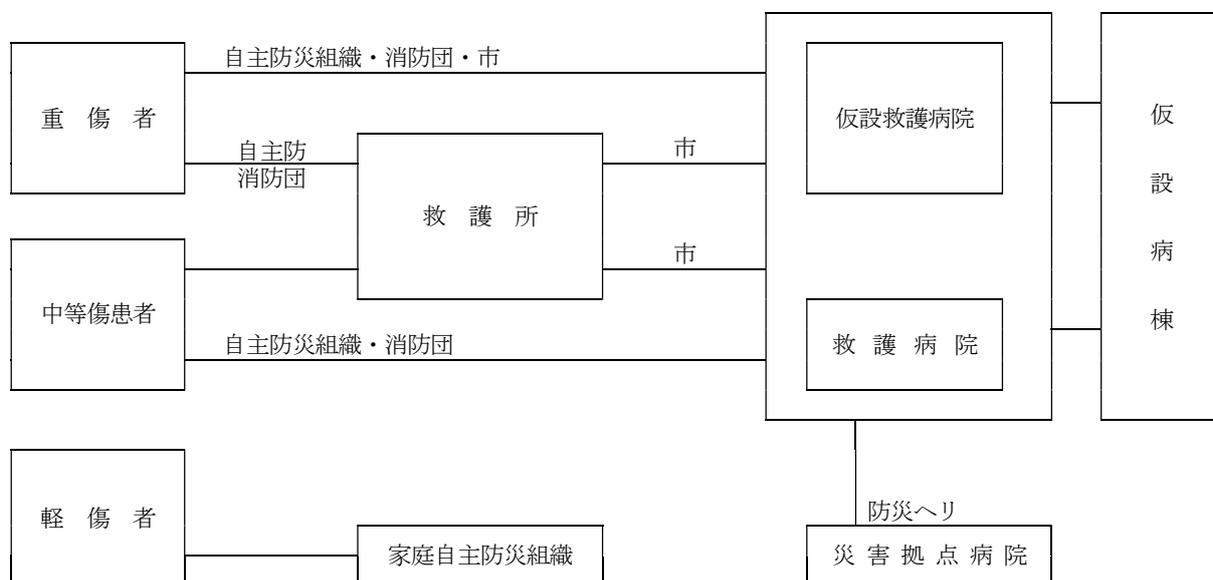
救助の種類	対 象	費用の限度額	期 間	備 考
学用品の供与	住家の全壊(焼)流失、半壊(焼)又は床上浸水により学用品を喪失又は毀損等により使用することができず、就学上支障のある小学校児童、中学校生徒、義務教育学校生徒及び高等学校等生徒。	1 教科書及び教科書以外の教材で教育委員会に届出又はその承認を受けて使用している教材、又は正規の授業で使用している教材実費 2 文房具及び通学用品は、1人当たり次の金額以内 小学校児童 4,500円 中学校生徒 4,800円 高等学校等生徒 5,200円	災害発生の日から (教科書) 1か月以内 (文房具及び通学用品) 15日以内	1 備蓄物資は評価額 2 入進学時の場合は個々の実情に応じて支給する。
埋 葬	災害の際死亡した者を対象にして実際に埋葬を実施する者に支給	1体当たり 大人(12歳以上) 215,200円以内 小人(12歳未満) 172,000円以内	災害発生の日から10日以内	災害発生の日以前に死亡した者であっても対象となる。
死体の搜索	行方不明の状態にあり、かつ、四圍の事情によりすでに死亡していると推定される者	当該地域における通常の実費	災害発生の日から10日以内	1 輸送費、人件費は、別途計上 2 災害発生後3日を経過したものは一応死亡した者と推定している。
死体の処理	災害の際死亡した者について、死体に関する処理(埋葬を除く。)をする。	(洗浄、消毒等) 1体当たり 3,500円以内  一時保存： ○既存建物借上費：通常の実費 ○既存建物以外：1体当たり 5,400円以内  検案、救護班以外は慣行料金	災害発生の日から10日以内	1 検案は原則として救護班上 2 輸送費、人件費は、別途計上 3 死体の一時保存にドライアイスの購入費等が必要な場合は当該地域における通常の実費を加算できる。
障害物の除去	居室、炊事場、玄関等に障害物が運び込まれているため生活に支障をきたしている場合で自力では除去することのできない者	市町村内において障害物の撤去を行った一世帯当たりの平均 137,900円以内	災害発生の日から10日以内	
輸送費及び賃金 職員等雇上費	1 被災者の避難に係る支援 2 医療及び助産 3 被災者の救出 4 飲料水の供給 5 死体の搜索 6 死体の処理 7 救済用物資の整理配分	当該地域における通常の実費	救助の実施が認められる期間以内	
実費弁償	災害救助法施行令第4条第1号から第4号までに規定する者	災害救助法第7条第1項の規定により救助に関する業務に従事させた都道府県知事等(法第3条に規定する都道府県知事等をいう。)の総括する都道府県等(法第17条第1号に規定する都道府県等をいう。)の常勤の職員で当該業務に従事した者に相当するものの給与を考慮して定める。	救助の実施が認められる期間	時間外勤務手当及び旅費は別途に定める額

<p>救助の事務を行うのに必要な費用</p>	<p>1 時間外勤務手当 2 賃金職員等雇上費 3 旅費 4 需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 5 使用料及び賃借料 6 通信運搬費 7 委託費</p>	<p>救助事務費に支出できる費用は、法第21条に定める国庫負担を行う年度（以下、「国庫負担対象年度」という。）における各災害に係る左記1から7までに掲げる費用について、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第143条に定める会計年度所属区分により当該年度の歳出に区分される額を合算し、各災害の当該合算した額の合計額が、国庫負担対象年度に支出した救助事務費以外の費用の額の合算額に、次のイからトまでに掲げる区分に応じ、それぞれイからトまでに定める割合を乗じて得た額の合計額以内とすること。</p>	<p>救助の実施が認められる期間及び災害救助費の精算する事務を行う期間以内</p>	<p>災害救助費の精算事務を行うのに要した経費も含む</p>
		<p>イ 3千万円以下の部分の金額については100分の10 ロ 3千万円を超え6千万以下の部分の金額については100分の9 ハ 6千万を超え1億円以下の部分の金額については100分の8 ニ 1億円を超え2億円以下の部分の金額については100分の7 ホ 2億円を超え3億円以下の部分の金額については100分の6 ヘ 3億円を超え5億円以下の部分の金額については100分の5 ト 5億円を超える部分の金額については100分の4</p>		

## 医療救護体制一覧表(要救護者の搬送体制)

フローチャート

● 搬送車両等……救急車・緊急車両等



○ 救護所

救護所は、中等患者に対する処置及び重症患者に対する収容を伴わない初期救急医療に相当する応急処理等を行う。

○ 救護所設置場所

救護所名	設置場所	電話番号
下田中学校救護所	下田市敷根765-1	22-3443
浜崎小学校救護所	下田市須崎1785-1	22-0441
稲生沢小学校救護所	下田市立野6-1	22-0424

医療資機材保管状況

下田中学校、稲生沢小学校、浜崎小学校……Cemms 3型

県医薬品備蓄センターの備蓄医療器材

連絡先：(社)静岡県薬事振興会

管理者…賀茂健康福祉センター 衛生薬務課 (24-2054)

場 所…旧松崎町立中川小学校

賀茂郡松崎町峰輪450番地

# 指定緊急避難場所一覧

令和3年3月31日

番号	避難場所名	住所	洪水	土災	砂害	高潮	地震	津波	大規模火災	内水	水害	火災	山象
1	下田中学校 (グラウンド)	敷根765-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	下田幼稚園 (グラウンド)	一丁目17-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	下田小学校 (グラウンド)	五丁目3-1	○			○			○	○		○	○
4	稲生沢中学校 (グラウンド)	河内101-1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	稲生沢小学校 (グラウンド)	立野6-1	○			○	○	○	○	○	○	○	○
6	本郷公民館	西本郷2-13-21				○			○	○		○	○
7	稲生沢公民館	立野191				○	○	○	○	○		○	○
8	県立下田高校 (スクールコート)	蓮台寺152	○			○	○	○	○	○	○	○	○
9	上大沢集会所	大沢127-1	○			○	○	○	○	○	○	○	○
10	下大沢共同集荷所	大沢625	○			○	○	○	○	○	○	○	○
11	稲梓小学校 (グラウンド)	椎原224	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	稲梓中学校 (グラウンド)	箕作350	○			○	○	○	○	○	○	○	○
13	基幹集落センター	椎原290-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	落合集会所	落合276	○			○	○	○	○	○	○	○	○
15	須原区集会所	須原1325-4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	あずさ山の家	須原1322	○			○	○	○	○	○	○	○	○
17	八木山集会所	須原829	○			○	○	○	○	○	○	○	○
18	相玉公会堂	相玉282-3	○			○	○	○	○	○	○	○	○
19	北湯ヶ野区集会所	北湯ヶ野332	○			○	○	○	○	○	○	○	○
20	朝日小学校 (グラウンド)	吉佐美544	○	○	○				○	○		○	○
21	青少年海の家	田牛217	○			○			○	○		○	○
22	大賀茂小学校 (グラウンド)	大賀茂1429	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	朝日公民館	吉佐美883-1	○			○			○	○		○	○
24	浜崎小学校 (グラウンド)	須崎1785-1	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
25	下田東中学校 (グラウンド)	柿崎1106	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

番号	避難場所名	住所	洪水	土災 砂害	高潮	地震	津波	大規模 火災	内 水 火 山 象	内 水 火 山 象	内 水 火 山 象
26	荒川区下田臨海学園	柿崎17-27	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	元須崎保育所	須崎680-1	○		○	○	○	○	○	○	○
28	白浜小学校 (グラウンド)	白浜1324-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	板戸区集会所	白浜532-1	○		○	○	○	○	○	○	○
30	下田市民文化会館	四丁目1-2	○	○	○			○	○	○	○
31	敷根公園	敷根757	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	下田公園	三丁目19-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	長楽寺	三丁目13-19	○		○	○	○	○	○	○	○
34	天理教下田分教会	六丁目6-16	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	中村中央公園	西中20	○	○	○			○	○	○	○
36	立正佼成会	東中9-8	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	中村東公園	東中14	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	竹麻神社	高馬10-13	○		○	○	○	○	○	○	○
39	諏訪神社(河内)	河内850	○		○	○	○	○	○	○	○
40	重福院	河内749	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	向陽院	河内289	○		○	○	○	○	○	○	○
42	下田自動車学校	河内741-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	諏訪神社(横川)	横川323	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	宝徳院	吉佐美1667	○		○			○	○	○	○
45	観音寺	須崎615	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	旭洞院	須崎816	○		○	○	○	○	○	○	○
47	禅福寺	白浜351	○		○	○	○	○	○	○	○
48	稲荷大明神	西本郷三丁目293他	○			○	○		○		
49	下田合同庁舎	西本郷二丁目5-33				○	○		○		
50	下田幼稚園上避難路	一丁目17-2	○	○		○	○				

番号	避難場所名	住所	洪水	土災	砂害	高潮	地震	津波	大規模火災	内氾	水濫	火現	山象
51	春日山避難地	五丁目1017	○				○	○					
52	梓の里	加増野181-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	子育て地藏広場	蓮台寺370-6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	伊豆新聞社ビル	東本郷二丁目9-15					○	○					
55	プレバール東本郷	東本郷二丁目9-9					○	○					

## 指定避難所一覧

令和3年3月31日

番号	施設名	住所	想定収容人数	備考
1	下田中学校（体育館）	下田市敷根765-1	280人	
2	下田幼稚園	下田市一丁目17-2	160人	乳幼児その他対象
3	下田小学校（体育館）	下田市五丁目3-1	270人	津波災害を除く
4	稲生沢中学校（体育館）	下田市河内101-1	300人	洪水災害を除く
5	稲生沢小学校（体育館）	下田市立野6-1	170人	
6	本郷公民館	下田市西本郷2-13-21	130人	土砂災害、津波災害、洪水災害を除く
7	稲生沢公民館	下田市立野191	120人	洪水災害、土砂災害を除く
8	県立下田高校（体育館）	下田市蓮台寺152	420人	土砂災害を除く
9	上大沢集会所	下田市大沢127-1	30人	土砂災害を除く
10	下大沢集荷所	下田市大沢625	20人	土砂災害を除く
11	稲梓小学校（体育館）	下田市椎原224	130人	
12	稲梓中学校（体育館）	下田市箕作350	240人	土砂災害を除く
13	基幹集落センター	下田市椎原290-1	150人	
14	落合集会所	下田市落合276	20人	土砂災害を除く
15	須原区集会所	下田市須原1325-4	30人	土砂災害を除く
16	あずさ山の家	下田市須原1322	260人	土砂災害を除く
17	八木山集会所	下田市須原829	20人	土砂災害を除く
18	相玉公会堂	下田市相玉282-3	20人	土砂災害を除く
19	北湯ヶ野区集会所	下田市北湯ヶ野332	30人	土砂災害を除く
20	朝日小学校（体育館）	下田市吉佐美544	140人	津波災害を除く

番号	施設名	住所	想定収容人数	備考
21	青少年海の家	下田市田牛217	150人	津波災害を除く 土砂災害を除く
22	大賀茂小学校（体育館）	下田市大賀茂1429	110人	
23	朝日公民館	下田市吉佐美883-1	120人	津波災害を除く 土砂災害を除く
24	浜崎小学校（体育館）	下田市須崎1785-1	140人	
25	下田東中学校（体育館）	下田市柿崎1106	310人	
26	荒川区下田臨海学園	下田市柿崎17-27	200人	
27	元須崎保育所	下田市須崎680-1	110人	土砂災害を除く
28	白浜小学校（体育館）	下田市白浜1324-1	150人	
29	板戸区集会所	下田市白浜532-1	30人	土砂災害を除く
30	下田市民文化会館	下田市四丁目1-2	1,160人	津波災害を除く
31	稲生沢保育園	下田市立野34	100人	乳幼児その他対象 洪水災害を除く
32	ひかり保育園	下田市西中9-4	60人	乳幼児その他対象 洪水災害を除く
33	下田認定こども園	下田市敷根765-19	170人	乳幼児その他対象
34	梓の里	下田市加増野181-1	20人	高齢者その他対象
35	みくらの里	下田市吉佐美1086	20人	高齢者その他対象 土砂災害を除く
36	つくし学園	下田市加増野375-1	15人	障がい者その他対象 土砂災害を除く
37	たんぼぼ	下田市宇土金64-1	10人	障がい者その他対象
38	ワークあおぞら	下田市宇土金209-1	10人	障がい者その他対象 土砂災害を除く

# 広域避難場所等配備品一覧表

令和3年3月31日

番号	資機材配備場所	毛布	パーテーション	パーテーションテント	プライバシーベールーム	アルミ製簡易ベッド	ろ過器	発電機大(赤)	発電機小(黄)	ガソリン20ℓ	ガソリン10ℓ	コードリール	投光器大	投光器小	単管テント	ワンタッチテント	ドーム型テント	1人用テント	貯水槽	マンホールトイレ洋式	マンホールトイレ小便器	ベンキューク	簡易トイレ(ラップボン)	簡易トイレ(ラクレット)	携帯トイレ	オストメイト	給水タンク	リアカー	長机	ビブス	炊出しセット	担架	ブルーシート	床材	間仕切り	
1	下田中学校防災倉庫	50							1			1	1	3		3	2										1	3								
2	数根公園防災倉庫	190					7	2	2	1		2			10							41		30						220						
3	稲生沢小学校	100						1		1						3	2										1									
4	稲生沢中学校	90							1					2									2				1	3							1	
5	稲樟小学校	50						1		1		1	1													1										
6	浜崎小学校	140						1			1								1	7	2					1					1	5				
7	下田東中学校	90					1		1		1	1	1					2					2			2										
8	朝日小学校	100	16			32		1									2									1										
9	田牛青少年派の家																																			
10	白浜小学校		16			32		1												7	2		8			2										
11	下田小学校	130						1																		1										
12	大賀茂小学校	90						1																		1										
13	稲樟中学校	40							1																	1										
14	浄水場																																			
15	下田幼稚園	30									1	1	1			4	31																			
16	認定こども園	30																																		
17	ひかり保育園																																			
18	稲生沢保育園																																			
19	旧白浜幼稚園	290	240	20	8	536			4				1				2					7			58,800									128	1	
20	稲樟基幹集落センター	450							1								2																			
21	下田市役所								1				1																							
22	下田公園								1		1		1				10																	2		
23	たんぼぼ								1	1																	2									
24	梓の里																																			
25	みくらの里																																			
26	つくし学園																																			
27	認定こども園前倉庫																																			
28	市民スポーツセンター	150															2	4																	33	
合計		2,020	272	20	8	600	8	9	14	4	4	6	7	5	10	10	55	40	1	14	4	52	8	30	58,800	2	13	6	33	220	1	5	2	128	2	

## 津波避難ビル一覧表

(令和3年3月31日)

No.	施設等名	所在地	建物階数	避難可能場所	避難可能人数	協定締結年月
1	下田地方合同庁舎	西本郷二丁目5番33号	3	屋上	150	H25.11
2	伊豆新聞社ビル	東本郷二丁目9番10号	3	屋上	100	H30.1
3	プレバール東本郷	東本郷二丁目9番10号	3	屋上	204	R2.6.30

## 家庭で備える非常持出品

常に持ち出せる形での備蓄をしておく。

水	1人1日3リットルを、持ち出せる形で3日分。その他最低4日分を備蓄。それ以外に生活用水を確保（風呂の水をはっておくなど）。
食料	1人1日最低1200キロカロリーを目標に、調理不要の形で3日分。その他最低4日分を備蓄。
トイレ用品	1人1日5回使用、7日分を目標に備蓄。
生活用品	乾電池、常備薬、お薬手帳、石鹸、トイレットペーパー、ウエットティッシュ、ラップなど。

常に持ち出せる形がむずかしいものは、平常時の保管場所・保管状態を確認しておく。

サバイバル用品	ヘルメット、雨具、軍手、マスク、ナイフ、ロープなど
生活用品	着替え、食器、寝具、テント、ラジオ、懐中電灯、ライター、ビニール袋、防寒用品など
貴重品	現金、通帳、印鑑、免許証、保険証、有価証券など
その他	洗面用具、裁縫セット、予備のメガネなど

## 災害時に援助可能な給食施設一覧表

(令和3年3月31日)

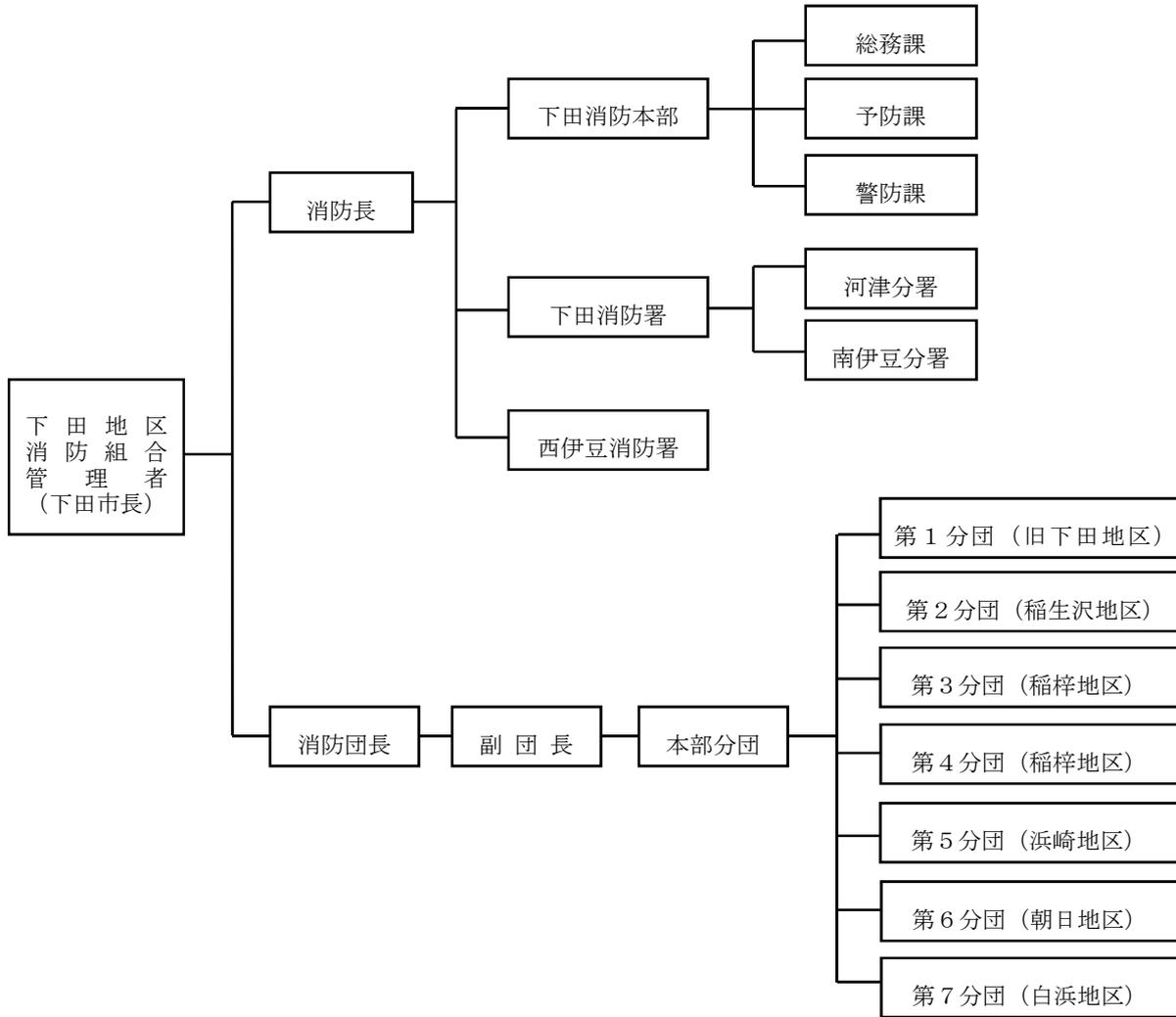
No.	施設名	所在地	電話番号	援助できる場合の内容				
				炊き出し	調理器具 の提供	備蓄食品 の提供	その他	内 容
1	下田市立 学校給食センター	下田市須崎1782番地の1	0558-36-4026	○	○		食器、食缶 の提供可能	回転釜の為使い方に注意が 必要

## 災害発生後7日間確保すべき1日あたりの水量

区	人 口	1人3リットル貯水量 (ℓ)
下 田	4,539	13,617
稲 生 沢	5,992	17,976
稲 梓	2,185	6,555
浜 崎	2,764	8,292
朝 日	3,772	11,316
白 浜	1,828	5,484
小 計	21,080	63,240

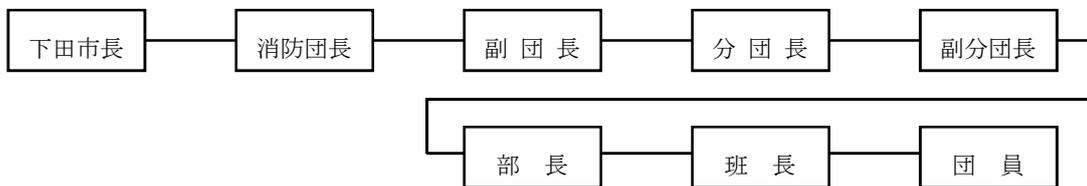
(※ 人口は令和2年度下田市統計による。)

## 消防組織編成図

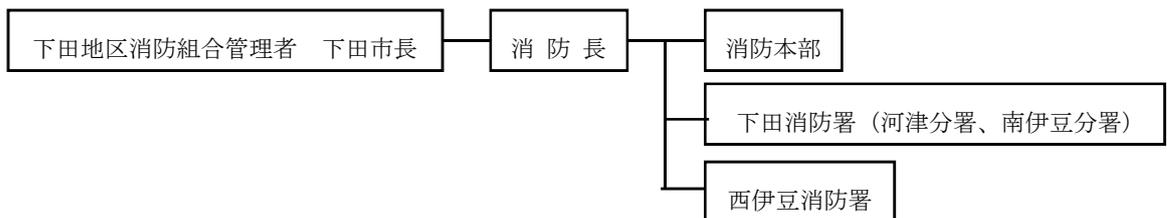


## 消防の組織機構

### (1) 非常備消防



### (2) 常備消防



# 下田消防本部職員及び車両配置状況

## 1 所属・階級別職員数

(令和3年3月31日)

		消防監	消防指令長	消防指令	消防指令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防本部	消防長	1							1
	総務課		1	2		1	1		5
	警防課		(1)	1	1	2			4(1)
	予防課		(1)	1	2	1(1)			4(2)
	通信指令室			(2)		(1)			(3)
	本部付							4	4
	派遣職員								
	再任用職員		1			1			2
	小計	1	2(2)	4(2)	3	5(2)	1	4	20(6)
消防署	下田消防署		1	8(1)	9	14	3	11	46(1)
	河津分署			1(1)	2	5	2	2	12(1)
	南伊豆分署			1(1)	2	3	3	3	12(1)
	西伊豆消防署		1	4(1)	8	9	6	3	29(1)
	再任用職員			1	3	1			5
	小計		2	15(4)	24	32	14	19	104(4)
合計		1	4(2)	19(6)	27	37(2)	15	23	124(10)

## 2 消防車両

所属	保有車両
消防本部	予防査察者、指令車、事務車(2台)、マイクロ
下田消防署	水槽付ポンプ車、ポンプ車、梯子付ポンプ車、救助工作車、高規格救急車(2台)、指揮車、資機材搬送車(軽)、後方支援車
河津分署	ポンプ車、指令車、高規格救急車
南伊豆分署	ポンプ車、指令車、高規格救急車
西伊豆消防署	ポンプ車(2台)、高規格救急車(2台)、救助工作車、資機材搬送車(軽)、査察車、指揮車

# 下田市消防団編成表

(令和3年3月31日)

階級		分団名	部名	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	部 計	分団計
男性	女性											
本部分団	男 性			1	2	1	3	1	0	0		15
	女 性							1	1	5		
1分団	1					1	1	1	2	12	15	61
	2							1	2	14	17	
	3							1	2	7	10	
	4							1	2	14	17	
2分団	1					1	1	1	2	14	17	66
	2							1	2	10	13	
	3							1	2	17	20	
	4							1	2	11	14	
3分団	1					1	1	1	2	17	20	51
	2							1	2	11	14	
	3							1	2	12	15	
4分団	1					1	1	1	2	20	23	25
5分団	1					1	1	1	2	23	26	46
	3							1	2	15	18	
6分団	1					1	1	1	2	12	15	43
	2							1	2	11	14	
	3							1	2	9	12	
7分団	1					1	1	1	2	23	26	28
計	19			1	2	8	10	20	37	257	314	335

## 消防団詰所及び機械器具置場

18箇所 (令和3年3月31日現在)

分団	部	所在地	構造及び延べ面積	建築年月日	備考
1	1	1丁目8-15	軽鉄造 1階 (55.36)	S55.12.11	(市)公共用地占用
	2	2丁目404-2	木造 2階 (66.23)	S54. 3.29	(市)宅地 68.86
	3	3丁目1186	鉄骨 2階 (89.70)	H 5. 6.30	市有地占用
	4	6丁目1-14	鉄骨 2階 (68.00)	H 6. 3.20	消防庁舎併設
2	1	西本郷2-24-2	鉄筋 2階 (54.40)	S39.12. 1	(市)宅地 97.82
	2	立野191-1	鉄骨 1階 (42.90)	H 6. 1.31	公民館用地占用
	2	河内213	木造 2階 (61.12)	S51.12.13	(市)道路占用
	3	大沢1-1	鉄骨 2階 (112.00)	H27. 3. 4	借地
	4	西中19-13	公民館併設 (17.75)	S48. 3. 31	公民館用地
3	1	箕作260-1	鉄骨地上 1階地下 1階 (114.13)	H18. 1.27	借地
	2	須原1326-2	木造 2階 (46.30)	S56. 3.10	公民館用地
	3	椎原270-1	木造 2階 (54.18)	S51. 2.15	(市)宅地110.84
4	1	横川244-7	鉄骨 2階 (111.1)	H24. 3.21	借地
5	1	柿崎449	鉄骨 2階 (120.00)	H29. 3. 1	(市)宅地 818.03
	3	須崎1799	鉄骨造 2階 (70.84)	S63. 9.30	産業振興課占用
6	1	吉佐美1882-2	木造 2階 (69.56)	H 1. 2.10	借地
	2	大賀茂622-4	木造 2階 (57.82)	S55. 3.20	借地
	3	田牛258-1	木造 1階 (42.18)	S49. 2.20	借地
7	1	白浜1247-2	鉄骨 2階 (120.00)	H29. 3. 3	借地

## 下田市消防団火災発生地区別分団出動表

火災現場区域	第1出動	第2出動	第3出動
全域	団本部		
旧町内・武ガ浜・旧岡方村	1分団 正副6分団長	6分団	全分団
稲生沢地区	2分団 正副3・4分団長	3・4分団	
稲梓地区（注1）	3・4分団 正副2分団長	2分団	
浜崎地区	5分団 正副7分団長	7分団	
吉佐美・大賀茂・田牛地区	6分団 正副1分団長	1分団	
白浜地区	7分団 正副5分団長	5分団	

（注1）稲梓地区とは、3分団・4分団とする。

○ 消防団の出動は原則、団長指令に基づき行う。

下田消防署通信指令室より送信される火災報メールを受信した際は、上記出動表に基づき出動するものとする。

### ◎ 危険回避のため次のことを厳守すること。

- ★ 出動時の最低人員は5名以上の団員を確保してから出庫すること。
- ★ 出動に際しては、必ず受令機のスイッチを入れ、ボリュームを最大にすること。
- ★ 下田消防署通信指令室から通常走行の指令があった場合には、速やかに従うこと。

# 下田市消防団火災・災害動員表

(令和3年3月31日)

消 防 団 実 数											出 動 区 分			
分 団 名	部 名	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	部 計	分 団 計	火 災	災 害		
											通常火災	応急配備 (18%以上)	第1次動員 (50%以上)	第2次動員 (90%以上)
													分団計	分団計
本部		1	2	1	3	2	1	5	8	15	8	3	8	14
1 分 団	1			1	1	1	2	12	15	61	地区別出 動表によ る出動可 能な分団 の全団員	11	31	55
	2					1	2	14	17					
	3					1	2	7	10					
	4					1	2	14	17					
2 分 団	1			1	1	1	2	14	17	66		12	33	60
	2					1	2	10	13					
	3					1	2	17	20					
	4					1	2	11	14					
3 分 団	1			1	1	1	2	17	20	51		10	26	46
	2					1	2	11	14					
	3					1	2	12	15					
4 分 団	1			1	1	1	2	20	23	25		5	13	23
5 分 団	1			1	1	1	2	23	26	46		9	23	42
	3					1	2	15	18					
6 分 団	1			1	1	1	2	12	15	43	8	22	39	
	2					1	2	11	14					
	3					1	2	9	12					
7 分 団	1			1	1	1	2	23	26	28	6	14	26	
計		1	2	8	10	20	37	257	314	335		64	170	305

## 災害時の動員基準

応急配備体制  
(詰所待機・警戒等)

- ・大雨、洪水、暴風、津波警報のいずれかが伊豆南地方に発表されたとき。
- ・下田市内で震度4以上の地震を観測したとき。
- ・火山活動に異常が認められたとき。
- ・その他状況により団長が指令したとき。

第1次動員（警戒体制）  
(詰所待機・警戒等)

- ・伊豆地域に大規模な災害が発生するおそれがあるとき。
- ・その他状況により団長が指令したとき。

第2次動員（非常体制）  
(災害現場へ出動)

- ・伊豆地域に大規模な災害が発生したとき。
- ・その他状況により団長が指令したとき。

# 下田市消防団車両一覧表

(令和3年3月31日)

## ◎消防ポンプ自動車

No.	所属	所在地	登録年月日	登録No.	車種	型	燃料
1	1-1	1丁目	平成21年12月21日	伊豆800さ1090	いすゞ	CD-1	軽油
2	1-2	2丁目	平成7年3月3日	沼津88さ8558	三菱	CD-1	軽油
3	1-3	3丁目	平成28年2月7日	伊豆800さ2246	いすゞ	CD-1	軽油
4	1-4	6丁目	平成22年9月15日	伊豆800さ1257	いすゞ	CD-1	軽油
5	2-1	本郷	平成30年12月10日	伊豆800さ2787	いすゞ	CD-1	軽油
6	2-3	大沢	平成25年11月26日	伊豆800さ1873	いすゞ	CD-1	軽油
7	2-4	中	平成10年12月2日	沼津800さ804	三菱	CD-1	軽油
8	3-1	箕作	令和3年3月15日	伊豆800さ3128	いすゞ	CD-1	軽油
9	4-1	横川	平成4年12月10日	沼津88さ6847	三菱	CD-1	軽油
10	5-1	柿崎	平成24年3月15日	伊豆800さ1523	いすゞ	CD-1	軽油
11	6-1	吉佐美	平成29年10月27日	伊豆800さ2566	いすゞ	CD-1	軽油
12	7-1	白浜	平成8年3月14日	沼津88さ9728	三菱	CD-1	軽油

## ◎小型動力ポンプ付積載車

No.	所属	所在地	登録年月日	登録No.	車種	型	備考
1	2-2	立野	平成8年11月28日	沼津88さ769	トヨタ	積載	ガソリン
2	2-3	大沢	平成22年3月25日	伊豆800さ1146	いすゞ	積載	軽油
3	3-1	箕作	平成8年2月21日	沼津88さ9633	トヨタ	積載	ガソリン
4	3-2	目金	平成28年10月27日	伊豆800さ2374	いすゞ	積載	ガソリン
5	3-3	椎原	平成26年10月30日	伊豆800さ2024	いすゞ	積載	ガソリン
6	4-1	横川	平成8年11月28日	沼津88さ770	トヨタ	積載	ガソリン
7	5-1	柿崎	平成10年12月2日	沼津830た119	トヨタ	積載	ガソリン
8	5-3	須崎	令和3年3月17日	伊豆880あ702	スズキ	軽積載	ガソリン
9	6-2	大賀茂	平成30年11月9日	伊豆800さ2769	トヨタ	積載	ガソリン
10	6-3	田牛	平成9年12月2日	沼津88さ2195	トヨタ	積載	ガソリン
11	7-1	長田	令和元年9月11日	伊豆800さ2899	いすゞ	積載	ガソリン
12	消防団本部指令車		平成22年11月30日	伊豆800さ1299	ニッサン4WD	普通	ガソリン

# 貯水槽一覧表

令和3年3月31日

下田地区 貯水槽（1分団）					稲生沢地区 貯水槽（2分団）					稲梓地区 貯水槽（3分団、4分団）				
No.	所在地	目標物	種類	水量	No.	所在地	目標物	種類	水量	No.	所在地	目標物	種類	水量
1	1丁目	新田公会堂前	耐震性貯水槽	40t	26	東本郷1丁目	下田市役所前	防火水槽	38t	50	箕作	箕作交差点前	耐震性貯水槽	40t
2	1丁目	フラワーマンション前	防火水槽	33t	27	西本郷1丁目	エスパーダ西本郷前	防火水槽	40t	51	宇土金	達磨大師 駐車場	耐震性貯水槽	40t
3	2丁目	第1分団第2分詰所前	防火水槽	22t	28	西本郷1丁目	静岡トヨペット車軸置場裏	防火水槽	44t	52	椎原	随源院 入口	耐震性貯水槽	40t
4	2丁目	つるや食堂横	防火水槽	52t	29	西本郷2丁目	県南病院横	防火水槽	43t	53	須原	伊豆製菓 手前	耐震性貯水槽	40t
5	3丁目	日新堂横	耐震性貯水槽	60t	30	西本郷2丁目	小山田公園内	耐震性貯水槽	100t	54	須原	入谷 土屋重二宅 前	耐震性貯水槽	40t
6	3丁目	大浦八幡宮先	防火水槽	48t	31	西本郷3丁目	県南病院奥	防火水槽	20t	55	須原	あずさ山の家 手前	耐震性貯水槽	60t
7	4丁目	市民文化会館裏（採水口2）	防火水槽	50t	32	中	丸山住宅入口	防火水槽	32t	56	須原	坂戸 土屋みつる宅 前	耐震性貯水槽	40t
8	4丁目	老人憩いの家前	防火水槽	40t	33	東中	中村東公園付近	防火水槽	30t	57	須原	八木山公民館前	耐震性貯水槽	40t
9	5丁目	下田小学校内	耐震性貯水槽	100t	34	東中	百老亭裏	防火水槽	38t	58	逆川	河津 野田光義宅 前	耐震性貯水槽	45t
10	5丁目	下田小学校裏	防火水槽	17t	35	西中	サンハイツII前	防火水槽	46t	59	横川	関電工 下田営業所	私設防火水槽	15t
11	5丁目	豆洋自動車横	防火水槽	40t	36	西中	中村中央公園内	耐震性貯水槽	60t	60	横川	横川信号 先	防火水槽（無蓋）	30t
12	5丁目	河津建設鍋田寮上	防火水槽	10t	37	西中	下田興業付近	防火水槽	40t	61	北湯ヶ野	日枝神社 横	防火水槽	30t
13	6丁目	杉本工業内	私設防火水槽	50t	38	蓮台寺	弥五平口入口	防火水槽	42t	62	北湯ヶ野	土屋久夫宅 前	耐震性貯水槽	40t
14	6丁目	下田消防署前	耐震性貯水槽	60t	39	蓮台寺	天神神社裏	耐震性貯水槽	100t	63	北湯ヶ野	前田工業 先	防火水槽	40t
15	6丁目	たつきクリーニング店前	防火水槽	40t	40	大沢	農協集荷所横	防火水槽	69t	64	加増野	アンドウカーパーツ 敷地内	私設防火水槽	45t
16	6丁目	芳野食品奥	耐震性貯水槽	100t	41	大沢	農協集荷所裏	防火水槽	10.6t	65	加増野	中帯部落 石原設備下	防火水槽（無蓋）	25t
17	6丁目	相の山宿舎前	耐震性貯水槽	40t	42	大沢	20-18付近	耐震性貯水槽	40t	66	加増野	和泉忠広宅 横	耐震性貯水槽	40t
18	6丁目	相の山荘入口	耐震性貯水槽	40t	43	大沢	平山孝継妻実家	防火水槽	11t					
19	6丁目	三溪苑内	耐震性貯水槽	60t	44	大沢	第2分団第3部前	耐震性貯水槽	40t					
20	旧岡方村	第2弘洋園公園内No.1	耐震性貯水槽	40t	45	大沢	大野郁夫宅前	耐震性貯水槽	40t					
21	旧岡方村	第2弘洋園内No.2	耐震性貯水槽	40t	46	大沢	上大沢行き止まり	防火水槽	9t					
22	旧岡方村	第2弘洋園内No.3	耐震性貯水槽	40t	47	河内	稲生沢中学校内	耐震性貯水槽	100t					
23	旧岡方村	弘洋園内	耐震性貯水槽	40t	48	河内	市営住宅内	耐震性貯水槽	40t					
24	敷根	丸三工業プラント内	私設防火水槽	20t	49	西中	総合庁舎駐車場内	私設防火水槽	100t					
25	敷根	サンワーク下田先	耐震性貯水槽	100t										



## ガス事業者一覧表

(令和3年3月31日)

名 称	所 在 地	電 話	備 考
伊 東 ガ ス (株) 下 田 ガ 営 業 所	西本郷2-2-2	22-2819	
エ ネ ジ ン (株) 下 田 ジ 営 業 所	東中13-4	23-7377	
サ ガ ミ シ ー ド (株) 下 田 L P G 販 売 所	二丁目6-14	23-6445	
下 田 ガ ス (株)	中467	22-1321	
杉 本 工 業 (株)	6丁目37-44	22-3153	
東 静 プ ロ パ ン ガ ス (株) 保 安 セ ン タ ー	吉佐美1455-1	23-1322	
(株) T O K A I 下 田 営 業 所	吉佐美943-1	23-3771	
マ ル キ エ ナ ジ ー (株) 下 田 営 業 所	西中18-7	22-0425	

## 類別危険物施設

(令和2年度下田消防本部年報)

施設区分	製 造 所	貯蔵所							取扱所				合 計	
		屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所		小 計
危険物施設数		13	2	21		14	3		53	15	14	1	30	83

# 消防法施行令

別表第一（第一条の二―第三条、第三条の三、第四条、第四条の二の二―第四条の三、第六  
 条、第九条―第十四条、第十九条、第二十一条―第二十九条の三、第三十一条、第三十四  
 条、第三十四条の二、第三十四条の四―第三十六条関係）

(一)	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場 ロ 公会堂又は集会場
(二)	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの ロ 遊技場又はダンスホール ハ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和二十三年法律第二百二十二号）第二条第五項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗（ニ並びに（一）項イ、（四）項、（五）項イ及び（九）項イに掲げる防火対象物の用途に供されているものを除く。）その他これに類するものとして総務省令で定めるもの ニ カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室（これに類する施設を含む。）において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの
(三)	イ 待合、料理店その他これらに類するもの ロ 飲食店
(四)	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場
(五)	イ 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅
(六)	イ 次に掲げる防火対象物 (1) 次のいずれにも該当する病院（火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができる体制を有するものとして総務省令で定めるものを除く。） (i) 診療科名中に特定診療科名（内科、整形外科、リハビリテーション科その他の総務省令で定める診療科名をいう。（2）（i）において同じ。）を有すること。 (ii) 医療法（昭和二十三年法律第二百五号）第七条第二項第四号に規定する療養病床又は同項第五号に規定する一般病床を有すること。 (2) 次のいずれにも該当する診療所 (i) 診療科名中に特定診療科名を有すること。 (ii) 四人以上の患者を入院させるための施設を有すること。 (3) 病院（（1）に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（（2）に掲げるものを除く。）又は入所施設を有する助産所 (4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所 ロ 次に掲げる防火対象物 (1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム

	<p>(介護保険法（平成九年法律第二百二十三号）第七条第一項に規定する要介護状態区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者（以下「避難が困難な要介護者」という。）を主として入居させるものに限る。）、有料老人ホーム（避難が困難な要介護者を主として入居させるものに限る。）、介護老人保健施設、老人福祉法（昭和三十八年法律第百三十三号）第五条の二第四項に規定する老人短期入所事業を行う施設、同条第五項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（避難が困難な要介護者を主として宿泊させるものに限る。）、同条第六項に規定する認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの</p> <p>(2) 救護施設</p> <p>(3) 乳児院</p> <p>(4) 障害児入所施設</p> <p>(5) 障害者支援施設（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第二百二十三号）第四条第一項に規定する障害者又は同条第二項に規定する障害児であつて、同条第四項に規定する障害支援区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者（以下「避難が困難な障害者等」という。）を主として入所させるものに限る。）又は同法第五条第八項に規定する短期入所若しくは同条第十七項に規定する共同生活援助を行う施設（避難が困難な障害者等を主として入所させるものに限る。ハ（5）において「短期入所等施設」という。）</p> <p>ハ 次に掲げる防火対象物</p> <p>(1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム（ロ（1）に掲げるものを除く。）、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム（ロ（1）に掲げるものを除く。）、老人福祉法第五条の二第三項に規定する老人デイサービス事業を行う施設、同条第五項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（ロ（1）に掲げるものを除く。）その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの</p> <p>(2) 更生施設</p> <p>(3) 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、児童福祉法（昭和三十二年法律第百六十四号）第六条の三第七項に規定する一時預かり事業又は同条第九項に規定する家庭的保育事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの</p> <p>(4) 児童発達支援センター、児童心理治療施設又は児童福祉法第六条の二の第二項に規定する児童発達支援若しくは同条第四項に規定する放課後等デイサービスを行う施設（児童発達支援センターを除く。）</p> <p>(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設（ロ（5）に掲げるものを除く。）、地域活動支援センター、福祉ホーム又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第五条第七項に規定する生活介護、同条第八項に規定する短期入所、同条第十二項に規定する自立訓練、同条第十三項に規定する就労移行支援、同条第十四項に規定する就労継続支援若しくは同条第十五項に規定する共同生活援助を行う施設（短期入所等施設を除く。）</p> <p>ニ 幼稚園又は特別支援学校</p>
(七)	<p>小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの</p>

(八)	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの
(九)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場
(十)	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物に限る。）
(十一)	神社、寺院、教会その他これらに類するもの
(十二)	イ 工場又は作業場 ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ
(十三)	イ 自動車車庫又は駐車場 ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫
(十四)	倉庫
(十五)	前各項に該当しない事業場
(十六)	イ 複合用途防火対象物のうち、その一部が（一）項から（四）項まで、（五）項イ、（六）項又は（九）項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物
(十六の二)	地下街
(十六の三)	建築物の地階（（十六の二）項に掲げるものの各階を除く。）で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの（（一）項から（四）項まで、（五）項イ、（六）項又は（九）項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。）
(十七)	文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）の規定によつて重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡若しくは重要な文化財として指定され、又は旧重要美術品等の保存に関する法律（昭和八年法律第四十三号）の規定によつて重要美術品として認定された建造物
(十八)	延長五十メートル以上のアーケード
(十九)	市町村長の指定する山林
(二十)	総務省令で定める舟車

備考

- 一 二以上の用途に供される防火対象物で第一条の二第二項後段の規定の適用により複合用途防火対象物以外の防火対象物となるものの主たる用途が（一）項から（十五）項までの各項に掲げる防火対象物の用途であるときは、当該防火対象物は、当該各項に掲げる防火対象物とする。
- 二 （一）項から（十六）項までに掲げる用途に供される建築物が（十六の二）項に掲げる防火対象物内に存するときは、これらの建築物は、同項に掲げる防火対象物の部分とみなす。
- 三 （一）項から（十六）項までに掲げる用途に供される建築物又はその部分が（十六の三）項に掲げる防火対象物の部分に該当するものであるときは、これらの建築物又はその部分は、同項に掲げる防火対象物の部分であるほか、（一）項から（十六）項に掲げる防火対象物又はその部分でもあるものとみなす。
- 四 （一）項から（十六）項までに掲げる用途に供される建築物その他の工作物又はその部分が（十七）項に掲げる防火対象物に該当するものであるときは、これらの建築物その他の工作物又はその部分は、同項に掲げる防火対象物であるほか、（一）項から（十六）項までに掲げる防火対象物又はその部分でもあるものとみなす。

## 主要防災機材整備状況一覧表

番号	自主防災会名	防災倉庫	電池 メガホン	消火器	バケツ	パール 丸太	掛矢	スコップ	ツルハン	くわ	もっこ 石み	鉄線 ばさみ	ハンマー	担架	救急 セット	強力 ライト	腕章	ロープ トロープ	発電機	受水槽	ろ水機	テント 天幕
1	住吉区自主防災会	3	1	17	25	10	3	7	4	1		2	2	4	2	6		3	1	1		1
2	新田区自主防災会	1	3	18	5		2	4	2	8	2	1	2	1	2	1	7	1	1	1		1
3	大和区自主防災会	1	1	1	11	3	1	10	2			2	4	1		5		5	1			1
4	港区自主防災会	1	2	12	6	2		2	2	2			1	1	2	2		1				2
5	大坂区自主防災会	1	1	4	35	2	1	12	2	2	6	2	2	5	2	2	23	7		1		2
6	弥七喜区自主防災会	1	2	2	10	4	1	5	3	2	1	1	1	2	1	2		3	1			1
7	中央区自主防災会連合会	2	6	10	8	10	2	3	8			1	5	2	1	1	10	5		1		1
8	広岡東区自主防災会	1	2	6	12	4	1	5	5	2	3	1	3	1	3	8	25	6				1
	岩下区自主防災会																					
9	岩下区第1自主防災会	1	1	28	10	2	1	2	2				1	1	1	1	20	3			1	
10	岩下区第2自主防災会	1	2	12	30			6	2		1		2	2	2	2	18	2	1	1		1
11	岩下区第3自主防災会	1	2	17	20	1	1	10	7			1	1	2	1		20	6	1	2		1
12	岩下区第4自主防災会	2	2	8	15	2	1	1	2	1	1	1	1	1	3	2	5	1				1
13	岩下区第5自主防災会	1	2	9	15	5	1	2	2			1	2	1	1	3	1	3	1			1
14	岩下区第6自主防災会	1	2	13	30	2	1	2	2	1		1	1	1	1	1	17	4	1			1
	広岡西区自主防災会																					
15	広岡西第1自主防災会	1	1		7	6	1	7	4	5		2	2	2	1	2	3	4	1	1		1
16	広岡西第2自主防災会	1	1	3	7		1	7	6	7		2	2	1		2		3		1		1
17	広岡西第3自主防災会	1	1	18	7	6	1	7	6	7		2	2	2	1	2		3	1	1		1
18	広岡西第4自主防災会	2	1	6	6	2	1	5	6	2		2	5	2	1	3	10	4	1	1		1
19	高馬区自主防災会	1	3	4	20	5	1	7	3	1		2	1	2	2		10	2	1			1
20	西本郷区自主防災会	1	3	3	22	2	2	6	4	1	2		4	3	1	1		2	1			3
21	東本郷区自主防災会	3	2	5	9	4	1	8	2	2		1	3	1	6	10	62	8	1			3
22	中1区自主防災会	2	2	58	11	3		5	2	2			2	4	3		53	1	2	3		3

番号	自主防災会名	防災倉庫	電池 メガホン	消火器	バケツ	ボール 丸太	掛矢	スコップ	ツルハシ	くわ	もっこ 石み	鉄線 ばさみ	ハンマー	担架	救急 セット	強力 ライト	腕章	ロープ トフロープ	発電機	受水槽	ろ水機	テント 天幕
23	中 2 区 自 主 防 災 会	1	3	13	26	6	3	10	9	12	15	3	6	3	8	9		6	1			1
24	立 野 区 自 主 防 災 会	1	1	4	20	4	2	3	2		2		1	1	1	2	1	1	1			
25	河 内 区 自 主 防 災 会	3	11		97	1	5	46	22	49	16	5	16	7	5	10		10	4	1	1	2
26	蓮 台 寺 区 自 主 防 災 会	1	3	7	23	4	1	3	3	3		1	3	4	2	6		4	1		1	4
27	上 大 沢 区 自 主 防 災 会	1		3		小1 2		5	2	2			1					1				1
28	下 大 沢 区 自 主 防 災 会	1	1	5	19	2	2	8	2			1	1	2		1		1	1			
29	箕 作 区 自 主 防 災 会	1	1	2	5	2	1	3	2	2			1	2	1			1	1			1
30	須 原 1 区 自 主 防 災 会	1	2	4	4	1		2	2				1	1				1	1			
31	須 原 2 区 自 主 防 災 会	1		2	3	2	1	2	2	2			1	1		1	32		1			
32	宇 土 金 区 自 主 防 災 会	1		5	20			4	2				1	1			27		1			1
33	椎 原 区 自 主 防 災 会	1	1	4	3	3	2	3	3		5		1	2	1	2		1	1	1		2
34	北 湯 ヶ 野 区 自 主 防 災 会	1	1	4		2		1	2				1	1		1			1			
35	加 増 野 区 自 主 防 災 会	1	2	4	6			2	1				1	2	1				1			
36	横 川 区 自 主 防 災 会	1	1	3	10	2		3	2	2	2	1	1	1	1	2		4	1	1		
37	相 玉 区 自 主 防 災 会	1	1	4	1	2	1	2	2				1	1	1	2		1	1			2
38	落 合 区 自 主 防 災 会	1	2	4	4	1		4	2	1	2		1	1	1	2		1	1			
39	柿 崎 区 自 主 防 災 会	5	8	11	23	3	4	27	18	3	12	4	7	2	8	6	50	5	1	1		4
40	外 浦 区 自 主 防 災 会	1	8	4	13	2	3	21	5	2	9	13	2	2	2	2	1	3	1			2
41	須 崎 区 自 主 防 災 会	2	3		11	1	1	5	4				1	2	2	6	50	3	1	1		5
42	吉 佐 美 区 自 主 防 災 会	1	8	6	25	3	1	10	5			1	2		1		15	2	3	1	1	3
43	大 賀 茂 区 自 主 防 災 会	2	1	10	24	8		12	7	2			1	4	3	3	7	2	1			2
44	碁 石 が 浜 自 主 防 災 会			1											1							
45	田 牛 区 自 主 防 災 会	1	6	3	20		1	15	6	1		1	6	1	4	5	31	1	1	1		2
46	原 田 区 自 主 防 災 会	2	3	12	2	1	1	10	3	1				2		2		5	2	2		3
47	長 田 区 自 主 防 災 会	1	2	13	2	2	3	5	2				1	3		2	2	3	1	1		2
48	板 戸 区 自 主 防 災 会	1	3	5	11	2	1	5	2	3			2	1	3	3	61	3	1			2
	合 計	64	115	387	693	129	57	334	190	131	79	55	109	89	83	123	561	136	46	24	4	68

## 主要防災機材整備状況一覧表

番号	自主防災会名	チェン ブロック	ビニール シート	C1小型 ポンプ	トラン シーバー	炊飯器釜 を含む	チェン ソー	メガホン	消火栓 ハンドル	おの	ヘルメット	消火 ホース	ポリタンク (大・小)	折り畳み 脚立	ドラム コード	作業灯	強力 ジャッキ	じょれん	なた	草刈機	手袋	はしご
1	住吉区自主防災会		6	2		1		11				3	5			1						
2	新田区自主防災会		2	1	2	1		7		1	22	2	5	1	2	1		3	2			2
3	大和区自主防災会		3									4	8		1	3						
4	港区自主防災会		1	1		1			4	1	5	10	6				3					
5	大坂区自主防災会		18	1	3	3		9	2	2	4	10	20		1	2	4		2	2		5
6	弥七喜区自主防災会		1	1		2			1		15	7	5		2	1			2			
7	中央区自主防災会連合会		5	1	5	2	1				4											
8	広岡東区自主防災会		4	1		2		8			21	5	5	1		1				2	10	
	岩下区自主防災会																					
9	岩下区第1自主防災会		6	1	1		1	5	3		1	25	5						1	1	30	
10	岩下区第2自主防災会		33	1	2	1	1	5			2	13	3	1	2	1				1	50	
11	岩下区第3自主防災会		12	1	3	1	1	5	1		1	12	2		1	1	1			1	80	
12	岩下区第4自主防災会		8		1		1	2			2		2			1		1		1	12	
13	岩下区第5自主防災会		3		1		1	2		1	2	2		1	1		2			1	30	1
14	岩下区第6自主防災会	1	4	1	2	1	1	5	1	1	6	12	2	1	1	1	1	2	1	1	10	1
	広岡西区自主防災会																					
15	広岡西第1自主防災会		4	1	1	2	1	5		2	2	16	5	1	1	1	2		2			
16	広岡西第2自主防災会		5		1	1	1	5		2	4		5	1	1		2		2			
17	広岡西第3自主防災会		3		2	1	1	5		2	2		3	1	2	1	2		2			
18	広岡西第4自主防災会		6	1	2	1		2		2	10	13	5	1	1	1	2		2		612	
19	高馬区自主防災会		4	1	3	2	1	4			18	8	2	1	1	3	2	1		1	60	
20	西本郷区自主防災会		6	1	4			3	1		13	5	5	1	2	1						1
21	東本郷区自主防災会		18	1	2	2	1	20	1			12		1	1	1	2	4	4			
22	中1区自主防災会		1	1				2			20		4	1	1			2			10	

番号	自主防災会名	チェン ブロック	ビニール シート	C1小型 ポンプ	トラン シーバー	炊飯器釜 を含む	チェン ソー	メガホン	消火栓 ハンドル	おの	ヘルメット	消火 ホース	ポリタンク (大・小)	折り畳み 脚立	ドラム コート	作業灯	強力 ジャッキ	じよれん	なた	草刈機	手袋	はしご
23	中 2 区 自 主 防 災 会		15	1	6		1	11	1	2	19	15	10	1	1	6		4	3		20	
24	立 野 区 自 主 防 災 会		3				1		7		18	2		1	1		1	2	1	1		
25	河 内 区 自 主 防 災 会		6	1	6	6	2	50		5	10	11	26	6	6	8			17			
26	蓮 台 寺 区 自 主 防 災 会		12	1	11	1	2	19	1		60	6		5	1	2	4	2	4		100	2
27	上 大 沢 区 自 主 防 災 会		4	1	1	2	1	2			10	18	2					5	2		10	
28	下 大 沢 区 自 主 防 災 会		5	1		2	2	2			7	6			1	1	1		2	1		
29	箕 作 区 自 主 防 災 会		3	1	1	1	1	1			14	5			2	2			4			
30	須 原 1 区 自 主 防 災 会		1	1			1	2	1		6	4			2			1	1			
31	須 原 2 区 自 主 防 災 会		1	1				2			5											
32	宇 土 金 区 自 主 防 災 会		2			2	1	2	1		8	6	3		2	2						
33	椎 原 区 自 主 防 災 会		3	1		2	2	3			4	6	6	1	2	3	2		1			
34	北 湯 ヶ 野 区 自 主 防 災 会		2	1				2			3	7	1		2							
35	加 増 野 区 自 主 防 災 会		2								8				2							
36	横 川 区 自 主 防 災 会		2	1			1	4			10	6			3			2	2		38	
37	相 玉 区 自 主 防 災 会		1	1		1	1	2			7	10			1	1						
38	落 合 区 自 主 防 災 会		2		2	1	1						1		2				1		36	
39	柿 崎 区 自 主 防 災 会		71	1	3		2	11		4		17	23	1	7		1	1	4	1	1	1
40	外 浦 区 自 主 防 災 会		6	1	2	2	1	5		2	10	10		9	1			6	6	4		1
41	須 崎 区 自 主 防 災 会		9			2	1	18		4	34		9			1		2	5	3		1
42	吉 佐 美 区 自 主 防 災 会		30	1	6	2	1				11	5	9	2	1				1		140	2
43	大 賀 茂 区 自 主 防 災 会		16	1	14	1	2	9	1		10	7	2	2	2	3	2		2			2
44	碁 石 が 浜 自 主 防 災 会		1						1													
45	田 牛 区 自 主 防 災 会		21	1	2		1	4	6		15	1	1			1		1	1			2
46	原 田 区 自 主 防 災 会		2		4	3	2	11			8	16	2	3		5	1		2			
47	長 田 区 自 主 防 災 会		3	1	3	2	1	11	1		3	12	5	3		1			1			
48	板 戸 区 自 主 防 災 会		2	1	2		1	5			5	4	2	2	1	1	1		1	3	1	1
	合 計	1	370	37	99	54	41	281	34	31	440	333	199	49	61	58	36	38	81	25	1,250	22

## 主要防災機材整備状況一覧表

番号	自主防災会名	なべ	リカー	土のう袋	一輪車	油 タンク	てこ棒	食料等	毛布	浄水 タンク	鎌	仮設 トイレ	飲み水	誘導灯	エンジン 付ライト	オタマ	三角巾	標旗	ペンチ	とび口	のこぎり	炊飯用 ビニール袋
1	住吉区自主防災会		2		1				5			1								4		
2	新田区自主防災会	1			1	1	11	194					232					1		1	2	
3	大和区自主防災会	1										3					25				1	
4	港区自主防災会	2				1		120					500			5					1	
5	大坂区自主防災会	2	5		2	4	2	96			8		35	2	2			2		7	5	
6	弥七喜区自主防災会	3				1		5				10			1	2					1	
7	中央区自主防災会連合会																					
8	広岡東区自主防災会				1		4	3	1				48			3	23	1	2	1		
	岩下区自主防災会																					
9	岩下区第1自主防災会		2		1	2	2				1	4		2			30	1	1		1	1200
10	岩下区第2自主防災会	1	1	45	1	4	3		1								15	2			2	400
11	岩下区第3自主防災会		1	60	3	2	6		1			1					30	2	1	1	1	
12	岩下区第4自主防災会		2														20	1				
13	岩下区第5自主防災会		1	240	2	1			4			3		2			20	1	1		1	
14	岩下区第6自主防災会	1	2	50		1		150	4	3	1	2		2		1	13	1	1		1	
	広岡西区自主防災会																					
15	広岡西第1自主防災会					1										1		2		1	2	
16	広岡西第2自主防災会				1	1	6														2	1000
17	広岡西第3自主防災会				1	1												1				
18	広岡西第4自主防災会				1	1	4	876					96				20	2	3	1		
19	高馬区自主防災会	2		300	2	1	5	12	12				174	1		2	10		2	1	2	
20	西本郷区自主防災会				1		2	170	50				104				200	1				
21	東本郷区自主防災会	2	1	6	4	5	1	650	100			14	264			5	22	1				
22	中1区自主防災会				1	1	3		3								90				2	

番号	自主防災会名	なべ	リヤカー	土のう袋	一輪車	油 タンク	てこ棒	食料等	毛布	上水 タンク	鎌	仮設 トイレ	飲み水	誘導灯	エンジン 付ライト	オタマ	三角巾	標旗	ペンチ	とび口	のこぎり	炊飯用 ビニール袋
23	中 2 区 自 主 防 災 会				10	2	6		1		10						29		1	1	3	
24	立野区自主防災会			240							4		22								2	
25	河内区自主防災会	5		350	5	5	14				4			10					7		2	
26	蓮台寺区自主防災会		2	50	1	3	2	350	8			2	100				20		2	4	2	200
27	上大沢区自主防災会			2		1			1	1										1		
28	下大沢区自主防災会			50	1	3	2	6					11						1	1	2	
29	箕作区自主防災会																			1	1	
30	須原1区自主防災会					2	1		5				12							1	1	
31	須原2区自主防災会							96	5				36							2		
32	宇土金区自主防災会	1		350		2	2									1	10					
33	椎原区自主防災会	2	1	10	1	2		100			2					1				1	1	
34	北湯ヶ野区自主防災会					1														1		
35	加増野区自主防災会			90		1	1	160														
36	横川区自主防災会			20	2	2	2		13								14				2	
37	相玉区自主防災会	2	1			2								2		1				1		
38	落合区自主防災会	1			1		3		7								7				1	
39	柿崎区自主防災会	4		251	4	5	7			1							88	4	7	4	6	
40	外浦区自主防災会			300	5						9						10				21	
41	須崎区自主防災会		1	200				450	1				12				12		1		1	
42	吉佐美区自主防災会			200	1		8		80	1										1		
43	大賀茂区自主防災会			60		2		436	27				192							1	6	
44	碁石が浜自主防災会							200														
45	田牛区自主防災会			100	2	1		30	100			1							1		1	
46	原田区自主防災会	2	1	200		1		300	20				264			2	15			4	1	
47	長田区自主防災会	2		100	1	3	2				1					2	3			3	1	
48	板戸区自主防災会			60	3	2	1															
	合 計	34	22	3,334	60	69	101	4,454	453	10	40	30	2,102	21	3	26	726	23	31	44	78	1,800

## 主要防災機材整備状況一覧表

番号	自主防災会名	火 はさみ	懐中 電灯	布団	AED	手カギ	車椅子	ランタン	竹棒	マスク	長とび	滑車	スピーカ-	ナベツル ハシ	プレハブ 倉庫	サンダー	自主 防災旗	防災 地図	防災 台帳	要援護者 リスト	ろ水機 カートリッジ	消毒 殺菌液	
1	住吉区自主防災会																						
2	新田区自主防災会																						
3	大和区自主防災会		3														1			1		6	
4	港区自主防災会																						
5	大坂区自主防災会		2	20																			
6	弥七喜区自主防災会		4								1												
7	中央区自主防災会連合会																						
8	広岡東区自主防災会																						
	岩下区自主防災会																						
9	岩下区第1自主防災会		1		1																1		
10	岩下区第2自主防災会	1	2		1									2							1		
11	岩下区第3自主防災会		6																				
12	岩下区第4自主防災会		2					2															
13	岩下区第5自主防災会		2																		1		
14	岩下区第6自主防災会	1	1			1				60						1	1			1			
	広岡西区自主防災会																						
15	広岡西第1自主防災会	2																					
16	広岡西第2自主防災会	1																					
17	広岡西第3自主防災会	1																					
18	広岡西第4自主防災会	1																					
19	高馬区自主防災会	2	1					2															
20	西本郷区自主防災会		3																				
21	東本郷区自主防災会		3							14			2				1			1		6	
22	中1区自主防災会																						

番号	自主防災会名	火 はさみ	懐中 電灯	布団	AED	手カギ	車椅子	ランタン	竹棒	マスク	長とび	滑車	スピーカー	ナベツル ハシ	フレハフ 倉庫	サンダー	自主 防災旗	防災 地図	防災 台帳	要援護者 リスト	ろ水機 カートリッジ	消毒 殺菌液	
23	中 2 区 自 主 防 災 会		6																				
24	立野区自主防災会		1																				
25	河内区自主防災会				1															1	1		
26	蓮台寺区自主防災会						2		3	100	4	2					2	1	1	1			
27	上大沢区自主防災会																						
28	下大沢区自主防災会	1	6		2				2														
29	箕作区自主防災会		3								1									1			
30	須原1区自主防災会																			1			
31	須原2区自主防災会																						
32	宇土金区自主防災会																						
33	椎原区自主防災会		1					2															
34	北湯ヶ野区自主防災会																						
35	加増野区自主防災会		4																				
36	横川区自主防災会		3						6											1			
37	相玉区自主防災会	2	2																				
38	落合区自主防災会		1						2														
39	柿崎区自主防災会		2																				
40	外浦区自主防災会			8	1		2																
41	須崎区自主防災会		4		1															1			
42	吉佐美区自主防災会		1						4						1					1			
43	大賀茂区自主防災会							2					2	2	1					1			
44	碁石が浜自主防災会		1																1				
45	田牛区自主防災会														1				1				
46	原田区自主防災会	2	2	6				2															
47	長田区自主防災会	1	2	30															1	1			
48	板戸区自主防災会																						
	合 計	15	69	64	7	1	4	10	17	174	6	2	4	4	3	1	5	1	4	15	13		

## 主要防災機材整備状況一覧表

番号	自主防災会名	コップ	ステイック パン	かまど セット	カセット コンロ	ガス	スパナ	箕 (み)	ハンド マイク	投光機	50及び100 ガリ缶缶	トロ箱	ヘッド ライト	塵取り	空気 入れ	熊手	パイロン	非常 持出袋	ゴム手袋	ペーパー タオル	ホワイト ボード	簡易 合羽
1	住吉区自主防災会																					
2	新田区自主防災会																					
3	大和区自主防災会				1	30																
4	港区自主防災会																					
5	大坂区自主防災会			2		4			2							4			20			
6	弥七喜区自主防災会				2																	
7	中央区自主防災会連合会																					
8	広岡東区自主防災会																					
	岩下区自主防災会																					
9	岩下区第1自主防災会			4							1											
10	岩下区第2自主防災会			2	2	30																
11	岩下区第3自主防災会																					
12	岩下区第4自主防災会				7	30																
13	岩下区第5自主防災会				4	100																
14	岩下区第6自主防災会				2	3				1	1								5			
	広岡西区自主防災会																					
15	広岡西第1自主防災会				1	3			1													
16	広岡西第2自主防災会				1	6	1	2														
17	広岡西第3自主防災会				1	6																
18	広岡西第4自主防災会																					
19	高馬区自主防災会										1											
20	西本郷区自主防災会																					
21	東本郷区自主防災会																					
22	中1区自主防災会				1	30		2			1					2						

番号	自主防災会名	コップ	スティック パン	かまど セット	カセット コンロ	ガス	スパナ	箕 (み)	ハンド マイク	投光機	50及び100 ガリ缶 缶	トロ箱	ヘッド ライト	塵取り	空気 入れ	熊手	パイロン	非常 持出袋	ゴム手袋	ペーパー タオル	ホワイト ボード	簡易 合羽
23	中 2 区 自 主 防 災 会																					
24	立野区自主防災会																					
25	河内区自主防災会			6																		
26	蓮台寺区自主防災会	300		1			3	1	2	2			10									
27	上大沢区自主防災会																					
28	下大沢区自主防災会			1						1												
29	箕作区自主防災会																					
30	須原1区自主防災会									1												
31	須原2区自主防災会																					
32	宇土金区自主防災会							5														
33	椎原区自主防災会				1																	
34	北湯ヶ野区自主防災会								1	2	2	1										
35	加増野区自主防災会								2	1	2		9									
36	横川区自主防災会						1	2	1	1												
37	相玉区自主防災会																					
38	落合区自主防災会									1	2											
39	柿崎区自主防災会													6	2							
40	外浦区自主防災会																					
41	須崎区自主防災会			2						1	2											
42	吉佐美区自主防災会							1		4	1					2						
43	大賀茂区自主防災会									3												
44	碁石が浜自主防災会																					
45	田牛区自主防災会							5	6							12						
46	原田区自主防災会			2		18				5	8											1
47	長田区自主防災会			2																		
48	板戸区自主防災会																					
	合 計	300		20	23	256	5	18	13	23	21	1	19	6	2	20			25			1

## 主要防災機材整備状況一覧表

番号	自主防災会名	ビニール袋	タオル	雑巾	ビナー	チャッカマン	便袋	ホーク	台車	石とう	防災ラジオ	防災ベスト	灯油	石油ストーブ	区防災無線	紙おむつ	ナフキン	バンドエイド				
1	住吉区自主防災会																					
2	新田区自主防災会																					
3	大和区自主防災会	40																				
4	港区自主防災会																					
5	大坂区自主防災会															2	1	1				
6	弥七喜区自主防災会																					
7	中央区自主防災会連合会																					
8	広岡東区自主防災会																					
	岩下区自主防災会																					
9	岩下区第1自主防災会						120				1											
10	岩下区第2自主防災会																					
11	岩下区第3自主防災会																					
12	岩下区第4自主防災会												40									
13	岩下区第5自主防災会																500					
14	岩下区第6自主防災会										1			1	1							
	広岡西区自主防災会																					
15	広岡西第1自主防災会								1	3												
16	広岡西第2自主防災会									3												
17	広岡西第3自主防災会																					
18	広岡西第4自主防災会										1					100	720	600				
19	高馬区自主防災会																					
20	西本郷区自主防災会																					
21	東本郷区自主防災会																					
22	中1区自主防災会	40																				

番号	自主防災会名	ビニール袋	タオル	雑巾	ビナー	チャッカマン	便袋	ホーク	台車	石とう	防災ラジオ	防災ベスト	灯油	石油ストーブ	区防災無線	紙おむつ	ナフキン	バンドエイド				
23	中 2 区 自 主 防 災 会																					
24	立野区自主防災会																					
25	河内区自主防災会										10	128										
26	蓮台寺区自主防災会	200							1			26										
27	上大沢区自主防災会																					
28	下大沢区自主防災会														15			1				
29	箕作区自主防災会																					
30	須原1区自主防災会																					
31	須原2区自主防災会																					
32	宇土金区自主防災会																					
33	椎原区自主防災会																					
34	北湯ヶ野区自主防災会														2							
35	加増野区自主防災会												201									
36	横川区自主防災会																					
37	相玉区自主防災会										1		1	2								
38	落合区自主防災会		20																			
39	柿崎区自主防災会																					
40	外浦区自主防災会											20										
41	須崎区自主防災会											12										
42	吉佐美区自主防災会		100					2														
43	大賀茂区自主防災会										9											
44	碁石が浜自主防災会										1											
45	田牛区自主防災会																					
46	原田区自主防災会							3					2									
47	長田区自主防災会	20									1	12							1			
48	板戸区自主防災会																					
	合 計	300	120				120	5	2	6	25	198	43	3	18	100	1220	602				

## 海拔表示箇所数

平成24年度更新			
No.	地区	電柱番号	海拔(m)
1	川岸	0040号	2.0
2	川岸	0060号	2.0
3	川岸	0090号	1.5
4	川岸	0210号	1.5
5	川岸	0280号	2.0
6	川岸	0710号	2.0
7	川岸	0810号	2.0
8	川岸	0880号	2.5
9	川岸	1010号	2.5
10	川岸	1090号	2.5
11	川岸	1170号	3.5
12	川岸	1770号	3.0
13	川岸	2140号	4.5
14	広岡	0150号	3.0
15	広岡	0360号	2.5
16	広岡	0410号	2.5
17	広岡	0620号	2.5
18	広岡	0730号	2.5
19	広岡	0780号	2.5
20	広岡	0840号	3.0
21	広岡	0930号	2.0
22	広岡	1400号	3.5
23	広岡	2050号	3.5
24	広岡	2210号	4.0
25	広岡	2450号	4.0
26	広岡	3000号	2.5
27	広岡	3130号	5.0
28	広岡	3510号	5.0
29	広岡	3750号	3.0
30	波布	0010号	3.5
31	波布	0080号	3.0
32	波布	0780号	3.5
33	波布	0990号	3.0
34	波布	1031号	2.5
35	波布	1670号	2.5
36	波布	1980号	2.5
37	小山田	0800号	3.5
38	小山田	2210号	3.0
39	小山田	2290号	2.5
40	小山田	2430号	3.0

平成24年度更新			
No.	地区	電柱番号	海拔(m)
41	小山田	3030号	4.0
42	小山田	007A号	4.0
43	小山田	011A号	3.5
44	小山田	101A号	4.0
45	中村	0130号	2.5
46	中村	1570号	3.0
47	中村	1910号	3.5
48	中村	2120号	2.5
49	寝姿	0010号	2.5
50	寝姿	0090号	2.0
51	寝姿	0180号	2.0
52	寝姿	1720号	2.0
53	相の山	3060号	4.5
54	相の山	0040号	5.0
55	入田	1090号	4.0
56	入田	2050号	4.0
57	入田	2170号	4.5
58	入田	3010号	3.0
59	入田	305A号	3.5
60	入田	3110号	6.0
61	吉佐美	0170号	3.5
62	吉佐美	0150号	3.0
63	吉佐美	0281号	3.5
64	吉佐美	1020号	3.5
65	吉佐美	1040号	4.0
66	吉佐美	2120号	1.5
67	吉佐美	2181号	1.5
68	吉佐美	2310号	3.0
69	吉佐美	2510号	2.5
70	吉佐美	3020号	2.0
71	吉佐美	3070号	2.5
72	吉佐美	5410号	3.5
73	田牛	0430号	5.0
74	田牛	0480号	4.0
75	田牛	2440号	3.5
76	柿崎	0050号	5.0
77	柿崎	0020号	3.0
78	柿崎	2070号	4.0
79	柿崎	2121号	4.0
80	柿崎	2180号	4.0

平成24年度更新			
No.	地区	電柱番号	海拔(m)
81	柿崎	014A号	3.5
82	須崎	0400号	3.5
83	須崎	0510号	3.5
84	須崎	0540号	3.5
85	須崎	2230号	28.0
86	須崎	3090号	2.5
87	外浦	0150号	8.0
88	外浦	0280号	3.0
89	外浦	0320号	3.0
90	外浦	1180号	5.0
91	原田	5031号	3.5
92	原田	5260号	4.0
93	長田	1610号	24.0
94	長田	5410号	8.0
95	梶浦	2160号	4.0
96	一色	1081号	4.0
平成24年度新設			
97	大賀茂	0390号	10
98	大賀茂	0360号	15
99	大賀茂	0310号	23
100	大賀茂	0270号	29
101	大賀茂	0230号	34
102	大賀茂	0180号	42
103	大賀茂	0120号	59
104	相の山	5251号	81
105	小山田	7380号	68
106	小山田	7310号	53
107	小山田	7210号	36
108	小山田	7140号	31
109	小山田	7080号	22
110	小山田	7050号	17
111	小山田	3060号	4
112	小山田	3041号	4
113	小山田	3171号	11
114	小山田	3200号	12
115	小山田	2300号	2.5
116	小山田	2240号	3
117	小山田	015A号	3

平成24年度新設			
No.	地区	電柱番号	海拔(m)
118	小山田	0830号	3
119	小山田	0320号	4
120	小山田	2050号	2.5
121	高馬	2020号	7
122	高馬	0230号	7
123	高馬	0260号	7
124	高馬	0330号	9
125	高馬	0380号	8
126	高馬	2860号	8
127	高馬	0030号	5
128	高馬	011A号	6.5
129	高馬	0170号	6.5
130	高馬	0220号	8
131	波布	085A号	3
132	波布	088A号	3
平成25年度新設			
133	河内	1540号	12
134	河内	0405号	11
135	河内	0270号	14
136	河内	0320号	13.5
137	河内	0740号	24
138	箕作	0150号	30
139	箕作	0220号	33
140	箕作	0251号	37
141	箕作	5360号	48
142	箕作	5250号	60
143	箕作	4070号	62
144	須郷	4211号	78
145	須郷	5030号	71
146	相玉	3050号	35
147	相玉	0230号	52
148	相玉	0420号	61
149	相玉	0340号	55
150	田牛	3700号	23
151	田牛	4330号	20
152	田牛	4410号	36
153	田牛	4450号	25
154	田牛	4430号	32
155	爪木崎	0570号	21

平成25年度新設			
No.	地区	電柱番号	海拔(m)
156	爪木崎	0510号	36
156	爪木崎	0430号	50
157	爪木崎	0230号	56
158	須崎	3030号	3
158	須崎	0460号	3.5
159	須崎	0290号	29
160	柿崎	2270号	16
160	柿崎	0241号	5
161	柿崎	3180号	5
162	柿崎	3360号	2.5
162	柿崎	6180号	18
163	外浦	0050号	12
164	外浦	0100号	8
164	外浦	0250号	5
165	原田	9410号	30
166	原田	633A号	6
166	川岸	1650号	5
167	川岸	2040号	5
168	川岸	2160号	4
168	川岸	2180号	4
169	入田	1050号	9
170	入田	0020号	22
170	大賀茂	0470号	11
171	大賀茂	0650号	26
172	大賀茂	0580号	17
172	寝姿	1111号	38
173	寝姿	2570号	20

# 一般・地震災害時における防災関係機関一覧表

(令和3年3月31日)

区分	防災関係機関名称	住所	電話番号
市	下田市	下田市東本郷1丁目5-18	0558-22-2211
消 防 機 関	下田消防本部	下田市6丁目1-14	0558-22-1804
静 岡 県	静岡県危機管理部総務課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-3633
	静岡県危機管理部危機政策課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2996
	静岡県危機管理部危機情報課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-3366
	静岡県危機管理部危機対策課対策班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2072
	静岡県危機管理部危機対策課防災通信班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2925
	静岡県危機管理部消防保安課消防行政班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2073
	静岡県危機管理部消防保安課産業保安班	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2076
	静岡県危機管理部原子力安全対策課	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2088
	賀茂地域局	下田市敷根765-15	0558-24-2004
	下田土木事務所	下田市中531-1	0558-24-2103
	賀茂健康福祉センター	下田市中531-1	0558-24-2033
	賀茂農林事務所	下田市中531-1	0558-24-2074
	静岡県警察（下田警察署）	下田市東中7-8	0558-27-0110
自 衛 隊	陸上自衛隊板妻駐屯地第34普通科連隊	御殿場市板妻40-1	0550-89-1310
	陸上自衛隊駒門駐屯地第1戦車大隊	御殿場市駒門5-1	0550-87-1212
	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地普通科教導連隊	御殿場市中畑2092-2	0550-89-0711
指定地方行政機関	総務省東海総合通信局	名古屋市東区白壁1-15-1	052-971-9103
	財務省東海財務局静岡財務事務所	静岡市葵区追手町9-50	054-251-4321
	農林水産省関東農政局静岡県拠点	静岡市葵区東草深町7-18	054-246-6121
	国土交通省中部運輸局静岡運輸支局 下田海事事務所	下田市3丁目18-23	0558-22-0517
	国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所下田港事務所	下田市3丁目18-25	0558-23-1208
	静岡地方气象台	静岡市駿河区曲金2-1-5	054-286-3521
	第三管区海上保安部（下田海上保安部）	下田市3丁目18-23	0558-25-0118
	厚生労働省静岡労働局 三島労働基準監督署下田駐在事務所	下田市西本郷2丁目5-33	0558-22-0649
	国土地理院中部地方測量部	名古屋市中区三の丸2-5-1	052-961-5638

区分	防災関係機関名称	住所	電話番号
指定公共機関	日本郵便株式会社下田郵便局	下田市2丁目4-26	0558-22-0602
	西日本電信電話株式会社（静岡支店）	静岡市葵区御幸町4-6	054-205-9122
	株式会社ドコモCS東海（静岡支店）	静岡市葵区長沼716-11	054-265-7182
	日本赤十字社静岡県支部	静岡市葵区追手町44-17	054-252-8131
	東京電力パワーグリッド株式会社 （伊豆支社）	伊豆の国市大仁413	0558-76-2894
	KDDI株式会社	名古屋市西区名駅2-27-8	052-747-8071
	ソフトバンク株式会社	名古屋市西区牛島2-1	06-4709-3100
指定地方公共機関	下田ガス株式会社	下田市中467	0558-22-1321
	(社)静岡県LPガス協会東部支部 （賀茂地区会）	榑TOKAI内（下田市）	0558-23-3771
	伊豆急行株式会社	伊東市八幡野1151	0557-53-1111
	(社)静岡県トラック協会伊豆支部 （伊豆サービストラックセンター内）	伊東市荻字門野466-51	0557-38-0215
	株式会社伊豆クルーズ	下田市外ヶ岡19	0558-22-1151
公共的団体及び防 災上重要な施設管 理者	下田市消防団	下田市東本郷1丁目5-18 （消防安全係）	0558-36-4145
	賀茂医師会	下田市西本郷2丁目12- 26	0558-22-0701
	賀茂歯科医師会	南伊豆町湊337-2	0558-62-0340
	下田市社会福祉協議会	下田市4丁目1-1	0558-22-3294
	下田有線テレビ放送株式会社	下田市東本郷2丁目11-8	0558-22-2443
	小林テレビ設備有限会社	下田市1丁目2-23	0558-22-5232
	株式会社伊豆急ケーブルネットワーク	下田市東本郷2丁目2-8	0558-25-6730
	SBSフレイトサービス株式会社 下田営業所	下田市東本郷1丁目17-8	0558-22-2610
	株式会社南伊豆東海バス	下田市吉佐美1395	0558-22-2514
	神新汽船株式会社	下田市3丁目18-22	0558-22-2626
	下田商工会議所	下田市2丁目12-17	0558-22-1181
	一般社団法人下田市観光協会	下田市外ヶ岡1-1	0558-22-1531
	下田温泉旅館協同組合	下田市1丁目4-27	0558-22-2108
	伊豆太陽農業協同組合	下田市東本郷1丁目12-8	0558-23-6000
	伊豆漁業協同組合	下田市外ヶ岡11	0558-22-3585
	一般社団法人下田建設業協会	下田市東本郷2丁目7-1	0558-22-3174
	自主防災組織		

## 突発的災害に係る応急対策連絡先

(県賀茂地域局)

	静岡県防災行政 *「5」は地上回線、「8」は衛星回線	NTT電話
電 話	5 (又は8) - 109-6010	0558-24-2004
F A X	5 (又は8) - 109-6081	0558-24-2008

(県危機管理部危機対策課)

	静岡県防災行政 *「5」は地上回線、「8」は衛星回線	NTT電話
電 話	5 (又は8) - 100-2072 5 (又は8) - 100-3729 5 (又は8) - 100-3593 5 (又は8) - 100-6030	054-221-2072 054-221-3729 054-221-3593
F A X	5 (又は8) - 100-6250 5 (又は8) - 100-7944	054-221-3252

(消防庁応急対策室)

	消防庁無線	NTT有線
電 話	8-048-500-90-49013	03-5253-7527
F A X	8-048-500-90-49033	03-5253-7537

## 令和2年度 下田市防災会議委員名簿

(令和3年3月31日)

	所 属	
1	下田市	市 長
2	下田海上保安部	部 長
3	国土交通省中部運輸局静岡運輸支局下田海事事務所	所 長
4	静岡地方気象台	台 長
5	国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所下田港事務所	前任建設管理官
6	賀茂地域局	副 局 長
7	下田土木事務所	所 長
8	賀茂健康福祉センター	所 長
9	賀茂農林事務所	所 長
10	下田警察署	署 長
11	下田市役所	副 市 長
12	下田市役所	統合政策課長
13	下田市役所	総務課長
14	下田市役所	産業振興課長
15	下田市役所	建設課長
16	下田市役所	観光交流課長
17	下田市役所	上下水道課長
18	下田市役所	福祉事務所長
19	下田市役所	市民保健課長
20	下田市役所	防災安全課長
21	下田市役所	環境対策課長
22	下田市教育委員会	教 育 長
23	下田消防本部	消 防 長
24	下田市消防団	団 長
25	日本郵便株式会社下田郵便局	局 長
26	賀茂医師会	理 事
27	賀茂医師会	理 事
28	西日本電信電話株式会社 静岡支店	支 店 長
39	SBSフレイトサービス株式会社 下田営業所	所 長
30	東京電力パワーグリッド株式会社 伊豆支社	支 社 長
31	伊豆急行株式会社	企画部総括課長
32	下田ガス株式会社	代 表 取 締 役
33	株式会社伊豆クルーズ	統 括 部 長
34	静岡県エルピーガス協会 賀茂地区会	地 区 長
35	下田市自主防災会連絡協議会	会 長
36	賀茂歯科医師会	理 事
37	賀茂薬剤師会	理 事

## 市内建設業者一覧表

(令和3年3月31日)

No.	名 称	住 所	電話番号
1	(株)繁美建材土木	下田市本郷3-2	0558-22-5622
2	(有)林商事	下田市大沢848-1	0558-22-0163
3	(株)外岡組	下田市東本郷1丁目7-15	0558-22-1769
4	丸三工業(株)	下田市吉佐美1018-1	0558-23-0303
5	(有)大川電気	下田市1丁目1-17	0558-22-1069
6	三星電機(株)	下田市1丁目12-9	0558-22-1305
7	小林電気工業(株)下田支社	下田市須原1078-1	0558-22-2351
8	(有)渡辺電気商会下田支店	下田市旧岡方村692-60	0558-23-4577
9	(株)土屋建設	下田市武ヶ浜6-43	0558-22-3411
10	(株)下田電化設備工業	下田市西本郷1丁目8-8	0558-22-1977
11	河津建設(株)	下田市中411-1	0558-22-1111
12	(株)安藤組	下田市白浜1865-4	0558-22-6105
13	(株)土昭組	下田市吉佐美441	0558-22-5434
14	(株)土屋電気商会	下田市1丁目5-17	0558-22-3311
15	(有)向田興業	下田市旧岡方村698-10	0558-22-7777
16	(有)日工技建	下田市西中23-15	0558-23-1354
17	(有)渡辺工業	下田市横川333	0558-28-1540
18	(株)朝日工事店	下田市大賀茂366	0558-22-5461
19	(株)土屋造園土木	下田市西中22-2	0558-22-9575
20	(有)小川組	下田市吉佐美205-1	0558-22-2889
21	(有)渡辺電業社	下田市東本郷2丁目2-8	0558-22-1376
22	(株)サエツ冷機工業下田営業所	下田市西中3-1	0558-23-5500
23	(株)アイビック伊豆営業所	下田市柿崎39-37	0558-23-2163
24	(有)渡辺住宅設備	下田市河内906-10	0558-27-1300
25	ヤマト設備工業(株)	下田市柿崎23-34	0558-23-3570
26	井出運送(有)	下田市中817-1	0558-22-4712
27	(株)加藤工芸社	下田市東本郷2丁目12-2	0558-22-0012
28	(株)永谷	下田市東本郷1丁目19-17	0558-22-3561
29	(有)宇田建設 下田支店	下田市東中15-5	0558-25-2600
30	(有)荒川土建興業	下田市西中5-7	0558-27-2662
31	(株)藤興産	下田市柿崎41-20	0558-22-7250

# 下田市指定給水装置工事事業者一覧表

(令和3年3月31日)

給水装置業者名	TEL	工事店住所
(有)菊地ポンプ商会	0558-22-1085	下田市2丁目2-24
浜崎住宅設備	090-2774-3781	下田市6丁目26-12
サトミ設備	0558-23-0705	下田市6丁目16-43
斉藤住設	0558-22-7245	下田市敷根6-3
(有)小林設備工事店	0558-22-7353	下田市6丁目40-4
(株)外岡組	0558-22-1769	下田市東本郷1丁目7-15
(株)ときわ工事店	0558-22-0229	下田市西本郷1丁目7-20
外岡設備工業	090-8469-8036	下田市吉佐美785-1
(有)渡辺住宅設備	0558-27-1300	下田市河内906-10
稲葉管工	0558-28-1678	下田市須原1364
(株)朝日工事店	0558-22-5461	下田市大賀茂366
ヤマト設備工業(株)	0558-23-3570	下田市柿崎23-34
よこざわ	0558-27-1126	下田市須崎1577-7
(有)森設備	0558-53-0811	西伊豆町田子1515-2
前田設備	0558-56-1611	西伊豆町安良里780-2
東海ヤジマ(株)	0558-22-6658	下田市河内170-1
(有)鈴和工業	0557-37-9124	伊東市玖須美元和田153-14
(有)鈴木設備工業所	0558-72-2207	伊豆市日向701
西尾設備	0558-22-1777	下田市西本郷2丁目2-4
(株)サエツ冷機工業	0558-23-5500	下田市西中3-1
(有)エコシップ伊豆	0558-22-4840	下田市吉佐美855
須原設備	0558-28-1161	下田市須原66
(有)横山設備	055-949-2883	伊豆の国市四日町873-9
杉山設備工業	0558-32-2459	河津町縄地117
(株)クラシアン	0120-500-500	静岡市駿河区敷地2-9-7
(株)吾妻建宅	0558-22-5582	下田市河内533
(有)隼設備	0545-30-6860	富士市厚原1763-1
(株)ハマダ設備	0557-95-0170	東伊豆町稲取1358-2
(株)菊池設備工業	0558-67-0431	南伊豆町妻良1062-1
杉本設備工業(株)	0558-22-3040	下田市6丁目4-4
石井設備(株)	0557-44-2822	伊東市十足619-23
山喜工業	0558-22-5662	下田市5丁目1-17
(有)中西工業	0557-51-1317	伊東市富戸1317-1429
(有)寺林工務店	0558-32-0571	河津町笹原300-5
(有)パイプテックス	0557-47-3242	伊東市岡420-2
飯田商事	0558-34-0114	河津町峰369-7
(株)イースマイル	06-7739-2525	大阪府大阪市中央区瓦屋町3-7-3
土屋設備	0558-22-6506	下田市須崎1773-19
(株)石黒工務店	0558-98-0293	伊豆市土肥702
古郡工業(株)	0558-85-0505	伊豆市市山525-1
(株)N-Vision	082-275-5227	広島県広島市中区鶴見町8-57
(有)千本設備工業所	055-963-4487	沼津市常磐町3丁目12-3
(株)ブラマーイチカワ	0465-83-0342	神奈川県足柄上郡開成町宮台203-5

## 主たる広報内容と取材先

広報内容	主たる取材先	電話番号	備考
地震、津波に関する情報	静岡地方気象台	054-286-3521	
	第三管区海上保安部（下田海上保安部）	0558-23-0118	
	静岡県危機管理部危機情報課	054-221-2644	
	静岡県危機管理部危機対策課	054-221-2072	
	賀茂地域局	0558-24-2004	
道路及び火災の情報	下田警察署	0558-27-0110	
	下田土木事務所	0558-24-2113	
	下田消防本部	0558-22-1804	
交通機関の情報	伊豆急下田駅	0558-22-3202	
	株式会社南伊豆東海バス 下田営業所	0558-22-2514	
	神新汽船株式会社 下田営業所	0558-22-2626	
	株式会社伊豆クルーズ	0558-22-1511	
電気の情報	東京電力パワーグリッド(株)伊豆支社	0120-995-007	
電話の情報	NTT西日本下田テクニカルセンター	0558-27-2400	
水道の情報	下田市上下水道課	0558-22-1200	
ガスの情報	下田ガス株式会社	0558-22-1321	
	株式会社TOKAI 下田営業所 (静岡県LPガス協会賀茂地区長)	0558-23-3771	

報道機関名	住 所	電話番号
朝 日 新 聞	下田市東本郷2丁目11-9	0558-22-0072
毎 日 新 聞	伊東市竹ノ内1-3-12 ベルプラス伊東1201	0557-37-5117
読 売 新 聞	下田市蓮台寺370-8	0558-22-0253
東 京 ・ 中 日 新 聞	熱海市田原本町1-12 ゼファー熱海シーヒルズ201	0557-81-2824
静 岡 新 聞	下田市東本郷2丁目7-25	0558-25-0163
伊 豆 新 聞	下田市東本郷2丁目9-15	0558-22-2555
N H K	下田市東中7-4 丸二ビル202	0558-22-1255
テ レ ビ 静 岡	下田市吉佐美2195-47	0558-23-5306
S B S	下田市中694-1-1-201	0558-22-4595
静 岡 朝 日 テ レ ビ	松崎町岩科北側982	0558-54-0066
小林テレビ設備有限会社	下田市1丁目2-23	0558-22-5232
S H K	下田市東本郷2丁目11-8	0558-22-2443
時 事 通 信 社	沼津市魚町1 サンフロント7階	055-963-5115
静 岡 第 一 テ レ ビ	河津町川津筏場635	0558-36-4086
共 同 通 信 社	静岡市駿河区登呂3-1-1	054-286-1251

## 観光客避難宿泊所一覧表 (下田温泉旅館協同組合加盟)

(令和3年3月31日)

地 区	旅 館 名	電 話 番 号
大 浦 海 岸	下田東急ホテル	22-2411
柿 崎 海 岸	下田ベイクロシオ	27-2111
	下田聚楽ホテル	22-2230
	ホテル山田屋	22-2005
白 浜 海 岸	ホテル伊豆急	22-8111
	下田プリンスホテル	22-2111
外 浦 海 岸	下田ビューホテル	22-6600
	臨海荘	22-1686
吉 佐 美 海 岸	下田大和館	22-1000
	浜辺の宿 濤亭	22-3450
西 本 郷	野の花亭 こむらさき	22-2126
	いづみ荘	22-3080
蓮 台 寺	清流荘	22-1361
	クアハウス石橋旅館	22-2222
	大地の彩花月亭	22-2244
	金谷旅館	22-0325
相 玉	下田セントラルホテル	28-1126
横 川	ホテル観音温泉	28-1234

## 下田海上保安部保有船舶一覧表

(令和3年3月31日)

所属	船名	トン数	荷物積載可能量
下田海上保安部	しきね	約 1,300	約 240
	かの	約 0,350	約 030
	いずなみ	約 0,100	約 020

## 医療関係団体一覧表

団体名	所在地	代表者	電話番号	備考
賀茂医師会	下田市西本郷2丁目9-5	池田正見	22-5683	
賀茂歯科医師会	賀茂郡南伊豆町湊337-2	平野信之	0558-62-0340	
賀茂薬剤師会	賀茂郡松崎町松崎373-3	高橋清彦	0558-43-1515	

## 医薬品等調達予定先一覧表

業者名	所在地	代表者	電話番号	営業科目
中北薬品(株)支店 下田	下田市西本郷2丁目19-3	鈴木和人	22-0631	防疫医薬

## 一般診療所等一覧表

(令和3年3月31日)

法人種別	施設名称	郵便番号	所在地	電話番号	開設者	管理者	診療科目	病床数
県	静岡県賀茂保健所	415-0016	下田市中531-1	0558-24-2052	静岡県	本間善之	内	
市町	下田市診療所	415-0035	下田市東本郷1-5-18	0558-22-2217	下田市	菊池新	内	
公益	公益社団法人地域医療振興協会 伊豆下田診療所	415-0036	下田市西本郷1丁目5-2	0558-22-2901	公益社団法人地域医療振興協会	細井昌樹	内	
公益	公益社団法人地域医療振興協会 いなずさ診療所	413-0705	下田市箕作字横世ノ米385-4	0558-28-3111	公益社団法人地域医療振興協会	川崎祝	内、小、外、リハ	
一般	賀茂医師会診療所	415-0036	下田市西本郷2丁目9-5	0558-22-5683	一般社団法人賀茂医師会	池田正見	放	
医療	臼井医院	415-0022	下田市2丁目3-27	0558-22-1221	医療法人社団臼井医院	臼井文男	内、小、産婦	8
医療	上の山鎮目クリニック	415-0013	下田市柿崎432-1	0558-23-8820	医療法人社団研真会	鎮目研吾	内、神内、脳神外、リハ、	
医療	河井医院	415-0022	下田市2丁目13-3	0558-22-0028	医療法人社団倫芳会	河井文健	内、小、整、リハ、放、糖内、消外、乳外、外(鏡)、小皮	11
医療	佐倉医院	415-0027	下田市旧岡方村笹峯714-7	0558-27-0001	医療法人社団至純会	佐倉志保子	内、精、神、呼、循	
医療	下田眼科クリニック	415-0036	下田市西本郷1丁目7-10	0558-25-4146	医療法人社団サーフサイド メディカルケア	鈴木大	眼	
医療	しらはまクリニック	415-0012	下田市白浜字神明1528-2	0558-27-3700	医療法人社団静岡メディカル アライアンス	高橋泉	内、消内	
医療	のぞみ記念下田循環器・腎臓クリニック	415-0034	下田市高馬147-1	0558-23-3113	医療法人社団のぞみ記念下田 循環器・腎臓クリニック	花房雄治	内、外、ひ、眼、リハ、呼内、循内、血内、内、泌内、腎内、老内、透内、アレ・リウ、糖・代内、血管外	15

法人種別	施設名称	郵便番号	所在地	電話番号	開設者	管理者	診療科目	病床数
医療	ひがしなかクリニック	415-0017	下田市東中6-3	0558-23-2300	医療法人社団憂陽会	西川公詞	内、小	
他	梓の里診療所	413-0713	下田市加増野181-1	0558-28-1172	社会福祉法人梓友会	塩田邦朗	内、精	
他	みくらの里診療所	415-0028	下田市吉佐美1086	0558-27-3000	社会福祉法人梓友会	杉山徹	内	
個人	荒木内科小児科医院	415-0024	下田市四丁目5-26	0558-22-0522	荒木千壽子	荒木千壽子	内、小	
個人	小川クリニック	415-0031	下田市蓮台寺180-14	0558-22-3210	小川俊隆	小川俊隆	内、産婦	
個人	長田クリニック	415-0022	下田市2丁目1-10	0558-22-2022	長田清彦	長田清彦	内、皮、放	
個人	小澤眼科医院	415-0035	下田市東本郷1丁目15-21	0558-22-5700	伊澤庸之	伊澤庸之	眼	
個人	菊池医院	415-0021	下田市1丁目18-20	0558-22-2128	菊池新	菊池新	内、小、消	
個人	下田精神分析クリニック	415-0014	下田市須崎1755-3	0558-22-8865	中野幹三	中野幹三	内、精	
個人	下田ヒフ科クリニック	415-0035	下田市東本郷2丁目2-5	0558-25-4055	中村勤己	中村勤己	皮、アレ	
個人	鈴木クリニック	415-0011	下田市河内277-8	0558-22-2562	鈴木ゆみ重	鈴木ゆみ重	内	
個人	柏谷医院	415-0031	下田市蓮台寺261-1	080-1611-4088	三谷玄悟	三谷玄悟	内	

## 病院一覧表

(令和3年3月31日)

開設種別	施設名称	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	診療科目	管理者	病床数
市町	下田メディカルセンター	415-0026	下田市6丁目4-10	0558-25-2525	0558-25-5050	内、小、外、整、形、脳神外、皮、ひ、婦、眼、耳、リハ、麻、循内、消内	畑田 淳一	142
医療法人	医療法人社団桑寿会下田温泉病院	415-0013	下田市柿崎997-2	0558-22-5001	0558-22-0200	内、リハ	荒井 充	100

## 歯科診療所一覧表

開設種別	施設名称	郵便番号	所在地	電話番号	開設者	管理者	診療科目	病床数
個人	臼井 歯科 医院	415-0026	下田市6丁目454-3	0558-22-2528	臼井 美智子	臼井 美智子	歯、小歯	
個人	勝田 歯科 医院	415-0021	下田市1丁目20-24	0558-22-0545	勝田 洋平	勝田 洋平	歯	
個人	菊池 歯科 医院	415-0022	下田市2丁目12-26	0558-22-0701	菊池 毅	菊池 毅	歯	
個人	キクチ 歯科 医院	415-0011	下田市河内149-4	0558-23-0568	菊池 建司	菊池 建司	歯	
個人	矯正 歯科 兼松 医院	415-0035	下田市東本郷1丁目9-21	0558-22-7223	兼松 淳子	兼松 淳子	歯、矯歯	
個人	笹本 歯科 診療所	415-0022	下田市2丁目1-20	0558-22-0138	笹本 牧男	笹本 牧男	歯	
個人	杉山 歯科 診療所	415-0036	下田市西本郷1丁目7-20	0558-22-0205	杉山 秀元	杉山 秀元	歯	
個人	田原 歯科 医院	415-0025	下田市5丁目1-41	0558-22-0271	田原 廣江	田原 廣江	歯	
個人	土屋 歯科 医院	415-0035	下田市東本郷1丁目5-24	0558-22-1025	土屋 正彦	土屋 正彦	歯	
個人	馬場 歯科 医院	415-0021	下田市1丁目2-16	0558-23-2418	馬場 健	馬場 健	歯	
個人	細川 歯科 医院	415-0017	下田市東中10-9	0558-22-8062	初治 玲奈	初治 玲奈	歯、小歯	
個人	渡辺 歯科 医院	415-0036	下田市西本郷2丁目13-8	0558-22-3848	渡辺 典	渡辺 典	歯	

## 学校・幼稚園一覧表

(令和3年3月31日)

番号	学校名	所在地	構造	電話番号	テント数
1	下田保育所	下田市4丁目5-26	R C造・2階建	22-0672	
2	稲生沢こども園(民間)	下田市立野34	S R C造・2階健	22-0374	
3	ひかり保育園(民間)	下田市西中9-4	S造・2階建	22-1685	
4	下田幼稚園	下田市1丁目17-2	S造・1階建	22-0363	2
5	下田認定こども園	下田市敷根765-19	R C造・2階建	36-4501	
6	稲梓小学校	下田市椎原224	R C造・2階建	28-0004	2
7	稲生沢小学校	下田市立野6-1	R C造・3階建	22-0424	2
8	白浜小学校	下田市白浜1324-1	R C造・3階建	22-0860	2
9	浜崎小学校	下田市須崎1785-1	R C造・2階建	22-0441	1
10	下田小学校	下田市5丁目3-1	R C造・3階建	22-0055	2
11	大賀茂小学校	下田市大賀茂1429	R C造・2階建	22-0704	1
12	朝日小学校	下田市吉佐美544	R C造・2階建	22-0702	2
13	稲梓中学校	下田市箕作350	R C造・3階建	28-0011	2
14	稲生沢中学校	下田市河内101-1	R C造・4階建	22-0134	2
15	下田東中学校	下田市柿崎1106	R C造・4階建	22-0868	4
16	下田中学校	下田市敷根765-1	R C造・2階建	22-3443	2
17	県立下田高等学校	下田市蓮台寺152	R C造・4階建	22-3164	
	合計				24

# 下田市内指定文化財一覧表

(令和3年3月31日)

## 国指定文化財

No.	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
1	重文・彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	T 8. 4.12	田牛156	長谷寺
2	重文・彫刻	木造大日如来坐像	1 軀	T 9. 4.15	蓮台寺352	天神神社
3	史 跡	了仙寺		S26. 6. 9	3丁目12-12	了仙寺
4	史 跡	玉泉寺		S26. 6. 9	柿崎31-6	玉泉寺
5	史 跡	神子元島燈台		S44. 7.25	神子元島	下田市・国土交通省(海上保安庁)
6	天然記念物	八幡神社のイスノキ	1 本	S16. 2.28	吉佐美1722-1	八幡神社
7	天然記念物	伊古奈比咩命神社のアオギリ自生地		S20. 2.22	白浜2741-1外	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)

## 静岡県指定文化財

No.	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
1	建造物	河内の宝篋印塔	1 基	S63. 3.18	河内749	重福院
2	工芸品	鰐口	1 口	S31.10.17	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
3	工芸品	鰐口	1 口	H30. 3.21		個人
4	工芸品	鰐口	1 口	H30. 3.21		地区自治会
5	史 跡	吉田松陰寓寄処		S16.10.27	蓮台寺300	建物：下田市 土地：私有地
6	天然記念物	田牛ハマオモト自生地		S27. 4. 1	田牛海後海岸	私所有
7	天然記念物	白浜神社のビャクシン樹林	3.1ha	S44. 5.30	白浜2741-1外	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
8	天然記念物	偽層理	2	S54.11.19	柿崎122・123	鷺島神社 三島神社
9	天然記念物	報本寺のオガタマノキ	1 本	S57.11.26	加増野420	報本寺
10	天然記念物	爪木崎の柱状節理		S57.11.26	須崎1237-1	須崎区

## 下田市指定文化財

No.	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
1	彫 刻	不動明王坐像	1	S56. 8. 7	吉佐美1667	宝徳院
2	彫 刻	薬師如来坐像	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
3	彫 刻	阿弥陀如来坐像	1	S56. 8. 7	1丁目14-5	稲田寺

No.	種別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
4	彫 刻	四天王像	4	S56. 8. 7	蓮台寺352	天神神社
5	彫 刻	観音菩薩立像	1	S56. 8. 7	須崎615	観音寺
6	彫 刻	薬師如来坐像	1	S56. 8. 7	須崎615	観音寺
7	彫 刻	薬師如来坐像	1	H12. 8.30	大賀茂89	曹洞院
8	彫 刻	二天立像	2	H13. 9. 4	大賀茂89	曹洞院
9	工 芸 品	鰐口	1	S44. 4.25	1丁目18-38	下田八幡神社
10	工 芸 品	御正躰（懸仏）	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
11	工 芸 品	水草双鳥鏡	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
12	工 芸 品	亀甲地双雀鏡	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
13	工 芸 品	山吹双鳥鏡	1	S56. 8. 7	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
14	書 籍	下田年中行事	87巻	S44. 4.25	4丁目6-16	下田市
15	書 籍	寂用禅師語録	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
16	古 文 書	吉田泰盛寺領寄進状	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
17	古 文 書	北条家寺中安堵朱印状	1	S60.12.23	4丁目3-1	本覚寺
18	古 文 書	北条家寺中安堵朱印状	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
19	古 文 書	佐野北条氏忠朱印状	1	S60.12.23	白浜2740	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
20	古 文 書	北条家寺中安堵朱印状	1	S60.12.23	4丁目3-1	本覚寺
21	古 文 書	安国寺恵瓊奉制札	1	S60.12.23	横川342	太梅寺
22	歴 史 資 料	第三代下田奉行 石野八兵衛位牌	1	H18. 3.28	4丁目2-1	大安寺
23	歴 史 資 料	豆州下田港之図	1	H18. 3.28	4丁目6-16	下田市
24	有 形 民 俗 文 化 財	仏谷の十六羅漢 三十三観音		S51. 5.27	吉佐美2528外	宝徳院
25	有 形 民 俗 文 化 財	小白浜三十三観音 エンマ		S51. 5.27	須崎1445外	観音寺
26	有 形 民 俗 文 化 財	元理源寺三十三観音		S51. 5.27	5丁目1155-1外	泰平寺
27	無形民俗文化財 (民俗芸能)	三番叟		S48. 6.12	白浜2740 (白浜神社)	白浜神社三番叟保存会
28	無形民俗文化財 (風俗習慣)	鬼射		S51. 5.27	落合95 (高根神社)	落合鬼射保存会
29	無形民俗文化財 (風俗習慣)	山随院権現祭幡廻し		S51. 5.27	加増野433-1 (報本寺)	加増野ハタマワシ保存会
30	史 跡	長楽寺		S46. 9. 6	3丁目13-19	長楽寺

No.	種別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
31	史 跡	下田城址		S48. 6.12	3丁目	下田市
32	史 跡	戸田忠次の墓		S48. 6.12	4丁目6-7	泰平寺
33	史 跡	今村伝四郎等三代の墓		S48. 6.12	3丁目12-12	了仙寺
34	史 跡	三穂ヶ崎遺跡		S49. 3.20	白浜2754-1外	下田市
35	史 跡	洗田遺跡		S49. 3.20	吉佐美2366外	私有地
36	史 跡	夷子島遺跡		S49. 3.20	須崎1638-1	須崎財産区
37	史 跡	遠国島遺跡		S49. 3.20	田牛釜ノ平	
38	史 跡	火達山遺跡		S49. 3.20	白浜1547-4	白浜神社 (伊古奈比咩命神社)
39	史 跡	カナヤマ古代製鉄遺跡		S51. 5.27	大賀茂228外	私有地
40	史 跡	深根城址		S51. 5.27	堀之内80-1外	私有地
41	史 跡	下田御番所跡		S51. 5.27	3丁目26-17	下田市
42	史 跡	今村公勤功碑と浪よけ		S51. 5.27	武ガ浜	静岡県
43	史 跡	薩摩十六烈士の墓		S51. 5.27	4丁目2-1	大安寺
44	史 跡	下田奉行所跡		S51. 5.27	東中14	下田市
45	史 跡	吉田松陰踏海の企跡		S51. 5.27	柿崎弁天島	下田市
46	史 跡	吉田松陰拘禁跡 (長命寺跡)		S51. 5.27	4丁目6-16	下田市
47	史 跡	欠乏所跡		S51. 5.27	3丁目1-4	私有地
48	史 跡	三穂ヶ崎台場遺跡		H23.12. 1	白浜2754-10外	下田市
49	名 勝	爪木崎一俵磯海岸		S51. 5.27	須崎	須崎財産区
50	名 勝	タライ崎一釜の浦海岸		S51. 5.27	田牛	
51	天然記念物	はまぼう樹林		S44. 4.25	吉佐美 (河川 敷)	静岡県
52	天然記念物	大公孫樹	1	S46. 9. 6	横川323	諏訪神社
53	天然記念物	ヒカリモ	1	S48.10. 6	須崎816	旭洞院
54	天然記念物	枝垂れ桜	1	S51. 5.27	加増野433-1	報本寺
55	天然記念物	山ざくら	1	S51. 5.27	堀之内78-1	個人所有
56	天然記念物	しもだまいまい		S51. 5.27	市内全域	

## 社会教育施設一覧表

(令和3年3月31日)

施設名	所在地	電話番号
市立吉佐美運動公園	下田市吉佐美1900-1	
市立図書館	下田市4丁目7-16	22-0352
田牛青少年海の家	下田市田牛217	22-7753
中央公民館	下田市4丁目6-16	23-5055
本郷公民館	下田市西本郷2丁目13-21	22-5222
中公民館	下田市西中19-13	23-0183
稻生沢公民館	下田市立野191	22-0519
朝日公民館	下田市吉佐美883-1	22-0216
		23-4611
白浜公民館	下田市白浜2741-5	23-0603

## 広域受援計画（活動拠点）

### 自衛隊活動拠点

施設名	住所	最寄りのIC（沼津IC）からの距離
県立下田高校グラウンド	下田市連台寺152	72km
須崎グリーンエリア	下田市須崎1243付近	77km

### 緊急消防援助隊活動拠点

施設名	住所	最寄りのIC（沼津IC）からの距離
爪木崎駐車場	下田市須崎1237-1	77km
敷根公園健康広場駐車場	下田市敷根757	74km

### 警察活動拠点

施設名	住所	最寄りのIC（沼津IC）からの距離
下田市消防団第5分団 第1部詰所隣接地	下田市柿崎19-22	72km
認定こども園駐車場	下田市敷根765-19	74km

### 静岡県広域物資拠点

施設名	住所	最寄りのIC（沼津IC）からの距離
株式会社河津建設 資材倉庫	下田市箕作495	66km